

西脇市
子育て支援に関するニーズ調査
調査結果報告書

(就学前の保護者・小学生の保護者・中学生の保護者)

令和6年3月

西脇市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	小学校入学までの子どもの保護者	2
(1)	お住まいの地域について	2
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	2
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	4
(4)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	8
(5)	宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	17
(6)	宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	24
(7)	宛名のお子さんの病気の際の対応について	29
(8)	宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	33
(9)	お子さんが来年度小学校へ入学する方へ（小学校での放課後の過ごし方について）	40
(10)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	46
(11)	現在の暮らしについて	59
(12)	収入について	60
(13)	お子さんのことについて	62
(14)	子どもの権利について	65
(15)	今後の出産に関する意向	66
(16)	西脇市の今後の子育て施策について	69
2	小学生の保護者	74
(1)	お住まいの地域について	74
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	74
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	76
(4)	宛名のお子さんの放課後児童クラブの利用状況について	78
(5)	宛名のお子さんの一時預かり等のサービスの利用について	91
(6)	宛名のお子さんの病気の際の対応について	99
(7)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	103
(8)	現在の暮らしについて	111
(9)	収入について	112
(10)	お子さんのことについて	114
(11)	子どもの権利について	117
(12)	今後の出産に関する意向	118
(13)	西脇市の今後の子育て施策について	120
3	中学生の保護者	127
(1)	お住まいの地域について	127
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	128
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	130
(4)	放課後の過ごし方について	132
(5)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	137
(6)	現在の暮らしについて	144
(7)	収入について	145
(8)	お子さんのことについて	146
(9)	子どもの権利について	148
(10)	今後の出産に関する意向	149
(11)	西脇市の今後の子育て施策について	151
III	記述意見まとめ	156
IV	自由意見まとめ	161

I 調査の概要

1 調査の目的

西脇市子ども・子育て支援事業計画及び子ども基本法に基づく市町村子ども計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

小学校入学までのお子さんがある全世帯

小学生のお子さんがある全世帯

中学生のお子さんがある全世帯

ただし複数のお子さんがある世帯については、一番年齢が下のお子さんに対応した調査を実施

3 調査期間

令和6年1月1日～令和6年1月21日

4 調査方法

郵送による配布・回収

インターネットによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学校入学までの 子どもの保護者	1,084 通	472 通	43.5%
小学生の保護者	951 通	397 通	41.7%
中学生の保護者	493 通	168 通	34.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・数字がない箇所については前回調査では選択肢がありませんでした。

II 調査結果

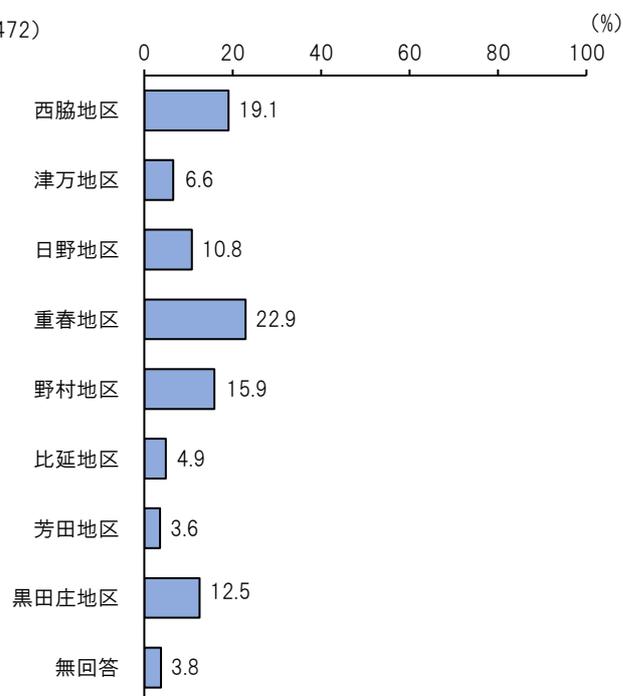
1 小学校入学までの子どもの保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区についてお答えください。(ひとつに〇)

「重春地区」の割合が22.9%と最も高く、
次いで「西脇地区」の割合が19.1%、「野村地区」の割合が15.9%となっています。

(n=472)

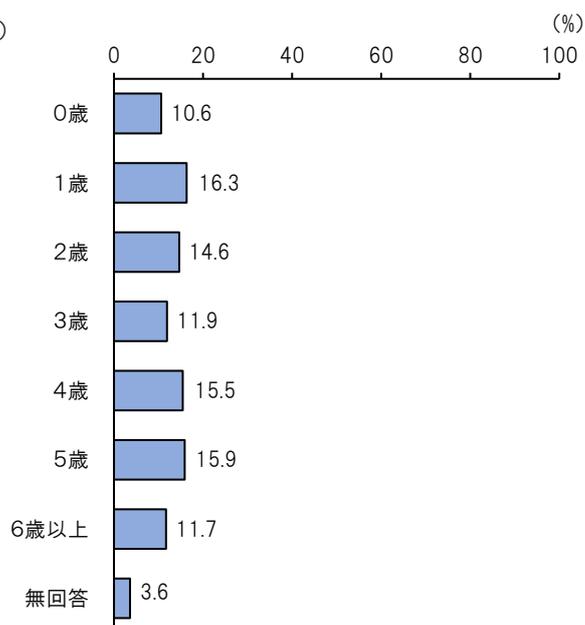


(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。 年齢(令和6年1月1日現在)

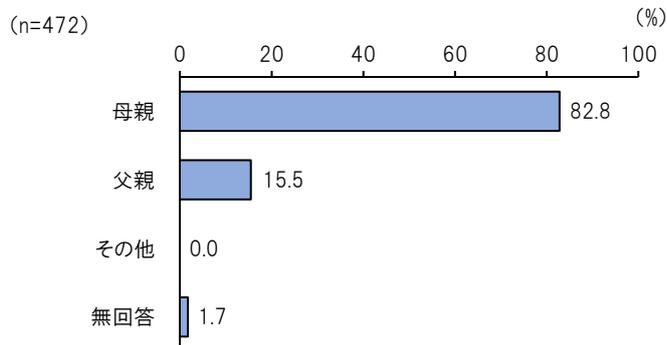
「1歳」の割合が16.3%と最も高く、次いで「5歳」の割合が15.9%、「4歳」の割合が15.5%となっています。

(n=472)



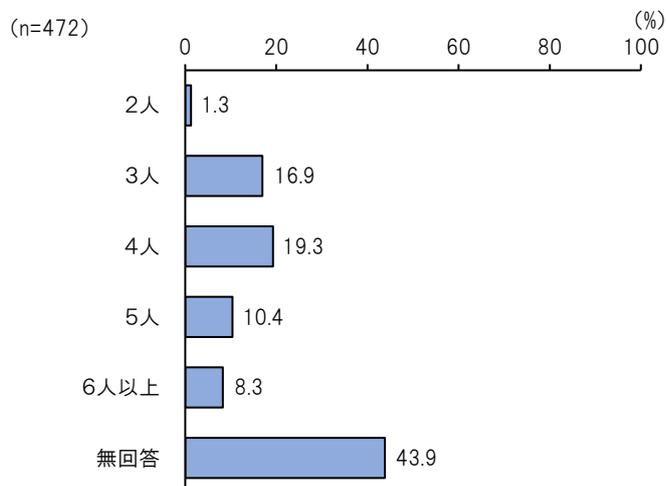
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに○)

「母親」の割合が82.8%、「父親」の割合が15.5%となっています。



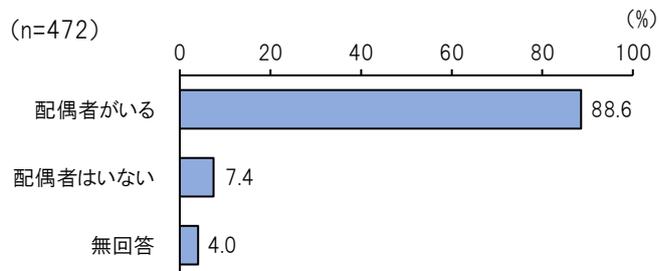
同居の家族の人数

「4人」の割合が19.3%と最も高くなっています。



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)

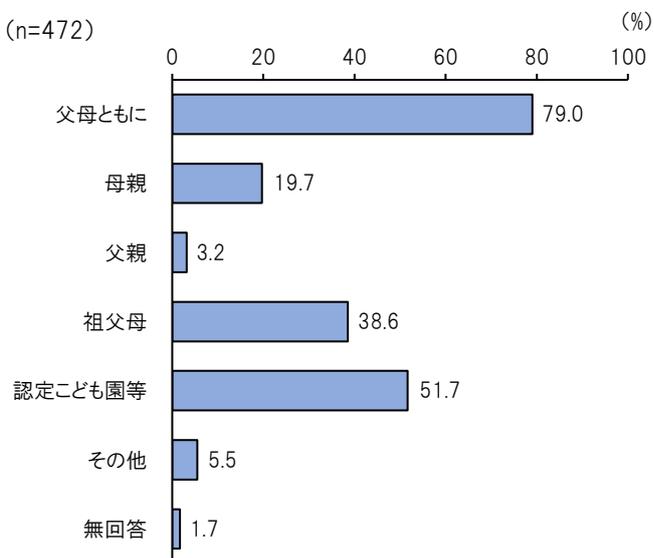
「配偶者がいる」の割合が88.6%、「配偶者はいない」の割合が7.4%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

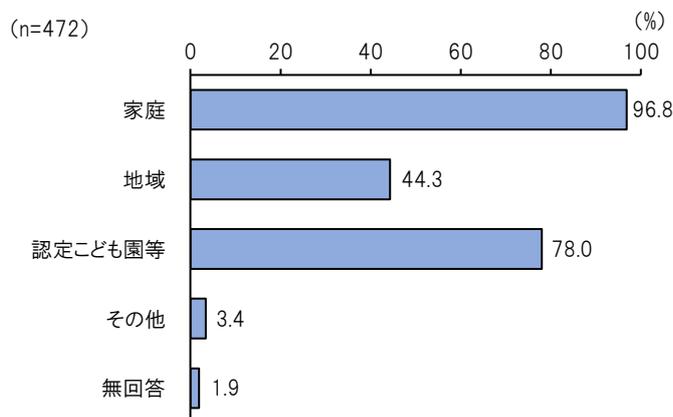
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（お子さんからみた関係で、あてはまるものすべてに○）

「父母ともに」の割合が79.0%と最も高く、次いで「認定こども園等」の割合が51.7%、
 「祖父母」の割合が38.6%となっています。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境すべてについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

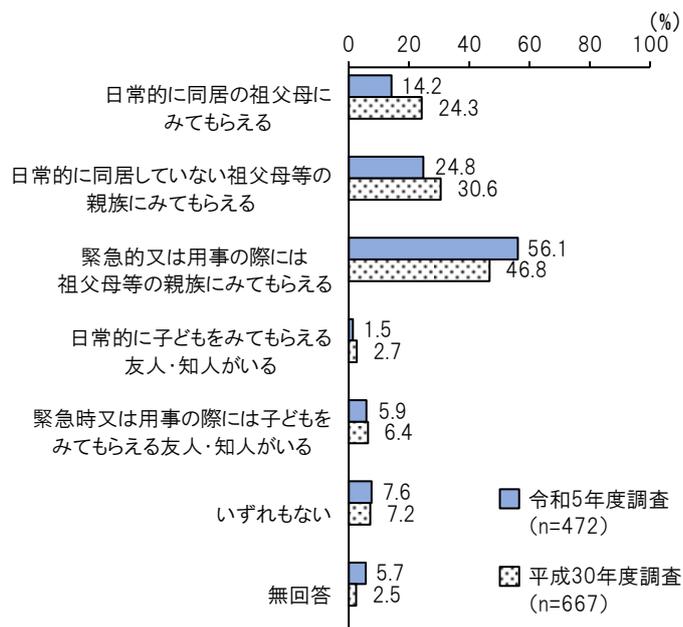
「家庭」の割合が96.8%と最も高く、次いで「認定こども園等」の割合が78.0%、「地域」の割合が44.3%となっています。



問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

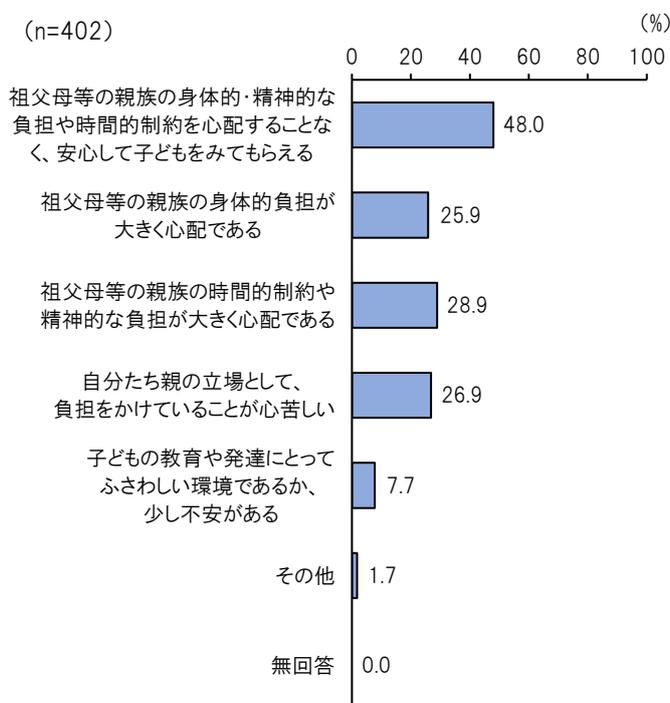
「緊急的又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が56.1%と最も高く、次いで「日常的に同居していない祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が24.8%、「日常的に同居の祖父母にみてもらえる」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「緊急的又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「日常的に同居の祖父母にみてもらえる」の割合が減少しています。



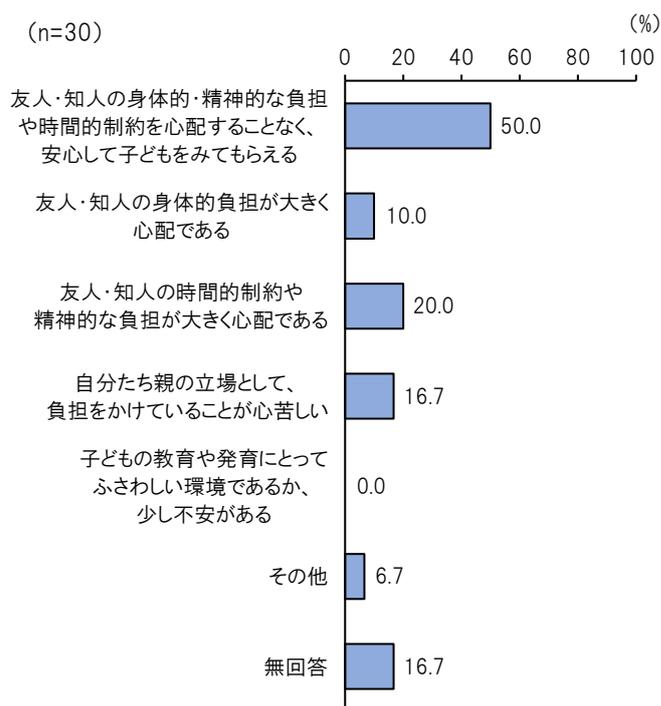
問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が48.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が28.9%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.9%となっています。



問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

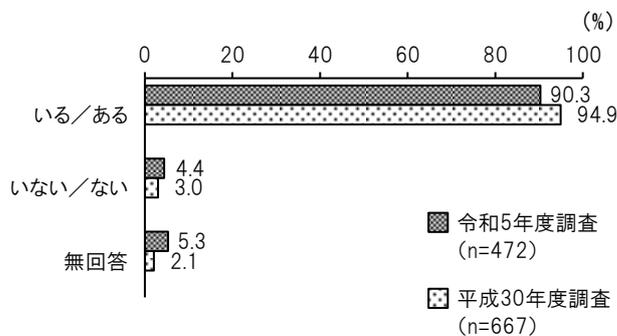
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が50.0%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が20.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が16.7%となっています。



問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(ひとつに○)

「いる／ある」の割合が90.3%、「いない／ない」の割合が4.4%となっています。

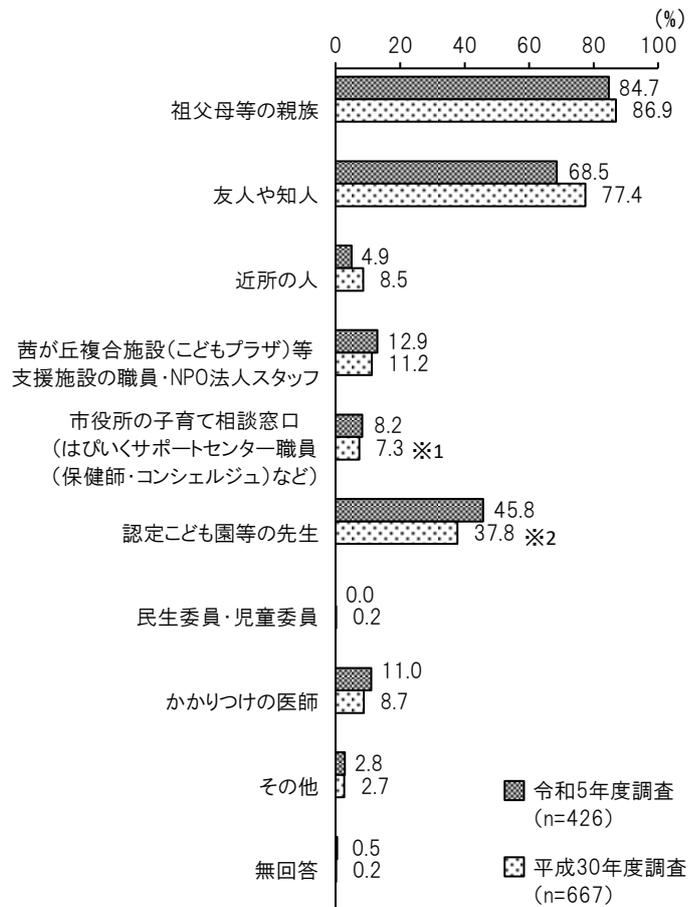
平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」の割合が減少しています。



問 8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「祖父母等の親族」の割合が 84.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 68.5%、「認定こども園等の先生」の割合が 45.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。



※1 平成 30 年度調査では「市役所の子育て相談窓口」が 1.6%、「健康づくりセンター職員」が 5.7%で合計 7.3%となっています。

※2 平成 30 年度調査では「保育士・保育教諭」が 29.7%、「幼稚園教諭」が 8.1%で合計 37.8%となっています。

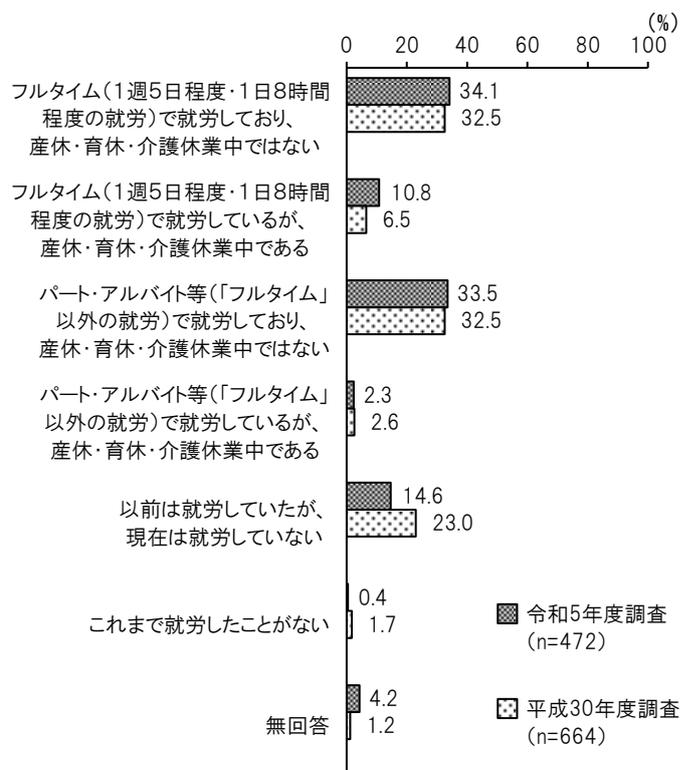
(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（母親・父親それぞれひとつに○）

(1) 母親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が33.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.6%となっています。

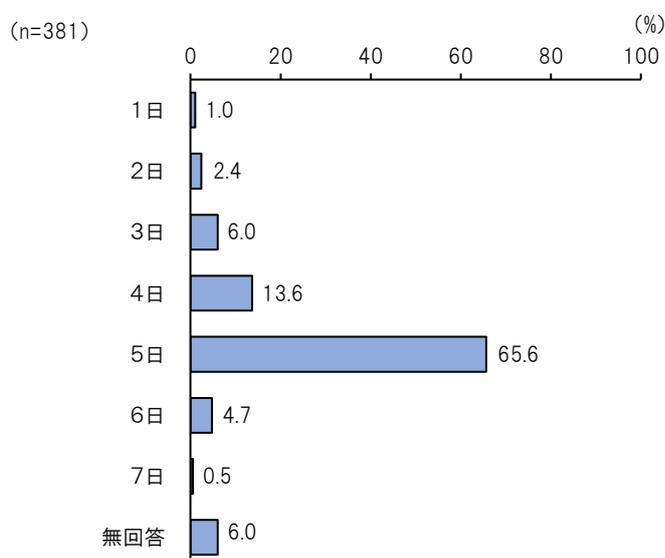
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(1) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

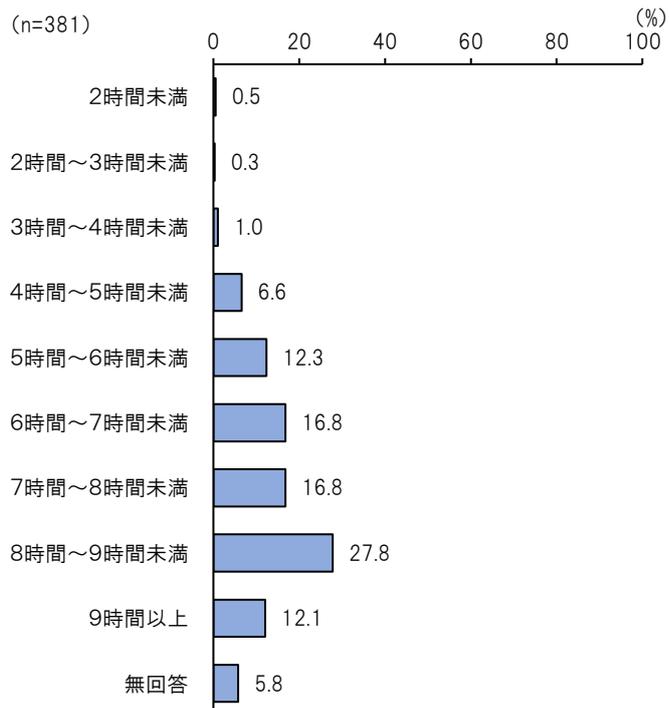
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が65.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が13.6%となっています。



イ 1日当たり就労時間

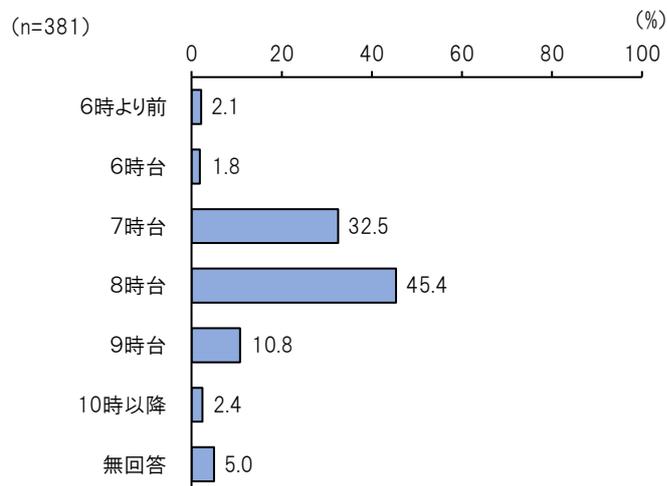
「8時間～9時間未満」の割合が27.8%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合と「7時間～8時間未満」の割合がともに16.8%となっています。



(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。

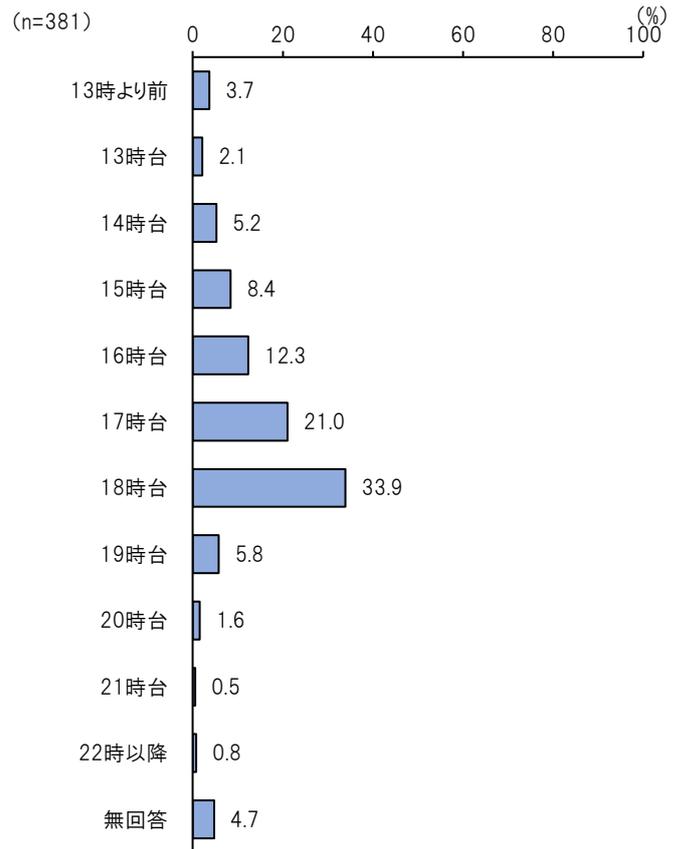
ア 家を出る時刻

「8時台」の割合が45.4%と最も高く、次いで「7時台」の割合が32.5%、「9時台」の割合が10.8%となっています。



イ 帰宅時刻

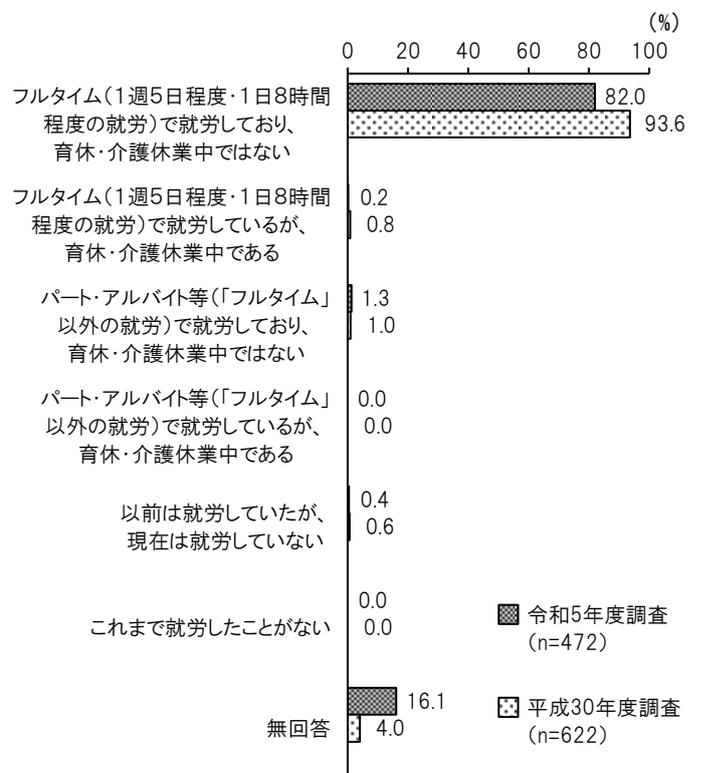
「18 時台」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.0%、「16 時台」の割合が 12.3%となっています。



(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 82.0%と最も高くなっています。

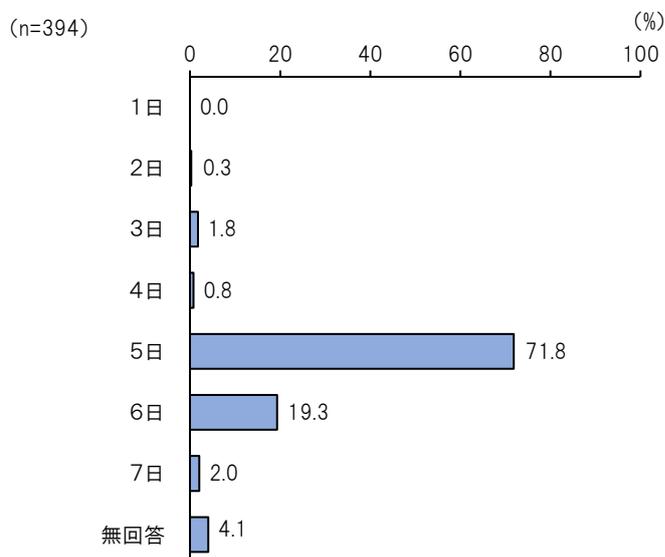
平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



(2) -1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

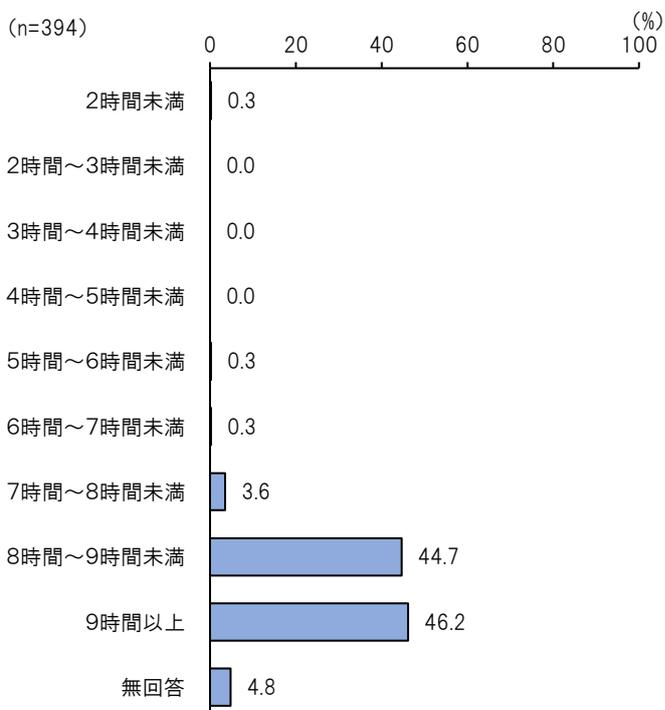
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が71.8%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.3%となっています。



イ 1日当たり就労時間

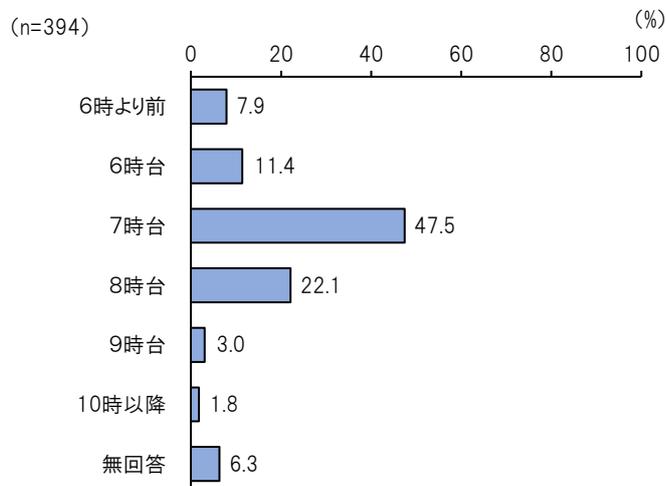
「9時間以上」の割合が46.2%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が44.7%となっています。



(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。

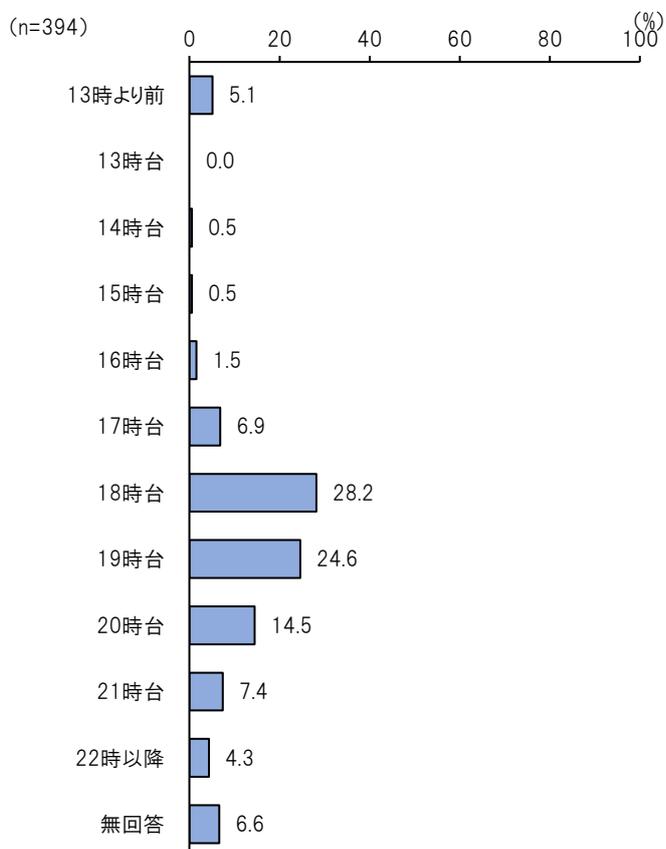
ア 家を出る時刻

「7時台」の割合が47.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が22.1%となっています。



イ 帰宅時刻

「18時台」の割合が28.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が24.6%、「20時台」の割合が14.5%となっています。

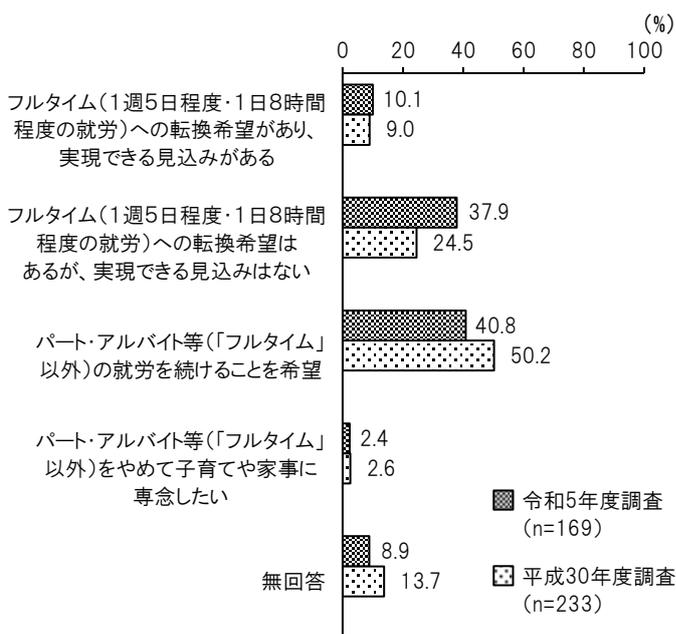


問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親・父親それぞれひとつに○)

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が40.8%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が37.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。



(2) 父親

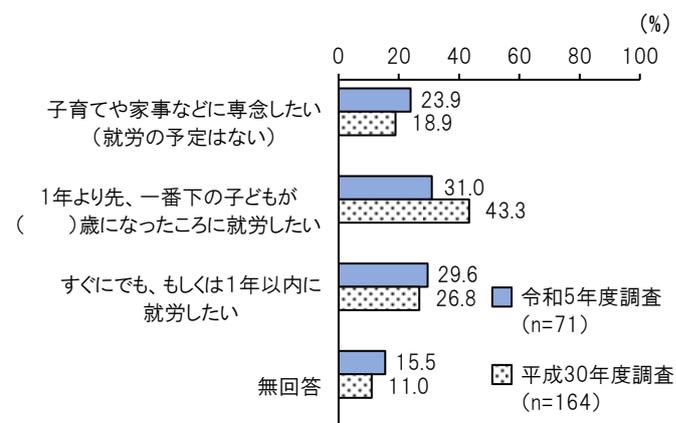
「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が4件となっています。

問 12 就労したいという希望はありますか。(母親・父親それぞれひとつに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください)

(1) 母親

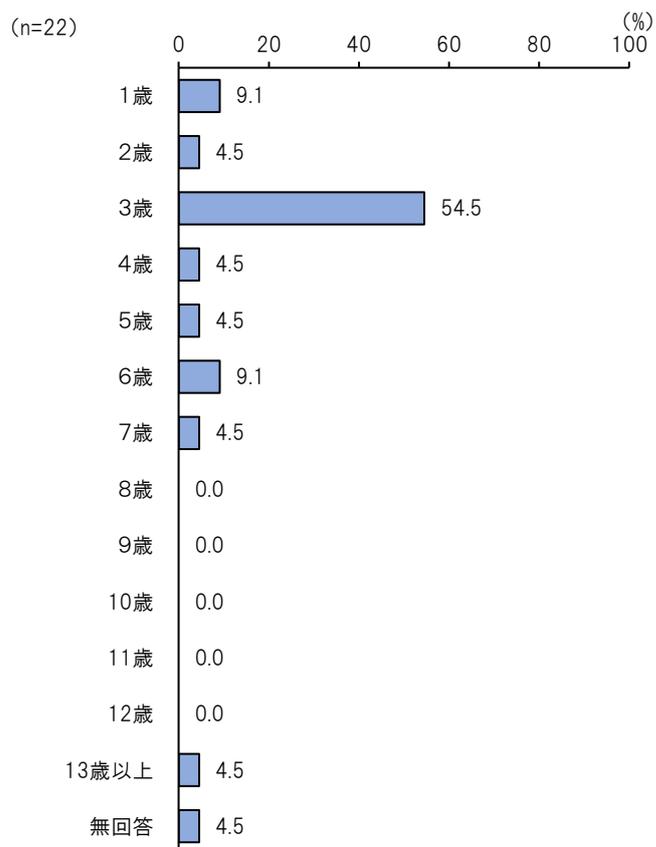
「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」の割合が31.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が29.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加しています。一方で、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」の割合が減少しています。



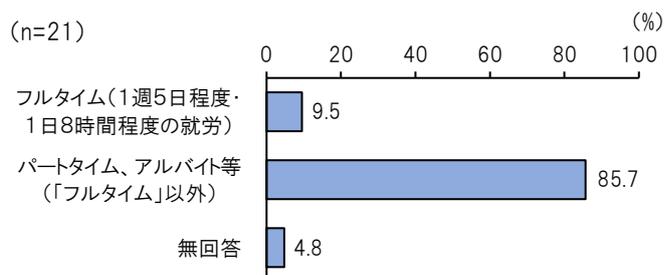
ア 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい

「3歳」の割合が54.5%と最も高くなっています。



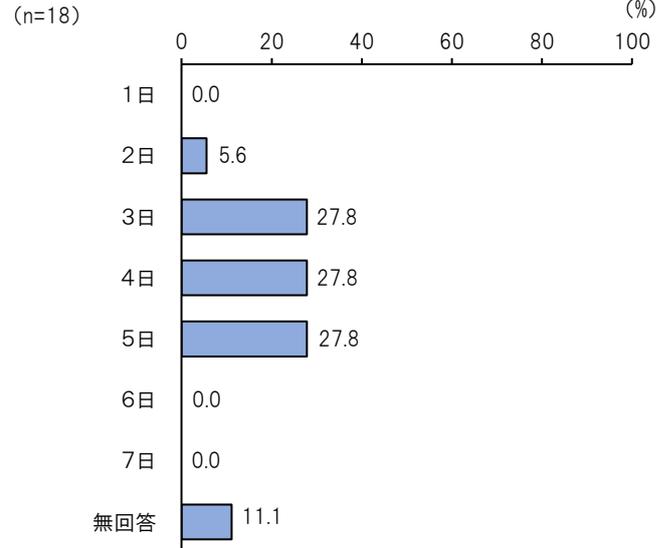
イ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が9.5%、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が85.7%となっています。



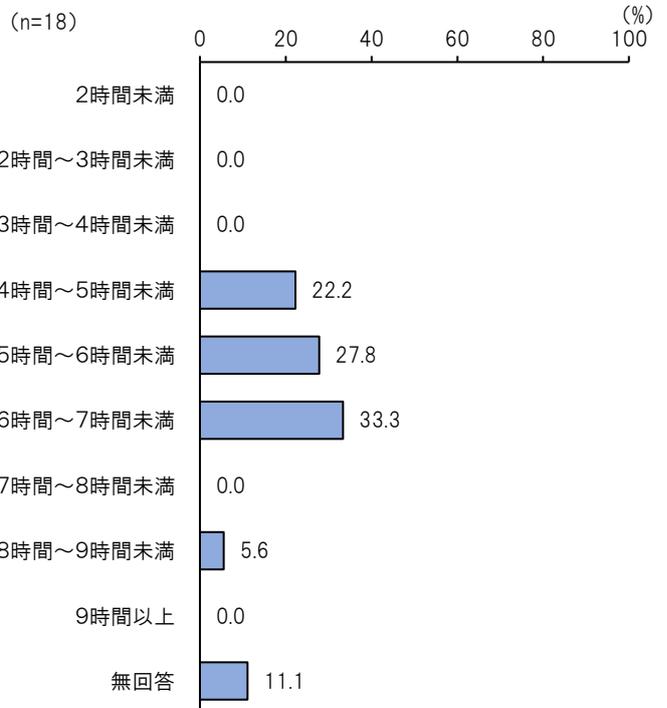
ウ 希望する1週当たり勤務日数

「3日」、「4日」、「5日」の割合が27.8%と最も高くなっています。



エ 希望する1日当たり勤務時間

「6時間～7時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が27.8%、「4時間～5時間未満」の割合が22.2%となっています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

ア 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
有効回答がありませんでした。

イ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が1件、「パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)」が0件となっています。

ウ 希望する1週当たり勤務日数

有効回答がありませんでした。

エ 希望する1日当たり勤務時間

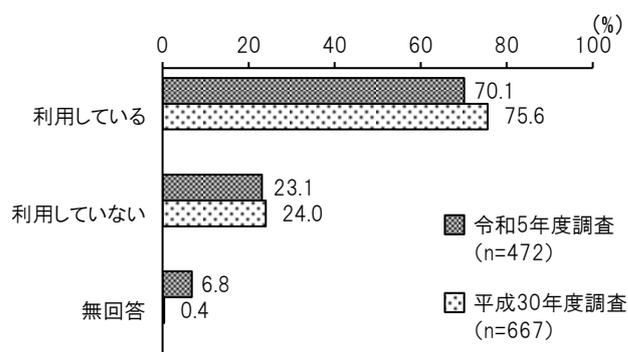
有効回答がありませんでした。

(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(ひとつに○)

「利用している」の割合が70.1%、「利用していない」の割合が23.1%となっています。

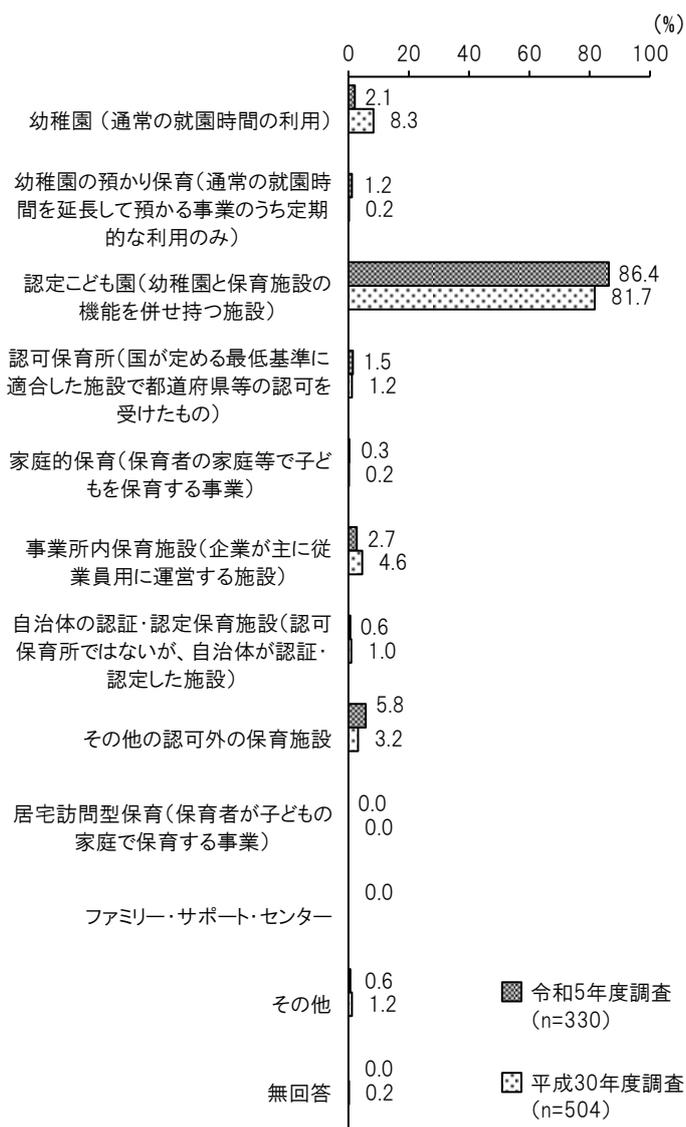
平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が減少しています。



問 13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が86.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が減少しています。一方、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が増加しています。

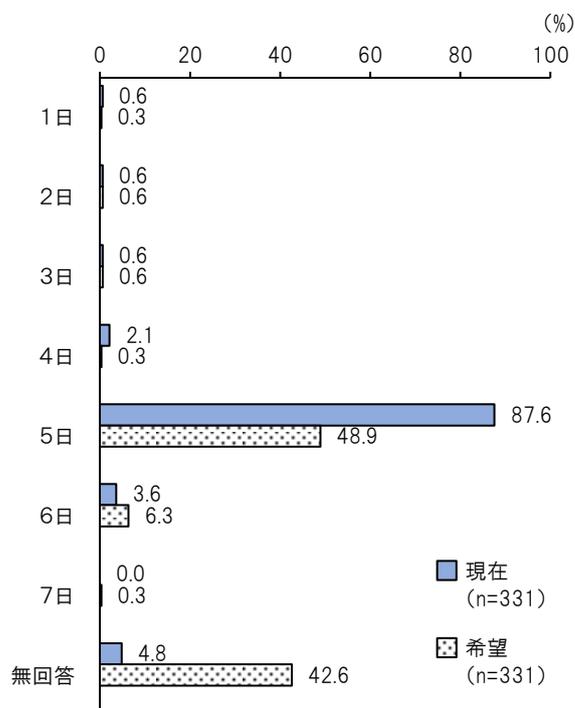


問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください

ア 1週当たりの利用日数

現在をみると、「5日」の割合が87.6%と最も高くなっています。

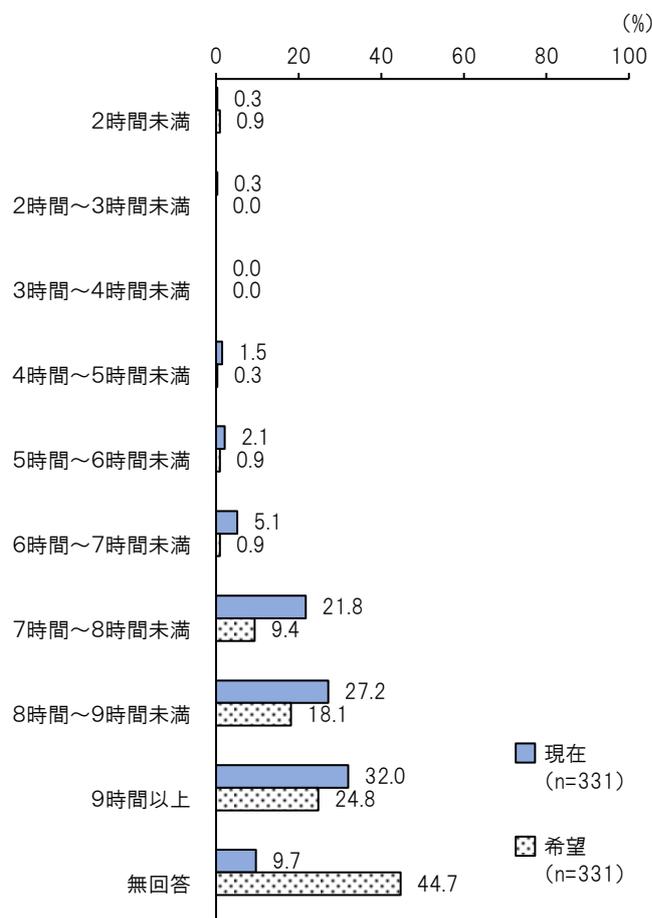
希望をみると、「5日」の割合が48.9%と最も高くなっています。



イ 1日当たりの利用時間

現在をみると、「9時間以上」の割合が32.0%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が27.2%、「7時間～8時間未満」の割合が21.8%となっています。

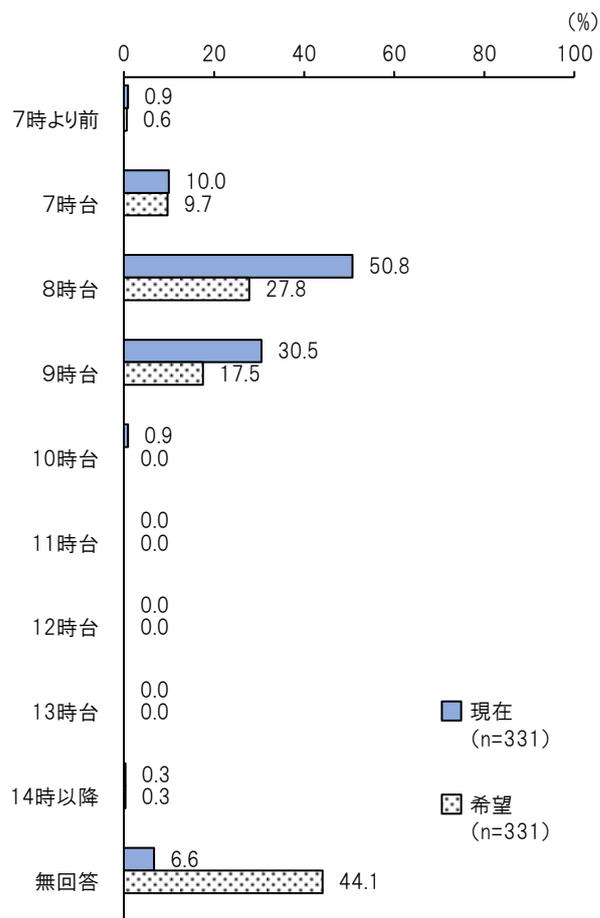
希望をみると、「9時間以上」の割合が24.8%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が18.1%、「7時間～8時間未満」の割合が9.4%となっています。



ウ 利用開始時間

現在をみると、「8時台」の割合が50.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.5%となっています。

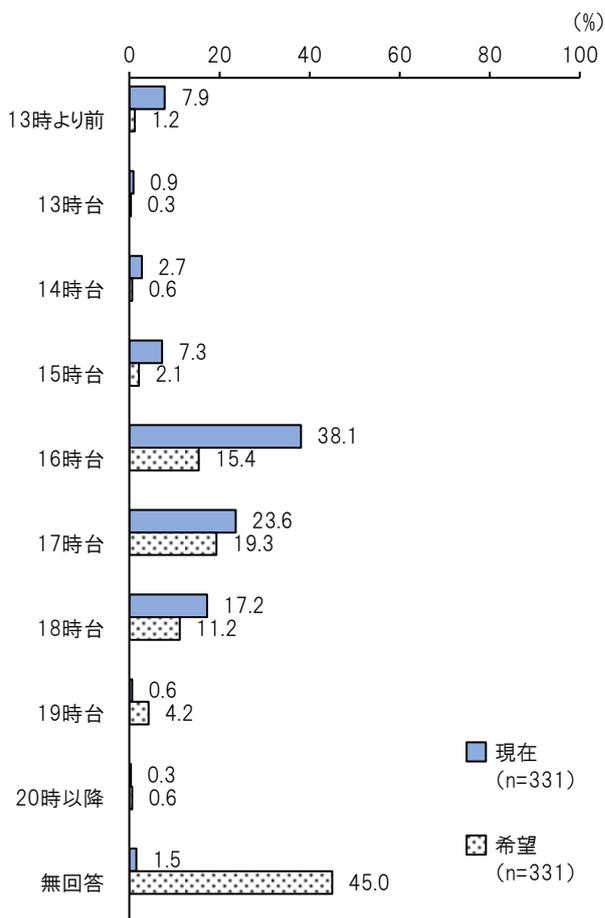
希望をみると、「8時台」の割合が27.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が17.5%となっています。



エ 利用終了時間

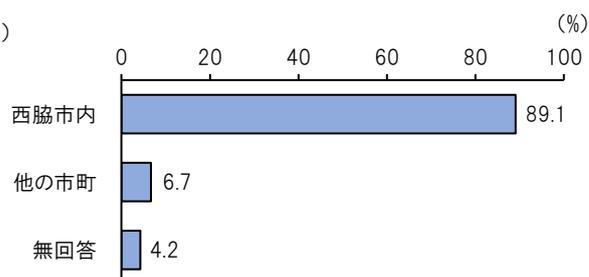
現在をみると、「16時台」の割合が38.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が23.6%、「18時台」の割合が17.2%となっています。

希望をみると、「17時台」の割合が19.3%と最も高く、次いで「16時台」の割合が15.4%となっています。



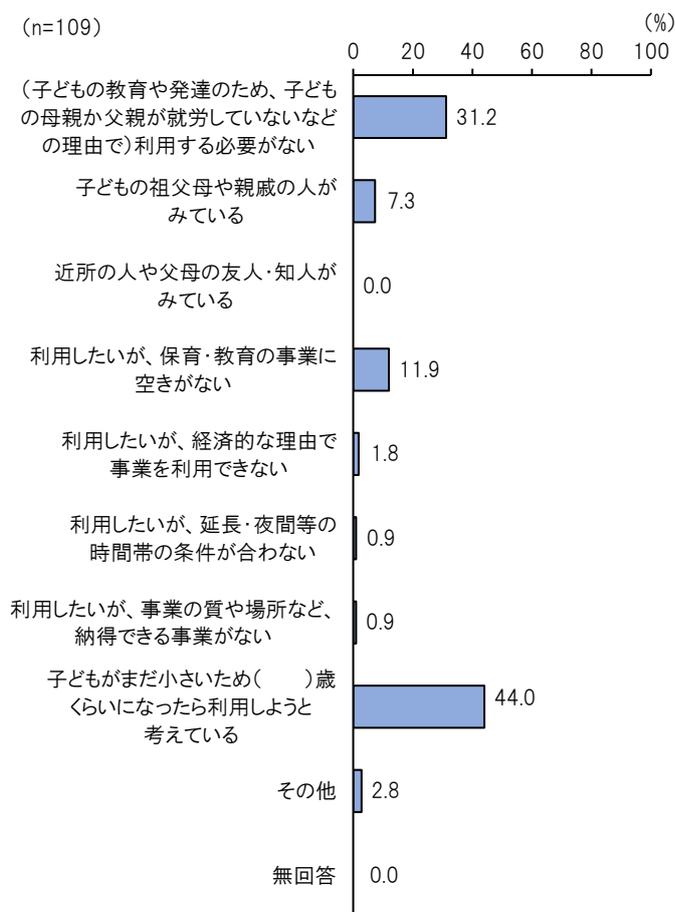
問 13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
(ひとつに○)

「西脇市内」の割合が 89.1%、「他の市町」の割合が 6.7%となっています。



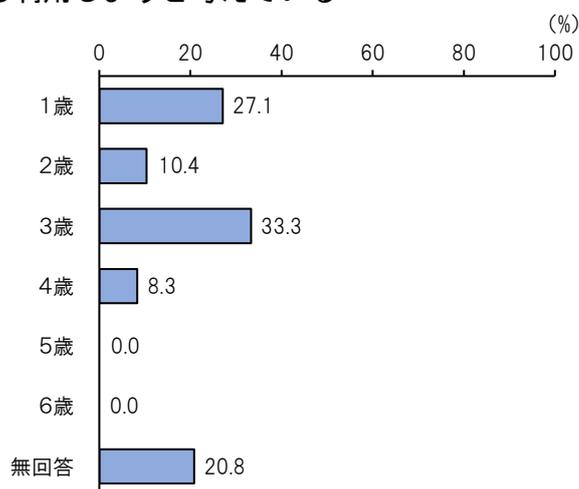
問 13-4 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」の割合が 31.2%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 11.9%となっています。



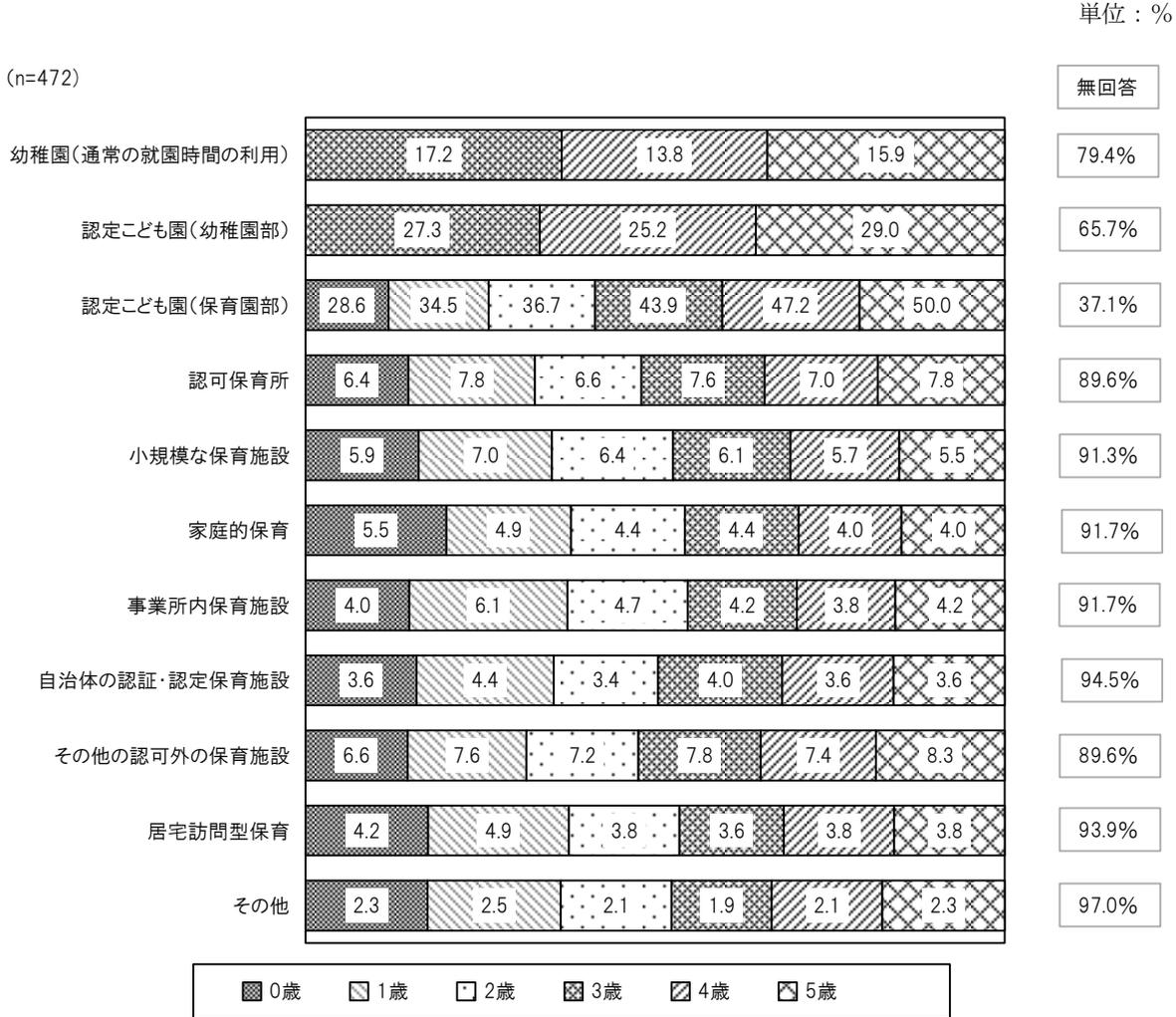
子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている

「3歳」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 27.1%、「2歳」の割合が 10.4%となっています。



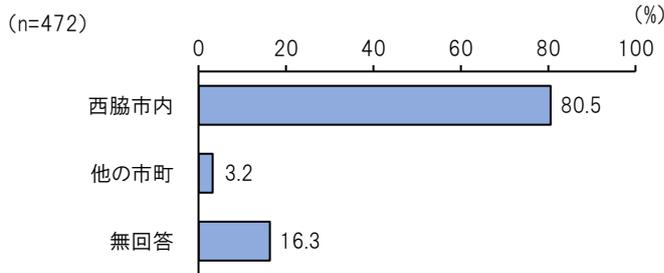
問 14 宛名のお子さんに関して、今後どのような施設を利用したいですか。年齢ごとに、もっとも利用したい施設の年齢欄にひとつ○をつけてください。
 (1歳から5歳まで利用する場合は5個○をつけてください。)

今後の施設の利用希望について、いずれの年代でも「認定こども園(保育園部)」の割合が最も高くなっています。



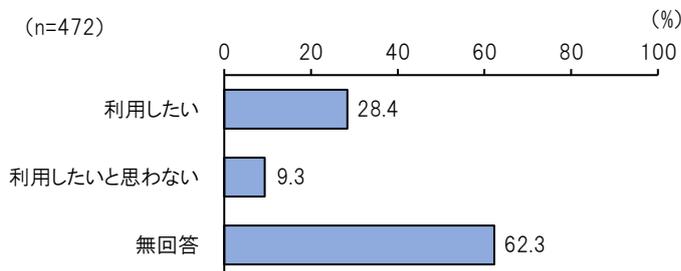
問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(ひとつに○)

「西脇市内」の割合が80.5%、「他の市町」の割合が3.2%となっています。



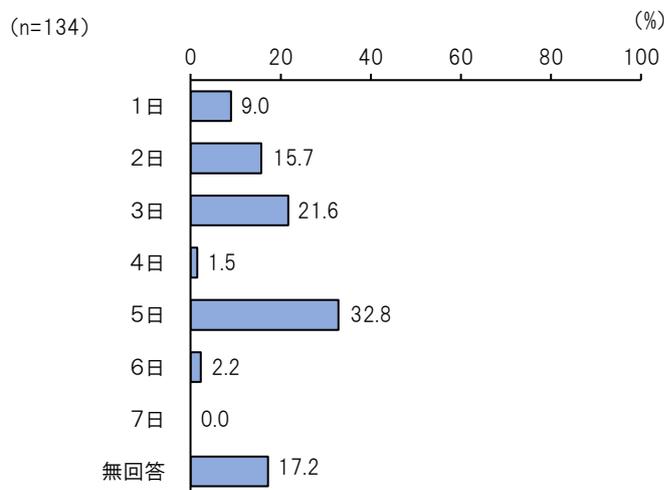
問 14-2 現在、国において「親が就労しているなどの要件を満たしていなくても、子どもを保育施設等に預けることができる新たな通園制度」の創設が検討されています。この制度が創設された場合、週に何日ぐらい利用したいと思いますか。

「利用したい」の割合が 28.4%、「利用したいと思わない」の割合が 9.3%となっています。



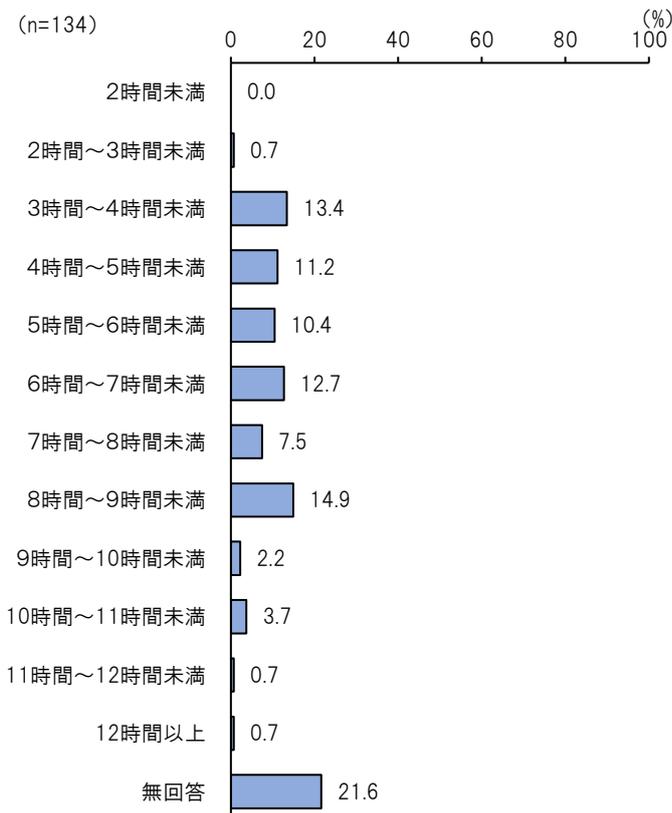
ア 1週当たりの利用日数

「5日」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が 21.6%、「2日」の割合が 15.7%となっています。



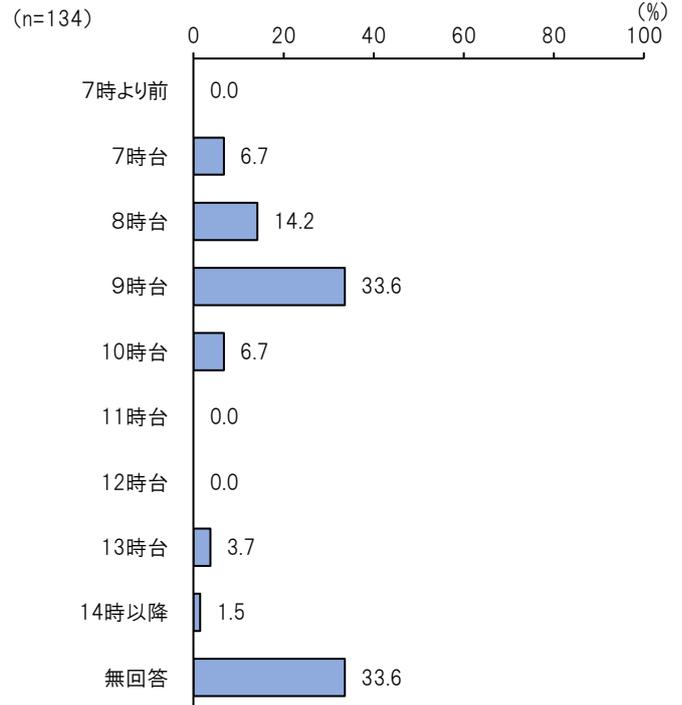
イ 1回当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が 14.9%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」の割合が 13.4%となっています。



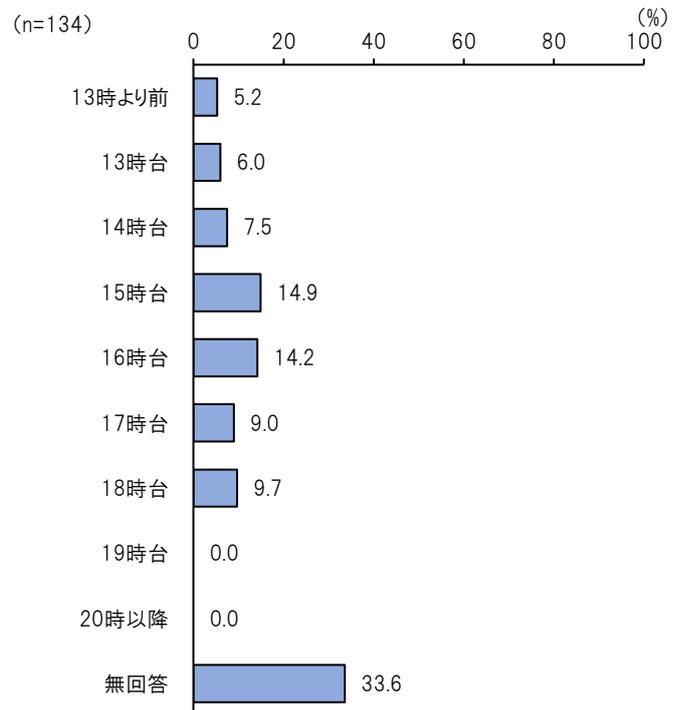
ウ 利用開始時間

「9時台」の割合が33.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が14.2%となっています。



エ 利用終了時間

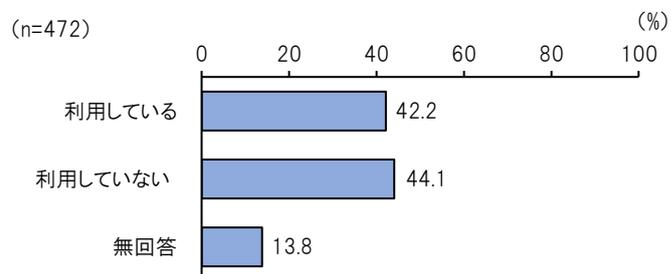
「15時台」の割合が14.9%と最も高く、次いで「16時台」の割合が14.2%、「18時台」の割合が9.7%となっています。



(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

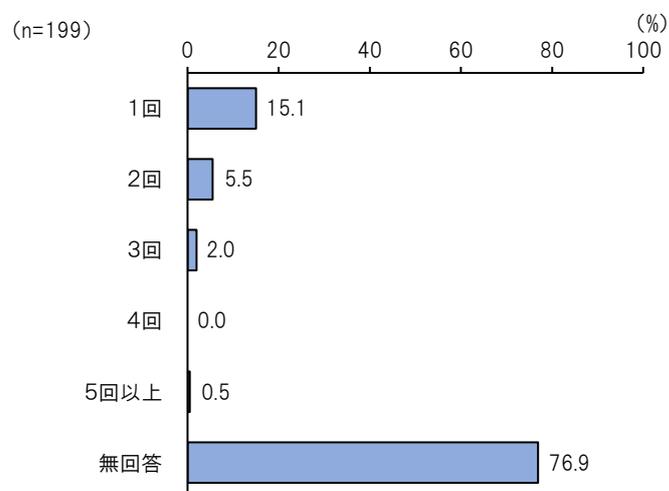
問15 宛名のお子さんは、現在、こどもプラザほかを利用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が44.1%、「利用している」の割合が42.2%となっています。



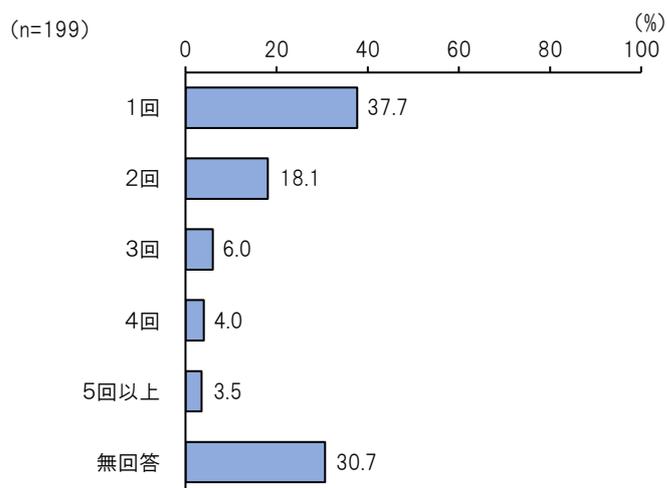
ア こどもプラザほかの1週当たりの利用回数

「1回」の割合が15.1%と最も高くなっています。



イ こどもプラザほかの1か月当たりの利用回数

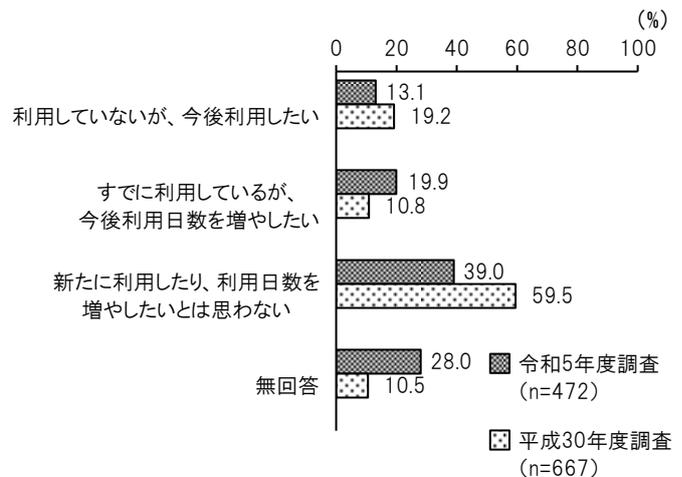
「1回」の割合が37.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.1%となっています。



問16 問15のような子どもプラザなどについて、今後どのように利用したいですか。
 (あてはまる番号ひとつに○をつけ、回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。)

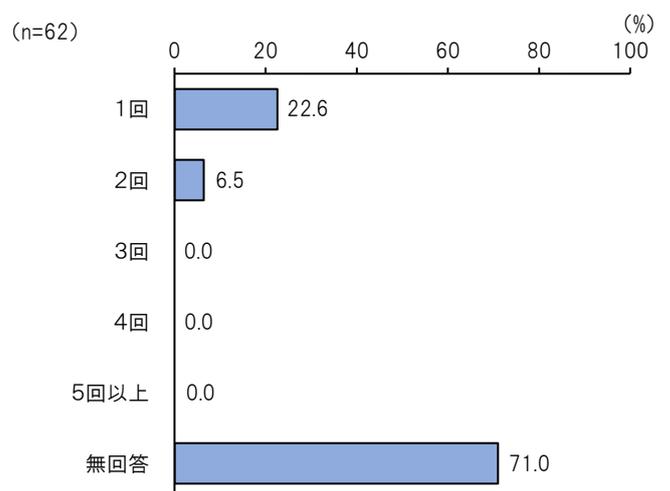
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が39.0%と最も高く、次いで「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が19.9%、「利用していないが、今後利用したい」の割合が13.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が減少しています。



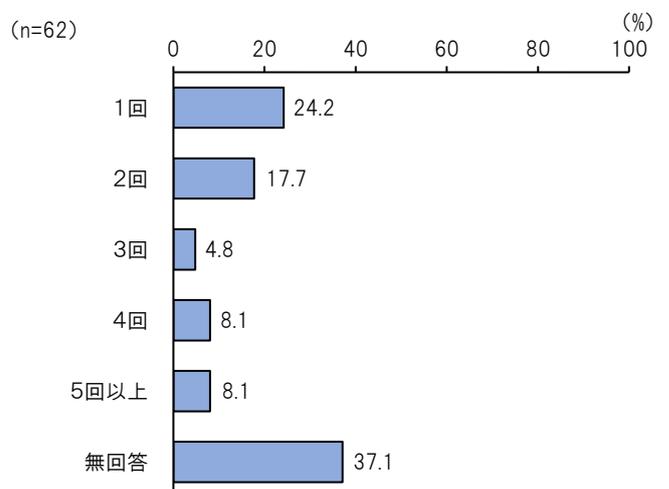
ア 利用していないが、今後利用したいの1週当たりの利用希望回数

「1回」の割合が22.6%と最も高く、次いで「2回」の割合が6.5%となっています。



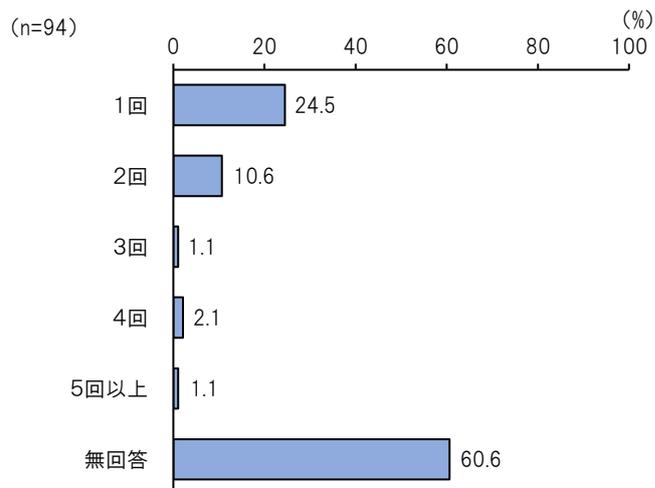
イ 利用していないが、今後利用したいの1か月当たりの利用希望回数

「1回」の割合が24.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が17.7%となっています。



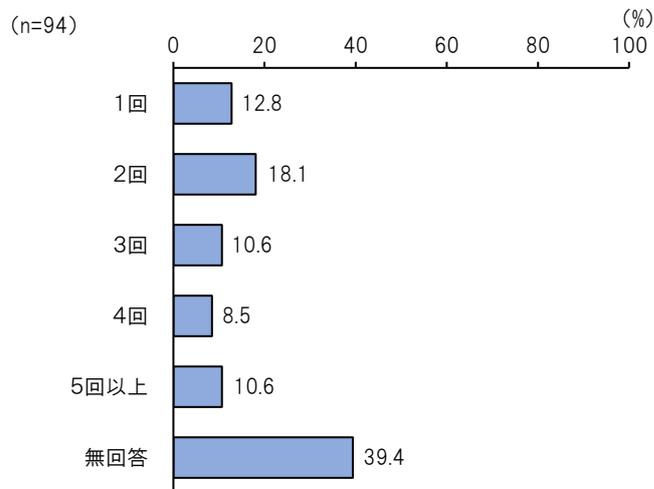
ウ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいの1週当たりの利用希望回数

「1回」の割合が24.5%と最も高くなっています。



エ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたいの1か月当たりの利用希望回数

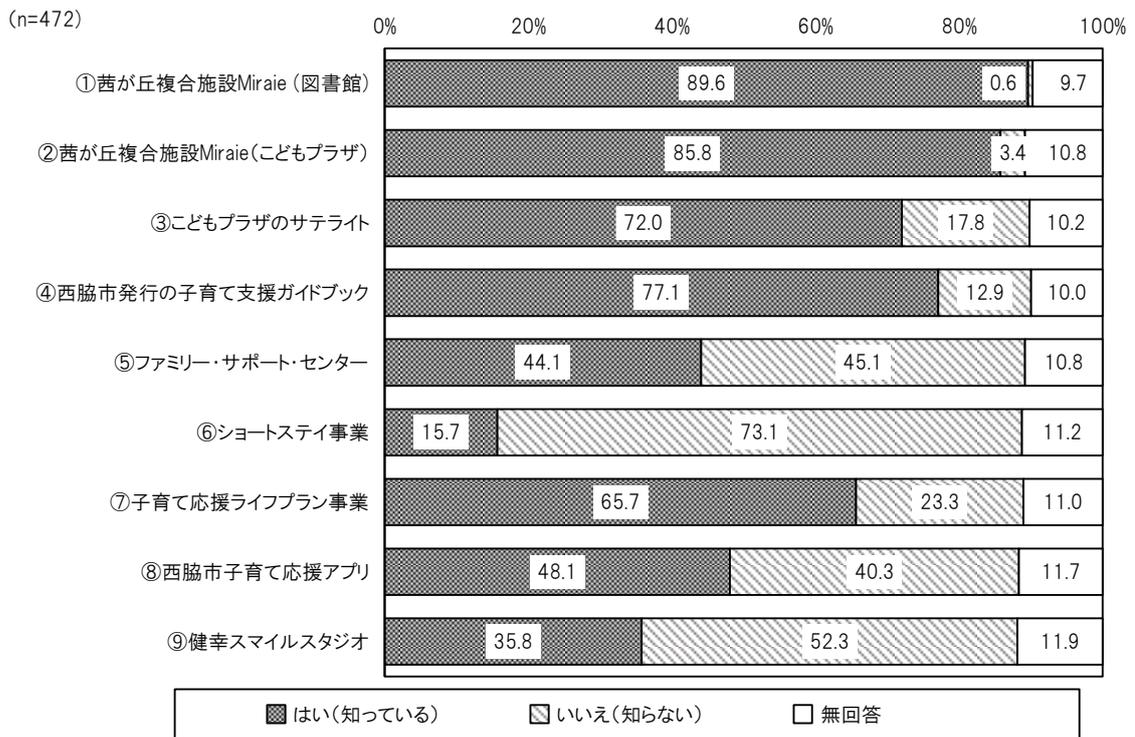
「2回」の割合が18.1%と最も高く、次いで「1回」の割合が12.8%となっています。



問 17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

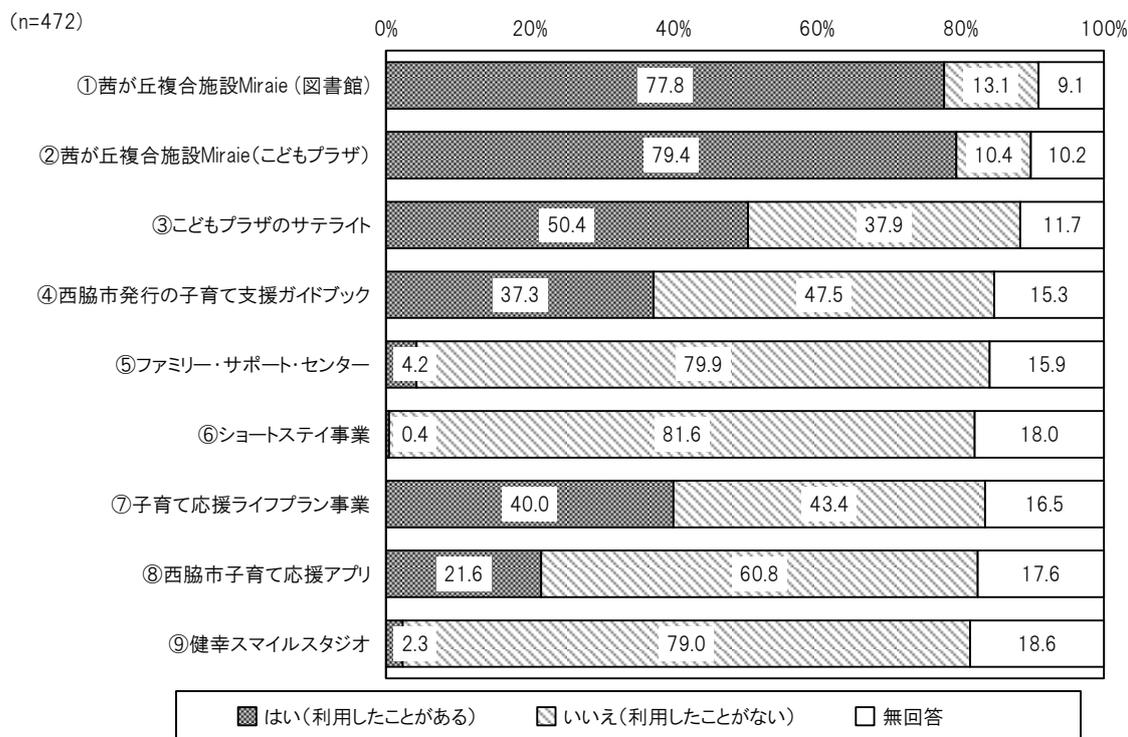
A 知っている

認知度をみると、「①茜が丘複合施設 Miraie（図書館）」、「②茜が丘複合施設 Miraie（こどもプラザ）」で「はい（知っている）」の割合が、「⑥ショートステイ事業」で「いいえ（知らない）」の割合が高くなっています。



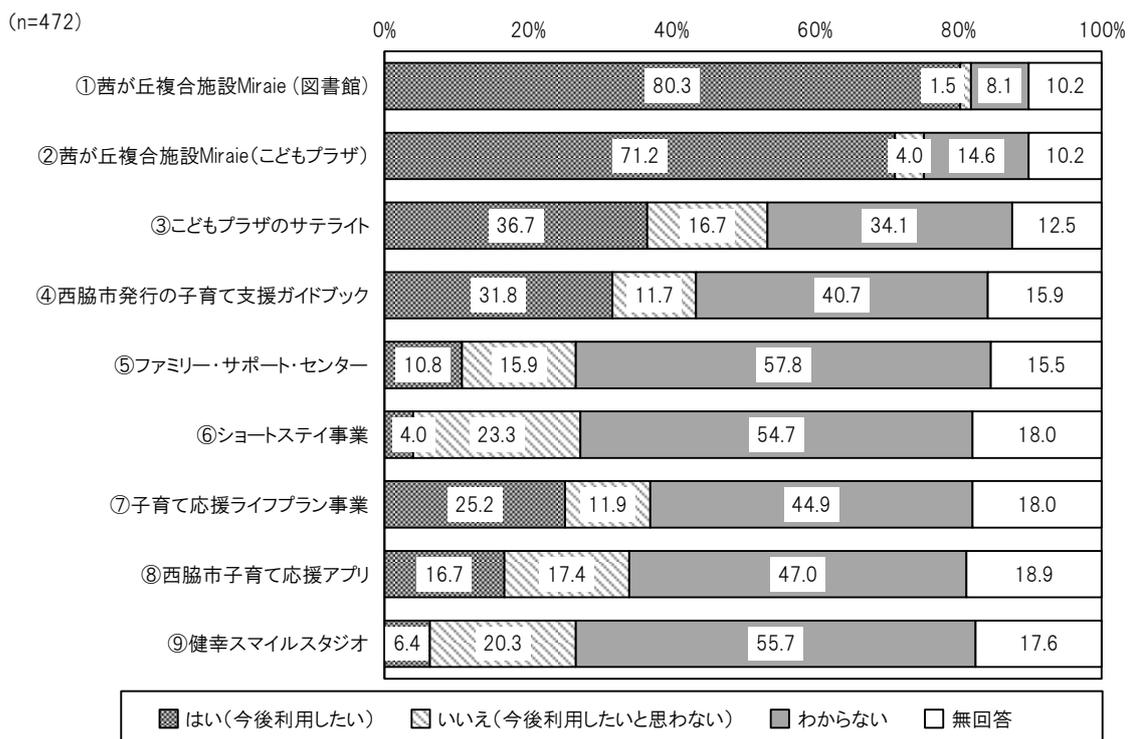
B 利用したことがある

利用経験をみると、「②茜が丘複合施設 Miraie（こどもプラザ）」、「①茜が丘複合施設 Miraie（図書館）」で「はい（利用したことがある）」の割合が、「⑤ショートステイ事業」で「いいえ（利用したことがない）」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい（今後も利用したい）

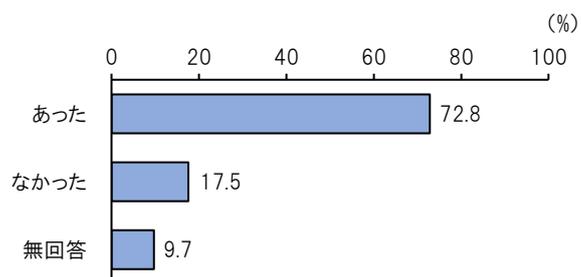
利用意向をみると「①茜が丘複合施設 Miraie（図書館）」、「②茜が丘複合施設 Miraie（こどもプラザ）」で「はい（今後利用したい）」の割合が、「⑥ショートステイ事業」、「⑨健幸スマイルスタジオ」で「いいえ（今後利用したいと思わない）」の割合が高くなっています。



(7) 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(ひとつに○)

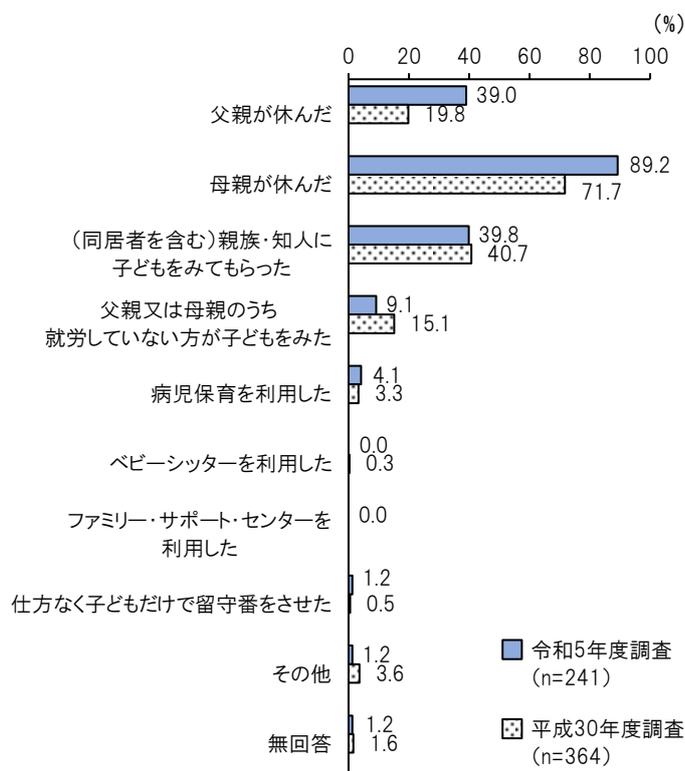
「あった」の割合が 72.8%、「なかった」 (n=331)
の割合が 17.5%となっています。



問 18-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください

対処方法をみると、「母親が休んだ」の割合が89.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」39.8%、「父親が休んだ」で39.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」の割合が増加しています。



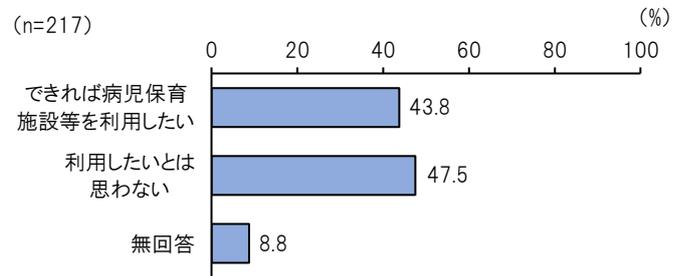
対処方法をみると、父親が休んだと病児保育を利用したで「3日」の割合が、母親が休んだ、父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた、(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらったで「10日以上」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答
父親が休んだ	94	10.6	7.4	11.7	-	7.4	-	2.1	2.1	-	6.4	52.1
母親が休んだ	215	3.3	4.7	6.0	3.7	10.2	0.5	3.3	1.4	1.9	13.5	51.6
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	96	6.3	7.3	9.4	2.1	4.2	-	1.0	-	-	12.5	57.3
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	22	-	4.5	4.5	-	9.1	-	13.6	4.5	-	13.6	50.0
病児保育を利用した	10	20.0	10.0	50.0	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
その他	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7

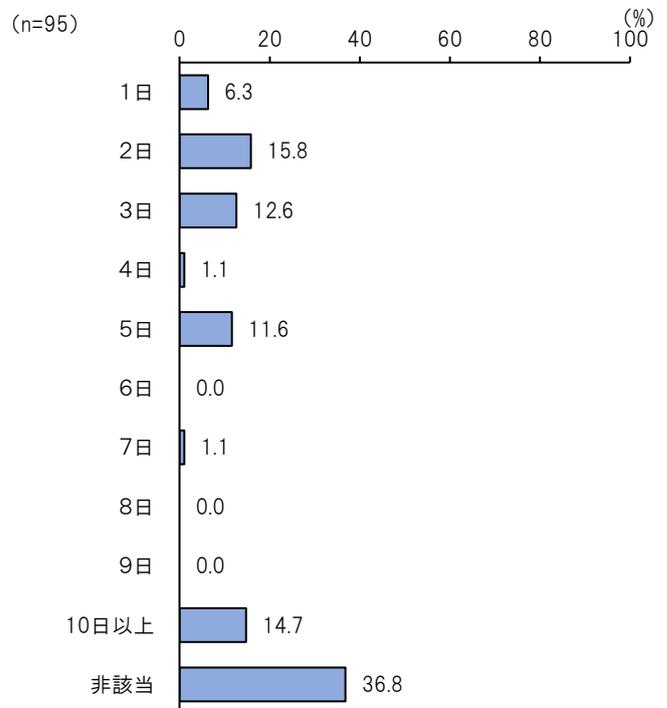
問 18-2 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号ひとつに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したいとは思わない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が43.8%となっています。



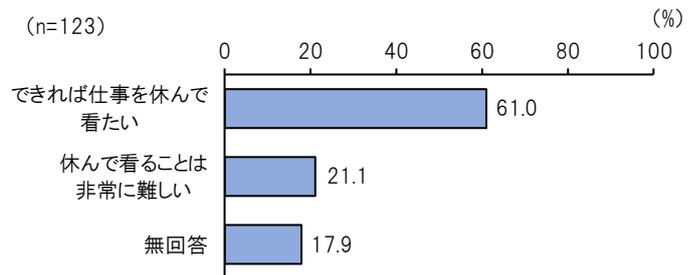
できれば病児保育施設等を利用したい 日数

「2日」の割合が15.8%と最も高く、次いで「10日以上」の割合が14.7%となっています。



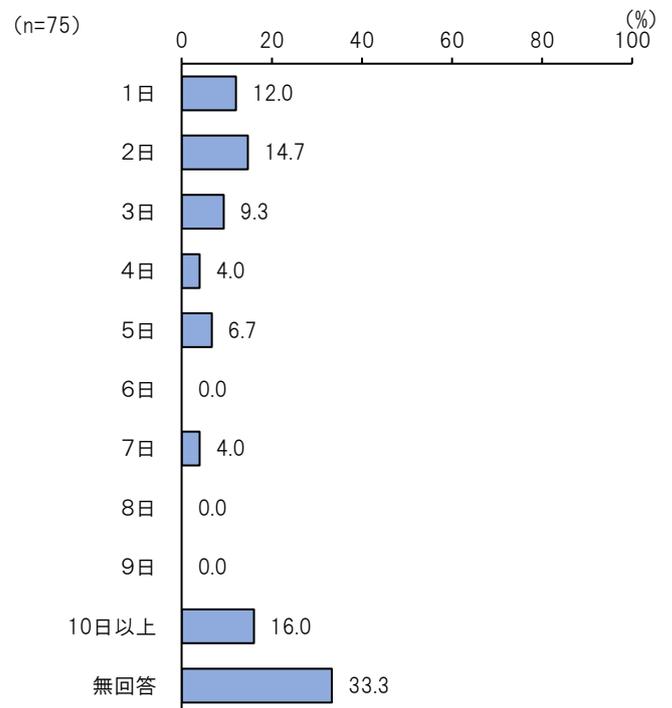
問 18-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号ひとつに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が61.0%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が21.1%となっています。



できれば仕事を休んで看たい 日数

「10日以上」の割合が16.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.7%となっています。

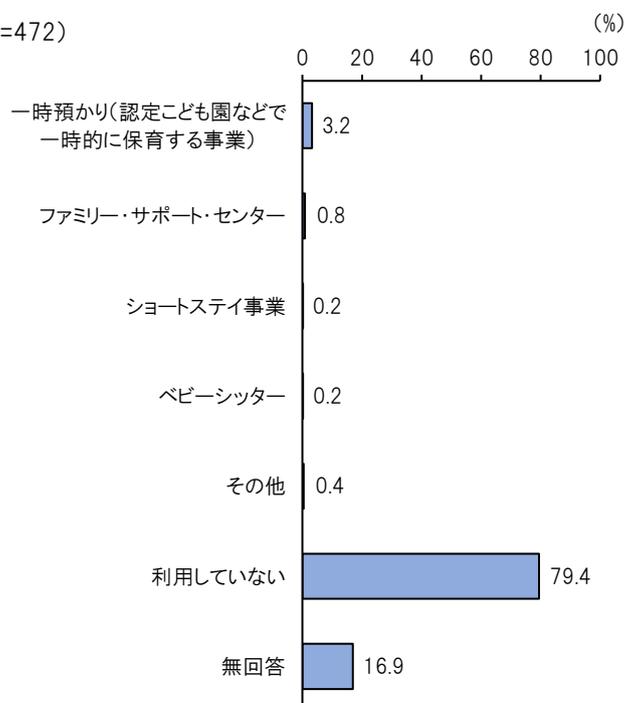


(8) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が79.4%と最も高くなっています。

(n=472)



利用日数

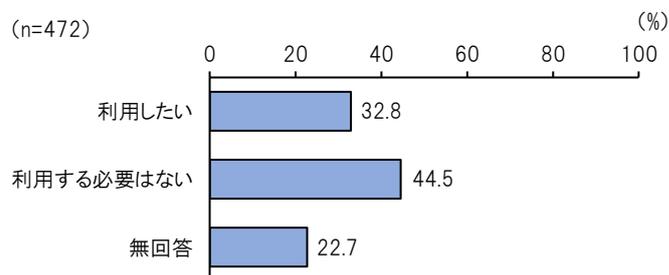
利用している事業をみると、一時預かり（認定こども園などで一時的に保育する事業）で「1日」、「2日」、「3日」、「5日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	20日	30日	40日	50日以上	無回答
一時預かり(認定こども園などで一時的に保育する事業)	15	6.7	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73.3
ファミリー・サポート・センター	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
ショートステイ事業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
ベビーシッター	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100

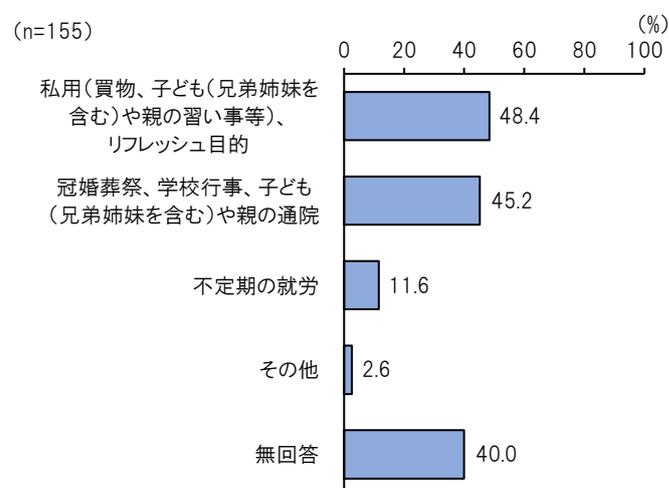
問 20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまるものすべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

「利用したい」の割合が 32.8%、「利用する必要はない」の割合が 44.5%となっています。



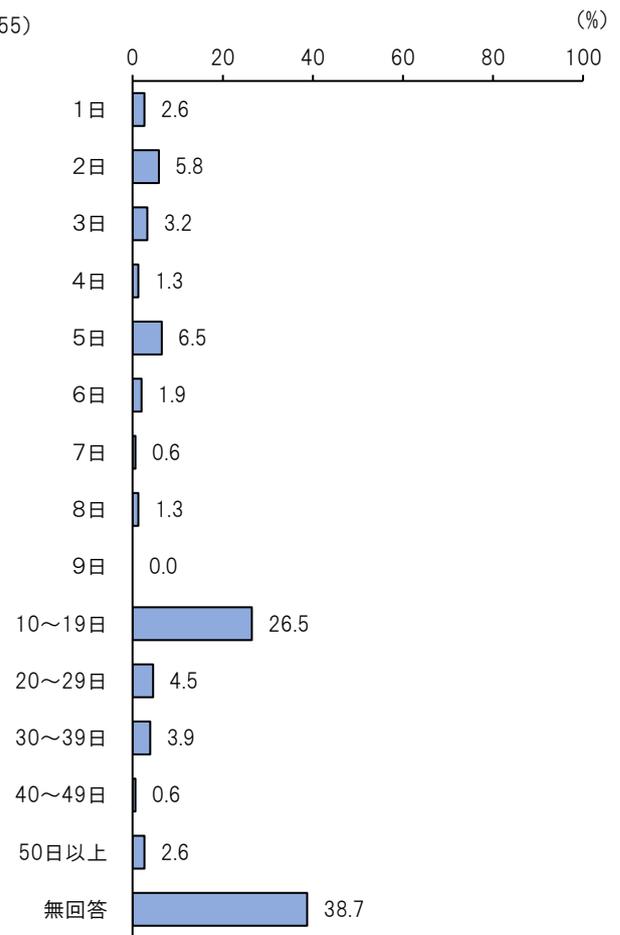
利用したいときの目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 48.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 45.2%となっています。



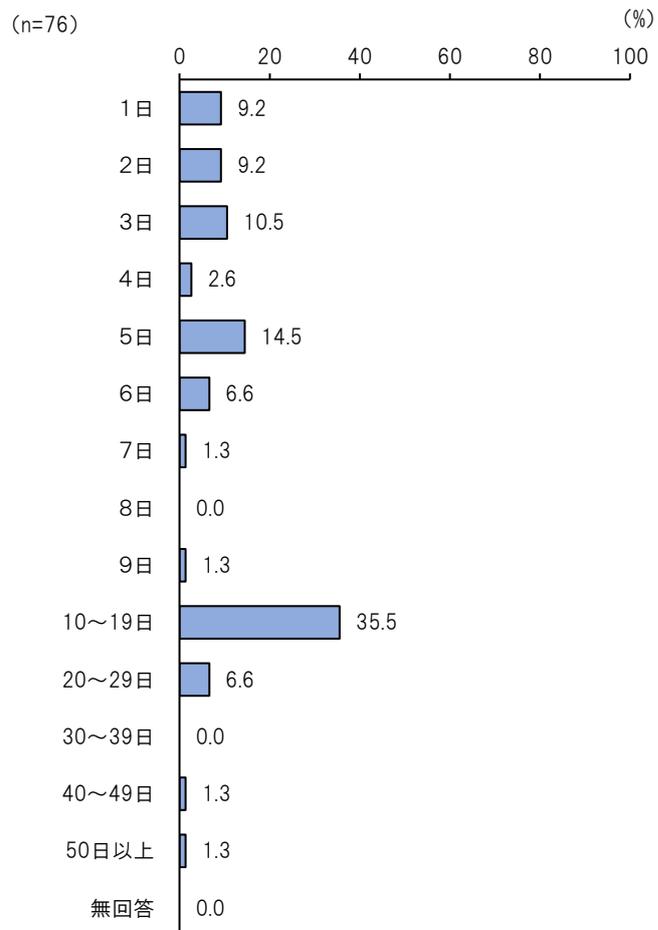
ア 利用したい合計日数

「10～19日」の割合が26.5%と最も高くなっています。(n=155)



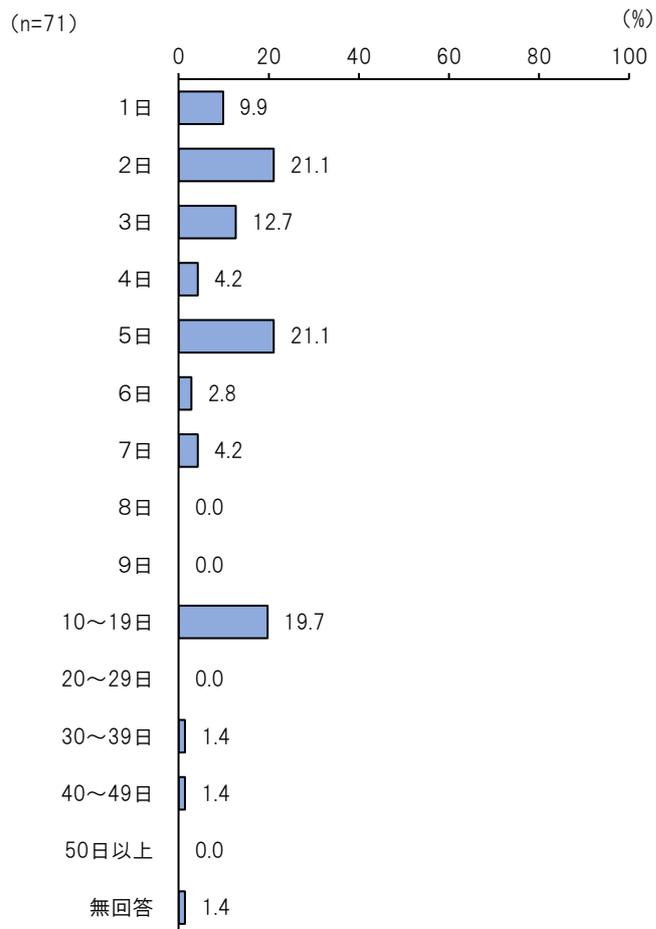
イ 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的で利用したい年間日数

「10～19日」の割合が35.5%と最も高く、次いで「5日」の割合が14.5%となっています。



ウ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等で利用したい年間日数

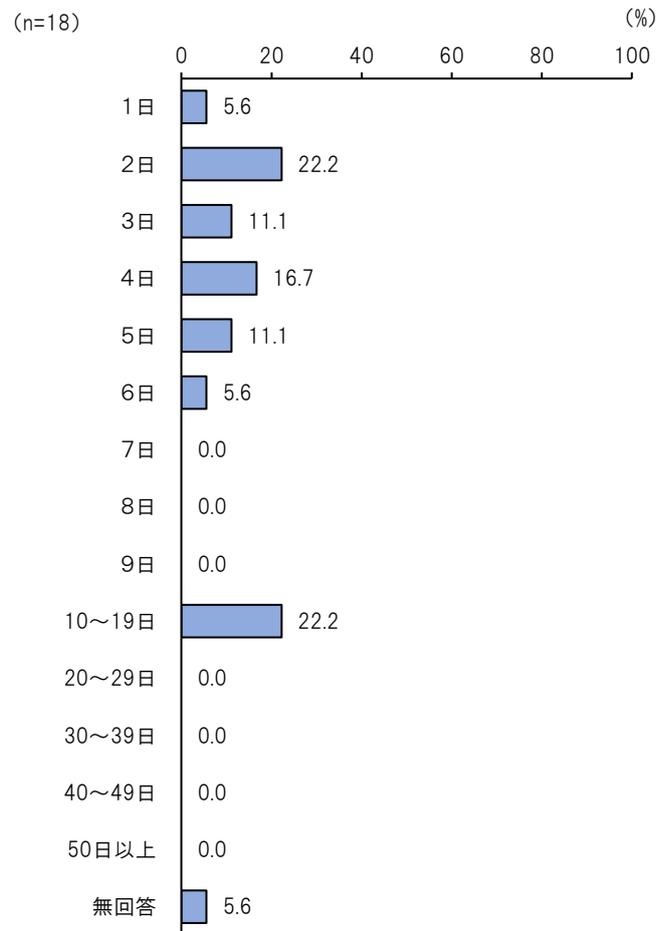
「2日」と「5日」の割合が21.1%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が19.7%となっています。



エ 不定期の就労で利用したい年間日数

(n=18)

「2日」と「10～19日」の割合が22.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が16.7%、「3日」と「5日」の割合が11.1%となっています。

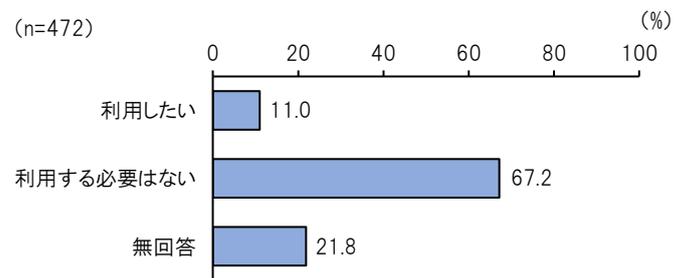


オ その他の目的で利用したい年間日数

「2日」と「5日」が2件でした。

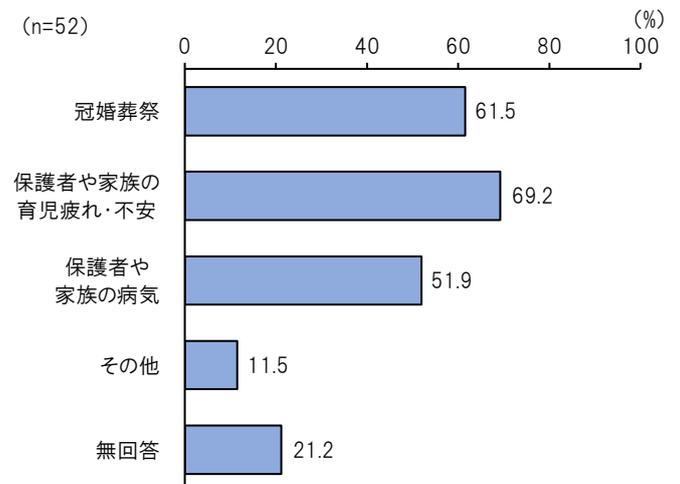
問 21 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

「利用したい」の割合が 11.0%、「利用する必要はない」の割合が 67.2%となっています。



利用したい

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が 61.5%となっています。



利用したい泊数

利用したい泊数をみると、各項目で「1泊」の割合が高くなっています。

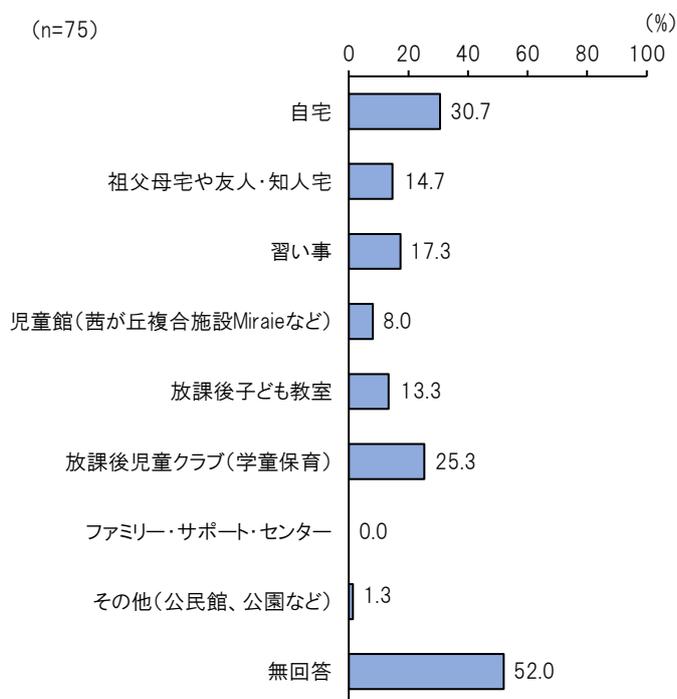
単位：%

区分	回答者数(件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	20泊	30泊	40泊	50泊以上	無回答
合計	52	3.8	7.7	3.8	9.6	3.8	1.9	3.8	-	1.9	3.8	1.9	-	-	-	57.7
冠婚葬祭	32	50.0	12.5	12.5	-	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.9
保護者や家族の育児疲れ・不安	36	30.6	22.2	8.3	-	11.1	2.8	2.8	-	-	5.6	-	-	-	-	16.7
保護者や家族の病気	27	33.3	29.6	11.1	7.4	11.1	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	3.7
その他	6	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7

(9) お子さんが来年度小学校へ入学する方へ (小学校での放課後の過ごし方について)

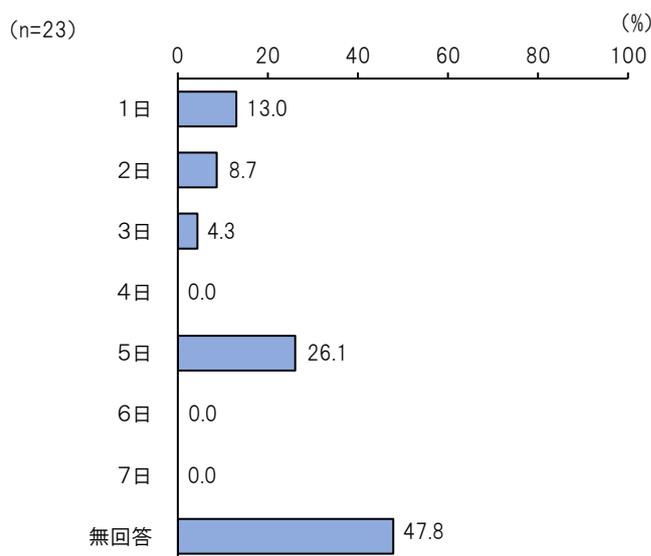
問 22 来年度小学校へ入学する方にうかがいます。
小学校入学後、1～3年生のときは、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)。また、それぞれ希望する週当たり日数には数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には、利用したい時間を、【例】18:00のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が30.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が25.3%、「習い事」の割合が17.3%となっています。



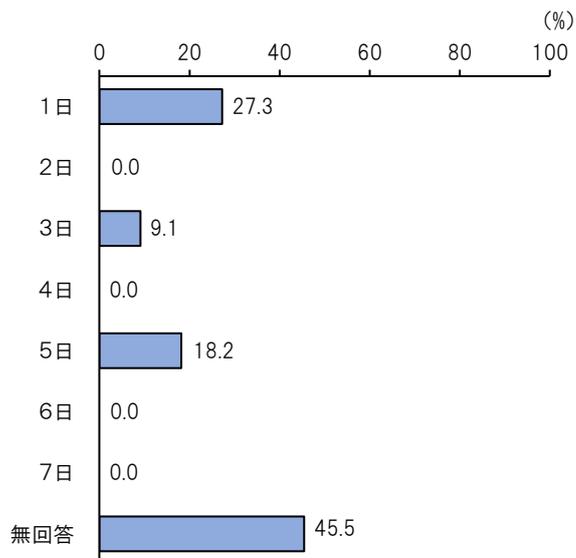
ア 自宅の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が26.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が13.0%となっています。



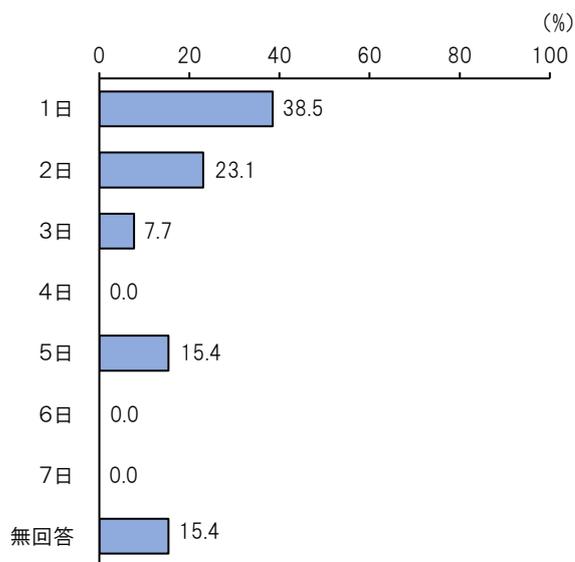
イ 祖父母宅や友人・知人宅の週当たりの利用希望日数

「1日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が18.2%となっています。(n=11)



ウ 習い事の週当たりの利用希望日数

「1日」の割合が38.5%と最も高くなっています。(n=13)



エ 児童館（茜が丘複合施設 Miraie など）の週当たりの利用希望日数

「1日」が2件となっています。「2日」が1件となっています。

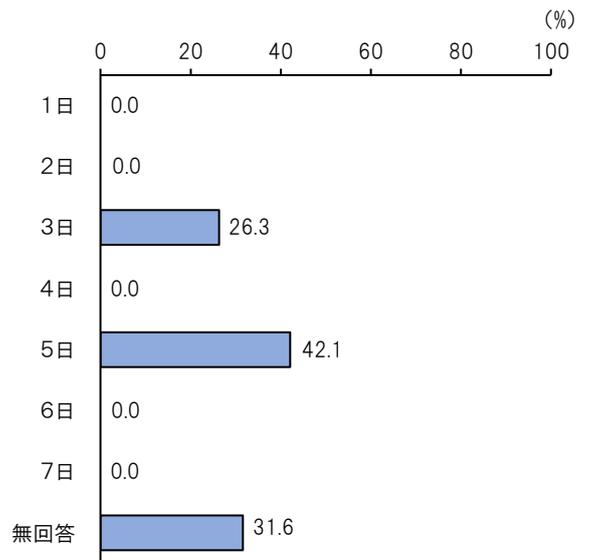
オ 放課後子ども教室の週当たりの利用希望日数

「1日」が5件となっています。「2日」と「5日」が1件となっています。

カ 放課後児童クラブ（学童保育）の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.3%となっています。

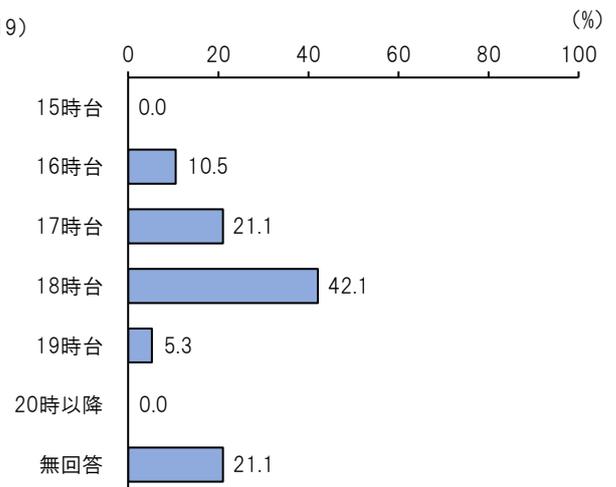
(n=19)



キ 低学年のときの「放課後児童クラブ」の利用希望時間

「18時台」の割合が42.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.1%となっています。

(n=19)



ク ファミリー・サポート・センターの週当たりの利用希望日数

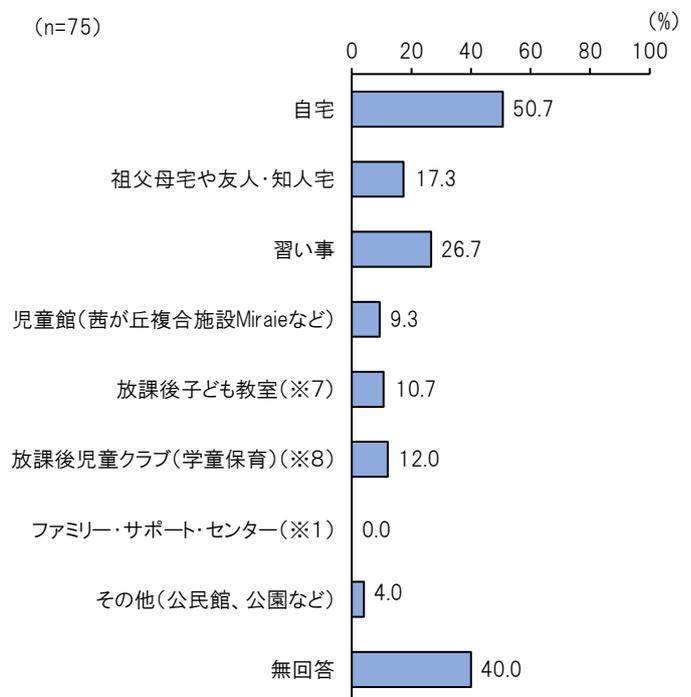
有効回答がありませんでした。

ケ その他（公民館、公園など）の週当たりの利用希望日数

有効回答がありませんでした。

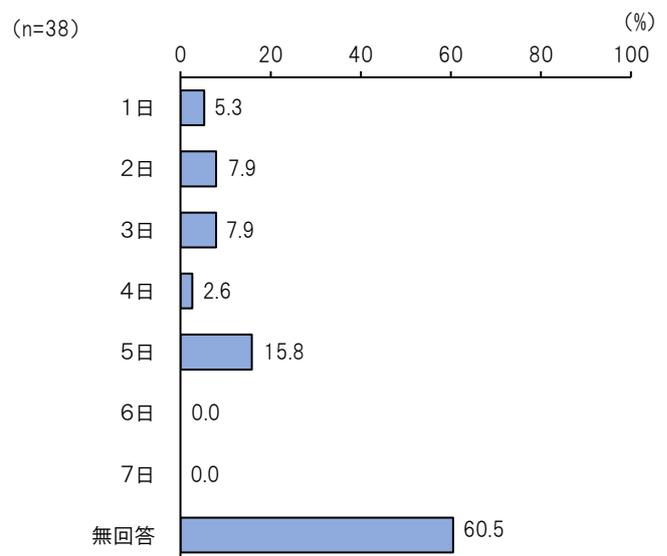
問 23 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）。また、それぞれ希望する週あたり日数には数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用したい時間を、【例】18:00のように24時間制でご記入ください。）

「自宅」の割合が50.7%と最も高く、次いで「習い事」の割合が26.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が17.3%となっています。



ア 自宅の週あたりの利用希望日数

「5日」の割合が15.8%と最も高く、次いで「2日」と「3日」の割合が7.9%となっています。

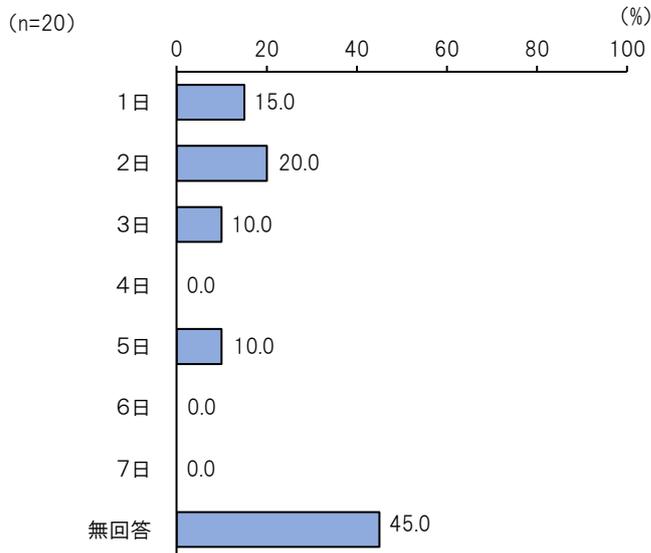


イ 祖父母宅や友人・知人宅の週当たりの利用希望日数

「1日」が4件、「2日」、「3日」、「5日」が1件となっています。

ウ 習い事の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が20.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が15.0%となっています。



エ 児童館（茜が丘複合施設 Miraie など）の週当たりの利用希望日数

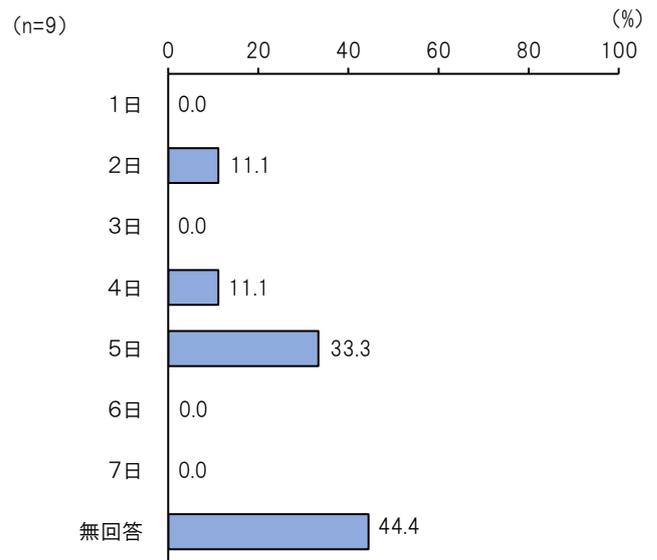
「1日」と「2日」が2件となっています。

オ 放課後子ども教室 週当たりの利用希望日数

「1日」が4件となっています。

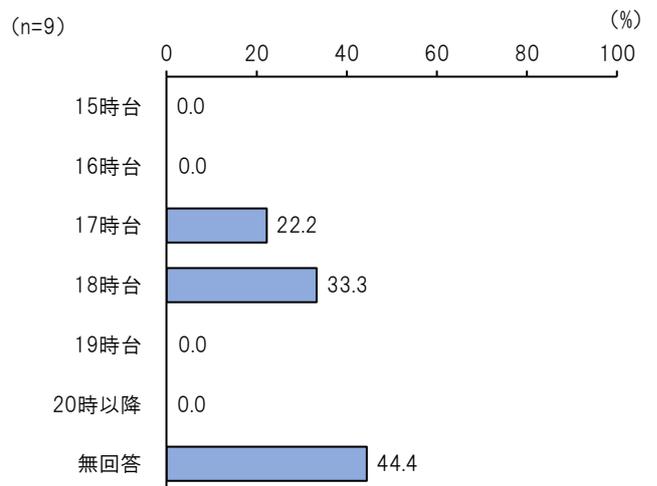
カ 放課後児童クラブ（学童保育） 週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「2日」と「4日」の割合が11.1%となっています。



キ 高学年のときの「放課後児童クラブ」の利用希望時間

「18時台」の割合が33.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.2%となっています。



ク ファミリー・サポート・センターの週当たりの利用希望日数

有効回答がありませんでした。

ケ その他（公民館、公園など）の週当たりの利用希望日数

有効回答がありませんでした。

(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

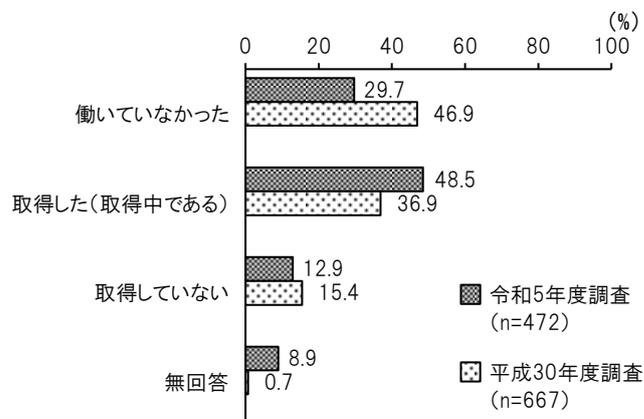
問 24 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親・父親それぞれひとつに○)

(1) 母親

「取得した(取得中である)」の割合が48.5%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が29.7%、「取得していない」の割合が12.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「働いていなかった」の割合が減少しています。

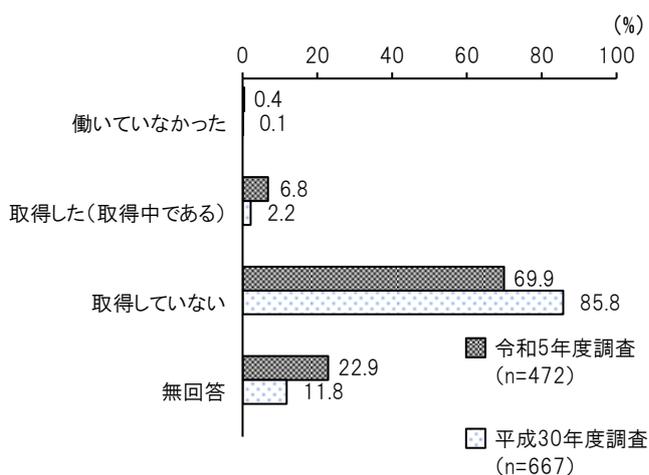
一方、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。



(2) 父親

「取得していない」の割合が69.9%と最も高くなっています。

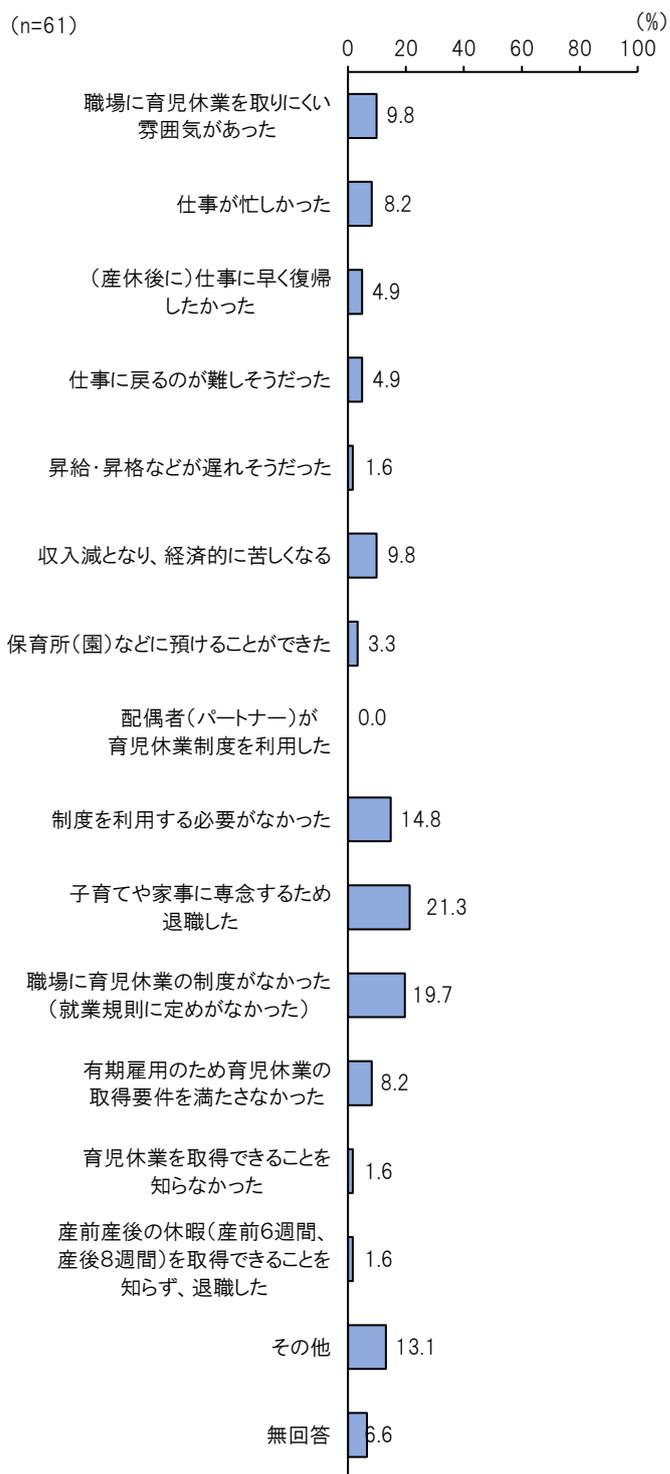
平成30年度調査と比較すると、「取得していない」の割合が減少しています。



問 24 (1) -1 取得していない理由 (あてはまるものすべてに○)

(1) 母親

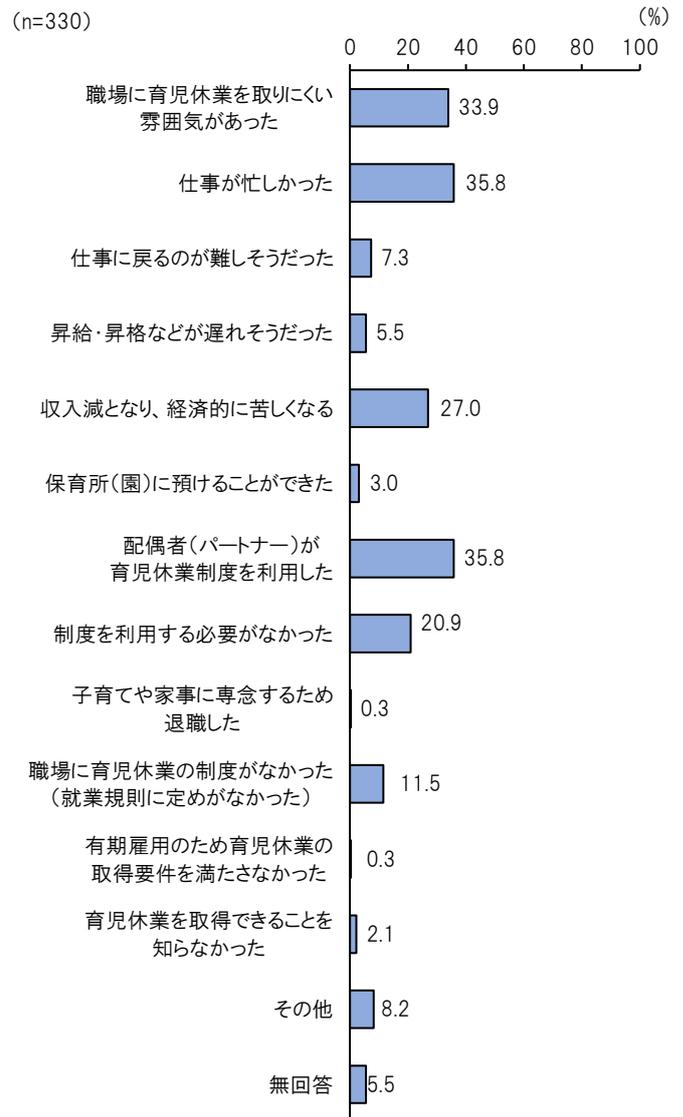
「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が21.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が19.7%となっています。



問 24 (2) -1 取得していない理由 (あてはまるものすべてに○)

(2) 父親

「仕事が忙しかった」の割合と「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した」の割合がいずれも 35.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 33.9%となっています。

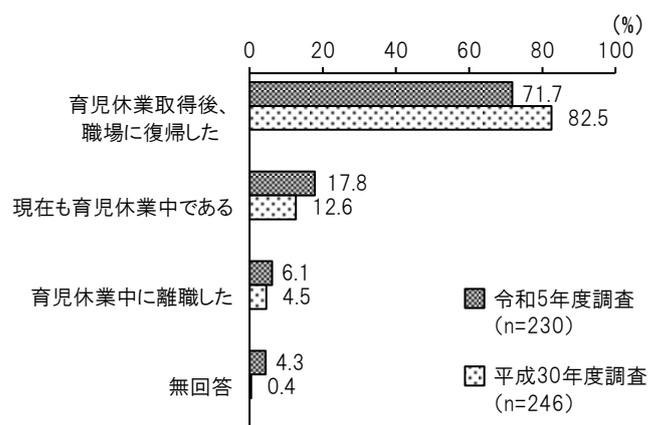


問 24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(母親・父親それぞれひとつに〇)

(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が71.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が17.8%となっています。

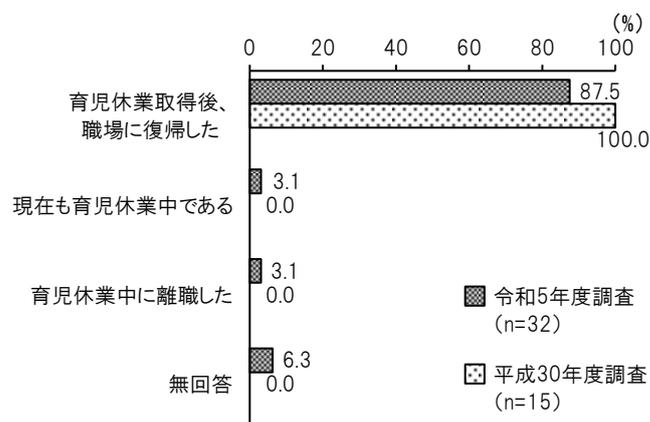
平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。一方、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。



(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が87.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が低くなっています。

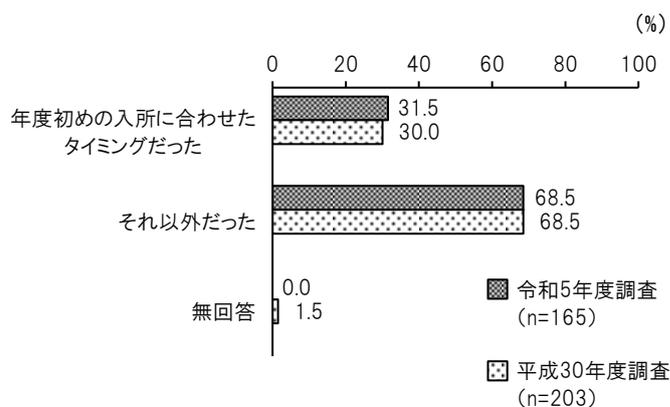


問 24-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの認定子ども園等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
(母親・父親それぞれひとつに○)

(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が31.5%、「それ以外だった」の割合が68.5%となっています。

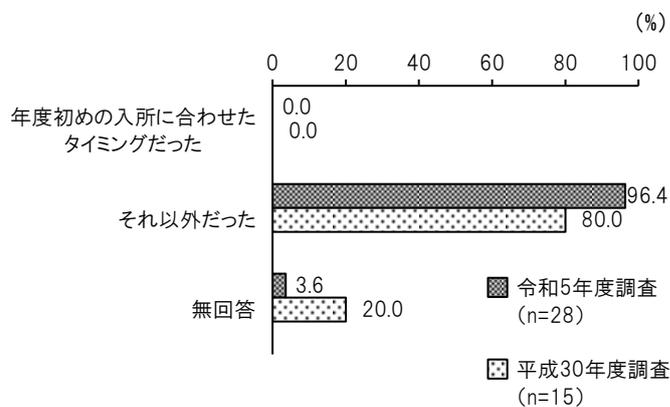
平成30年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。



(2) 父親

「それ以外だった」の割合が96.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が増加しています。



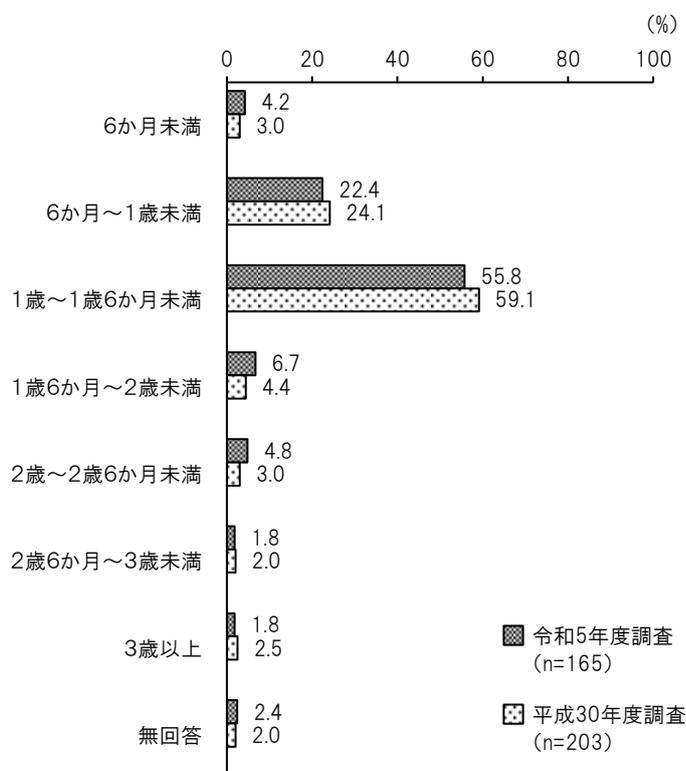
問 24-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

ア 実際の取得期間

「1歳～1歳6か月未満」の割合が55.8%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」の割合が22.4%となっています。

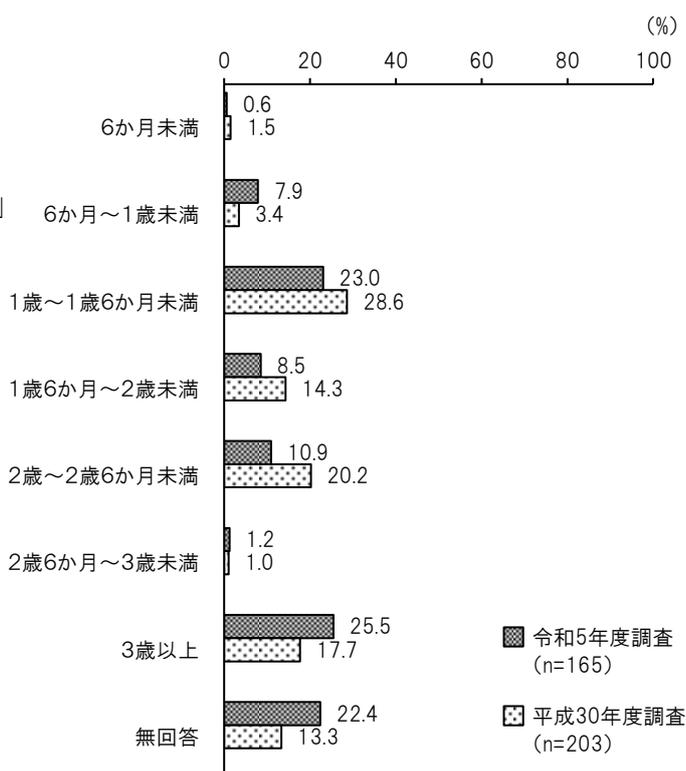
平成30年度調査と比較すると、「1歳～1歳6か月未満」の割合が減少しています。



イ 希望の取得期間

「3歳以上」の割合が25.5%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」の割合が23.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3歳以上」の割合が増加しています。一方、「1歳～1歳6か月未満」、「1歳6か月～2歳未満」「2歳～2歳6か月未満」の割合が減少しています。

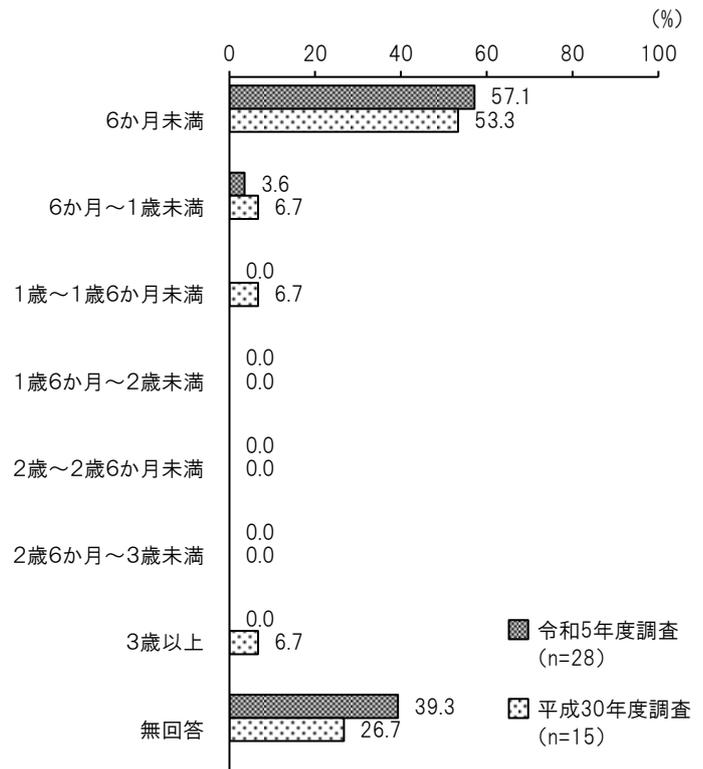


(2) 父親

ア 実際の取得期間

「6か月未満」の割合が57.1%と最も高くなっています。

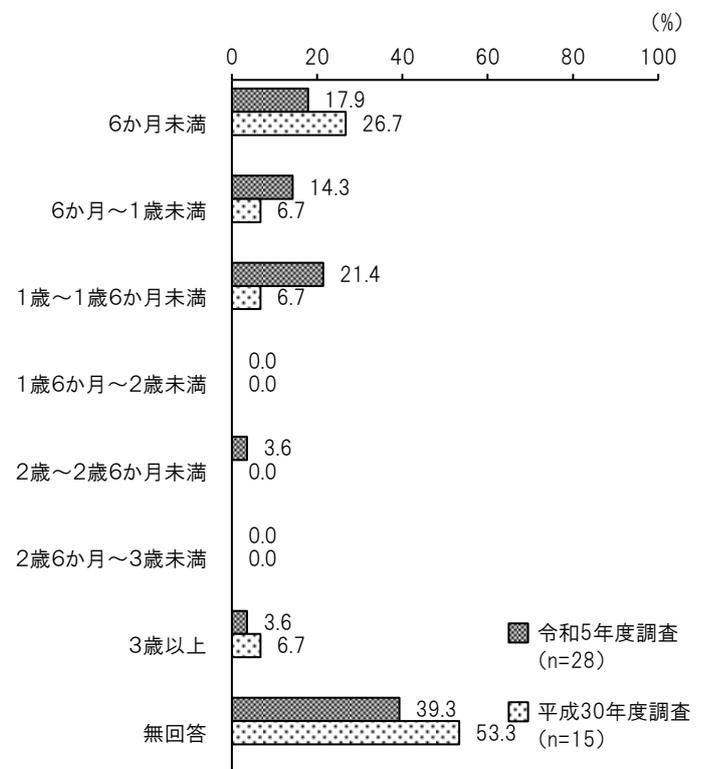
平成30年度調査と比較すると、「6か月未満」の割合が増加しています。



イ 希望の取得期間

「1歳～1歳6か月未満」の割合が21.4%と最も高く、次いで「6か月未満」の割合が17.9%、「6か月～1歳未満」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳～1歳6か月未満」の割合が増加しています。一方、「6か月未満」の割合が減少しています。

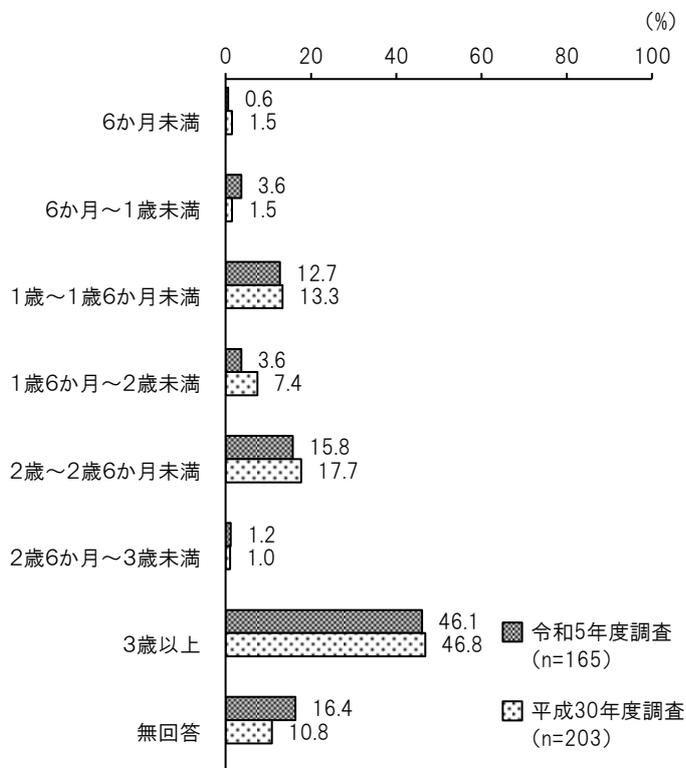


問 24-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

「3歳以上」の割合が46.1%と最も高く、次いで「2歳～2歳6か月未満」の割合が15.8%、「1歳～1歳6か月未満」の割合が12.7%となっています。

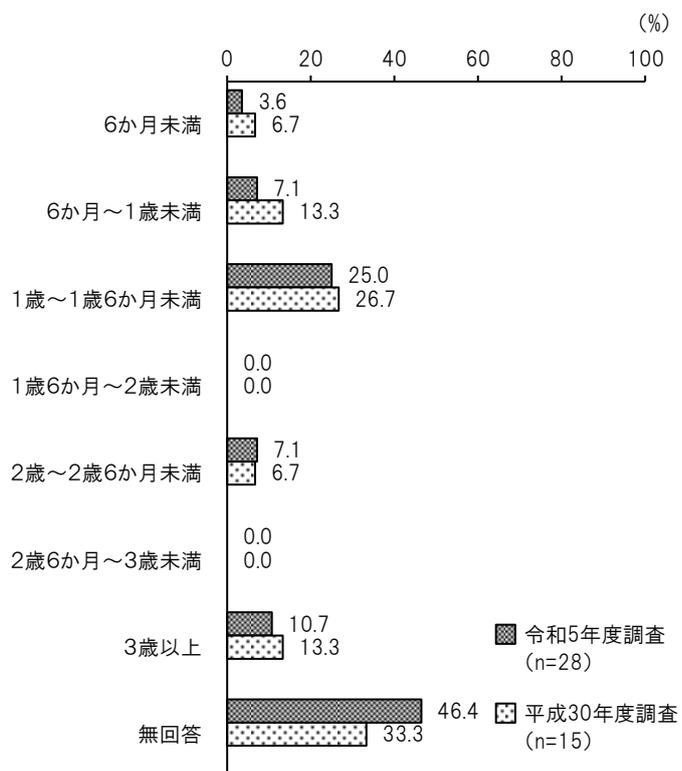
平成30年度調査と比較すると、「6か月～1歳未満」の割合が増加しています。



(2) 父親

「1歳～1歳6か月未満」の割合が25.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「6か月～1歳未満」の割合が減少しています。



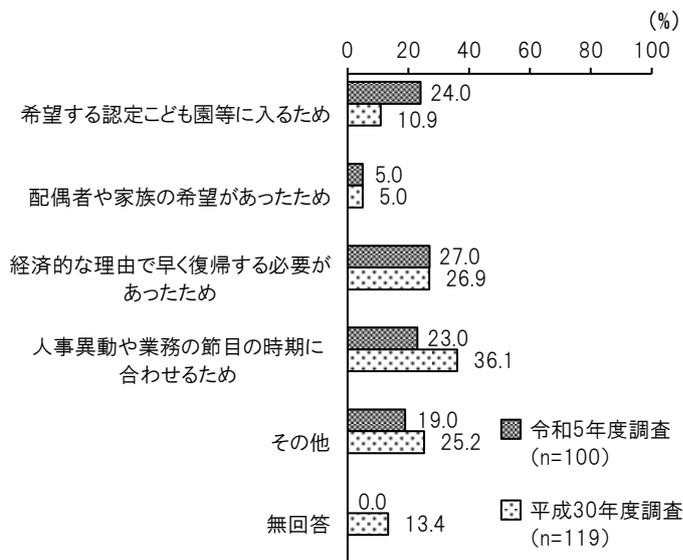
問 24-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方（母親・父親それぞれあてはまるものすべてに○）

① 母親

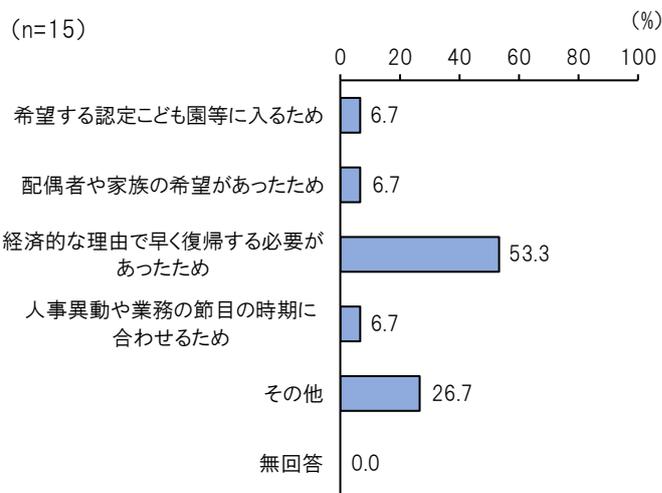
「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「希望する認定こども園等に入るため」の割合が 24.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 23.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。一方、「希望する認定こども園等に入るため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が増加しています。



② 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 53.3%と最も高くなっています。



(2)「希望」より遅く復帰した方(母親・父親それぞれあてはまるものすべてに○)

① 母親

「希望する認定こども園等に入れなかったため」の件数が4件となっています。

② 父親

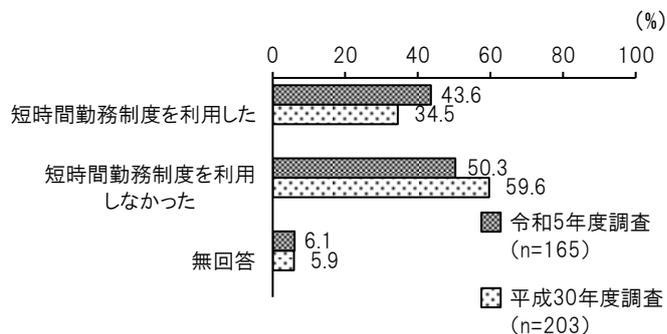
「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」の件数が1件となっています。

問 24-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
 (母親・父親それぞれにひとつに○)

(1) 母親

「短時間勤務制度を利用した」の割合が43.6%、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が50.3%となっています。

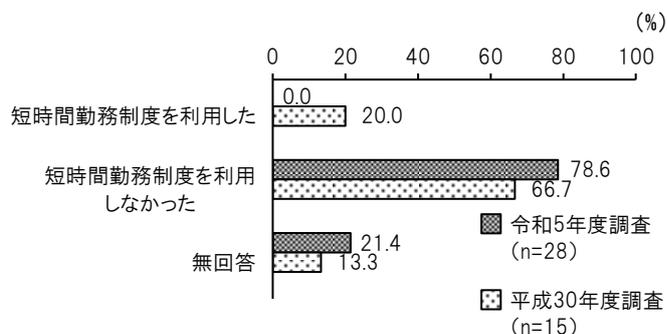
平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が減少しています。



(2) 父親

「短時間勤務制度を利用した」の割合が0.0%、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が78.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用しなかった」の割合が増加しています。



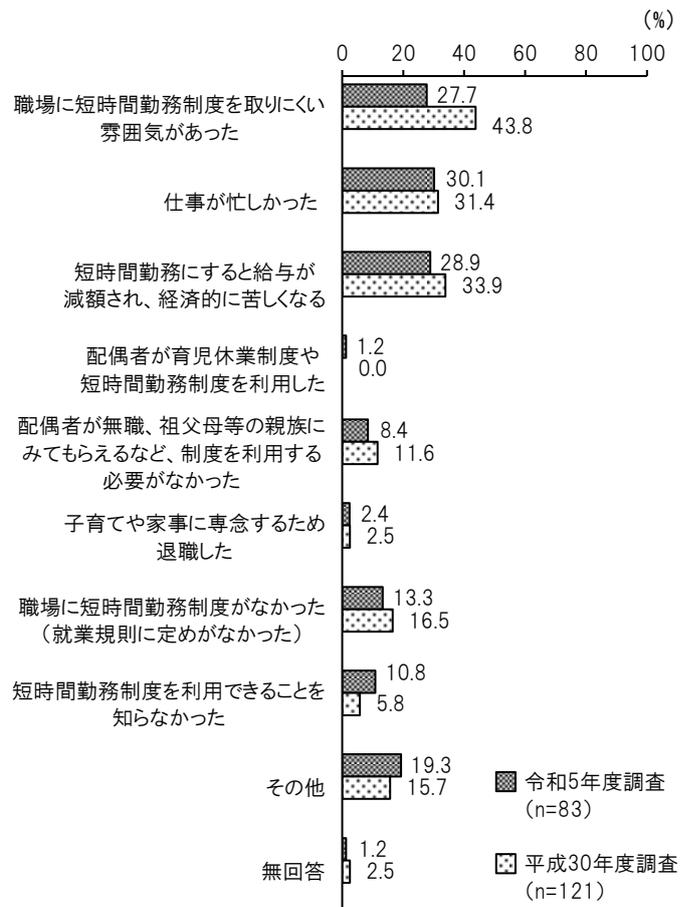
問 24-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。
 (母親・父親それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親

「仕事が忙しかった」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が 28.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 27.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」の割合が増加しています。

一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」等の割合が減少しています。

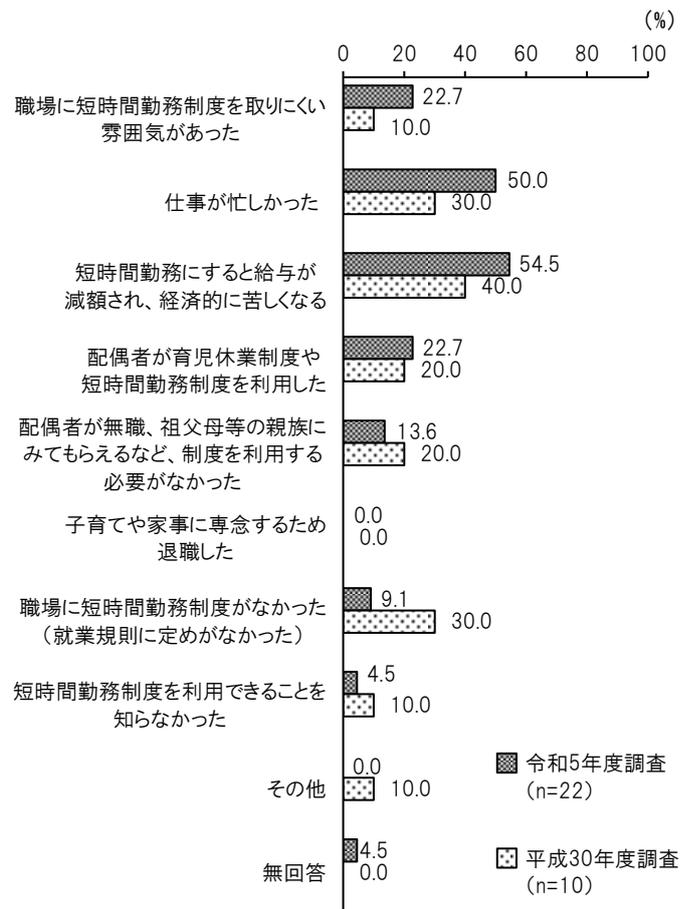


(2) 父親

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 50.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」等の割合が増加しています。

一方、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。

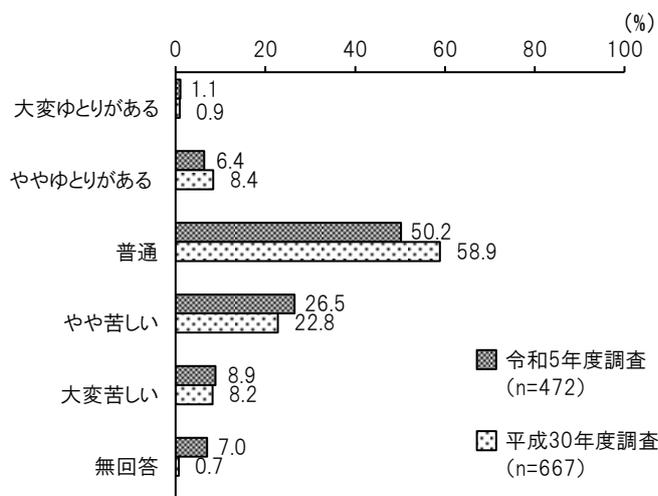


(11) 現在の暮らしについて

問 25 現在の暮らしの経済状況をどのように感じていますか。(ひとつに○)

「普通」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 26.5%となっています。

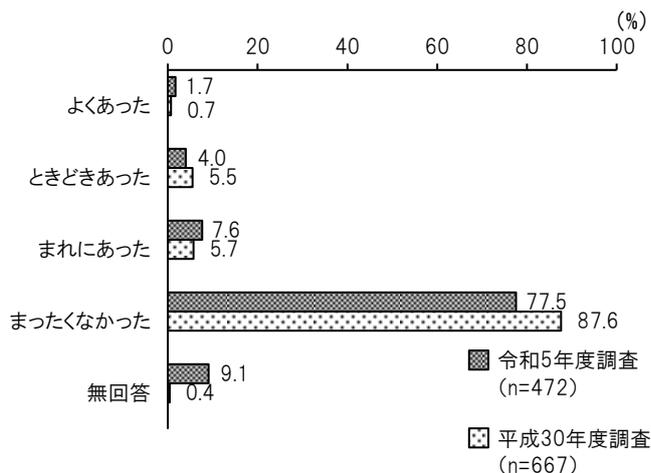
平成 30 年度調査と比較すると、「普通」の割合が減少しています。



問 26 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(ひとつに○)

「まったくなかった」の割合が 77.5%と最も高くなっています。

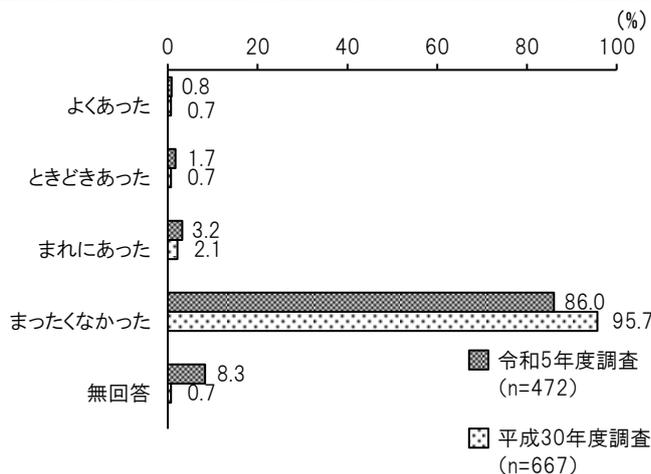
平成 30 年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が減少しています。



問 27 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、水道又は電気料金が払えないことがありましたか。(ひとつに○)

「まったくなかった」の割合が 86.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が減少しています。



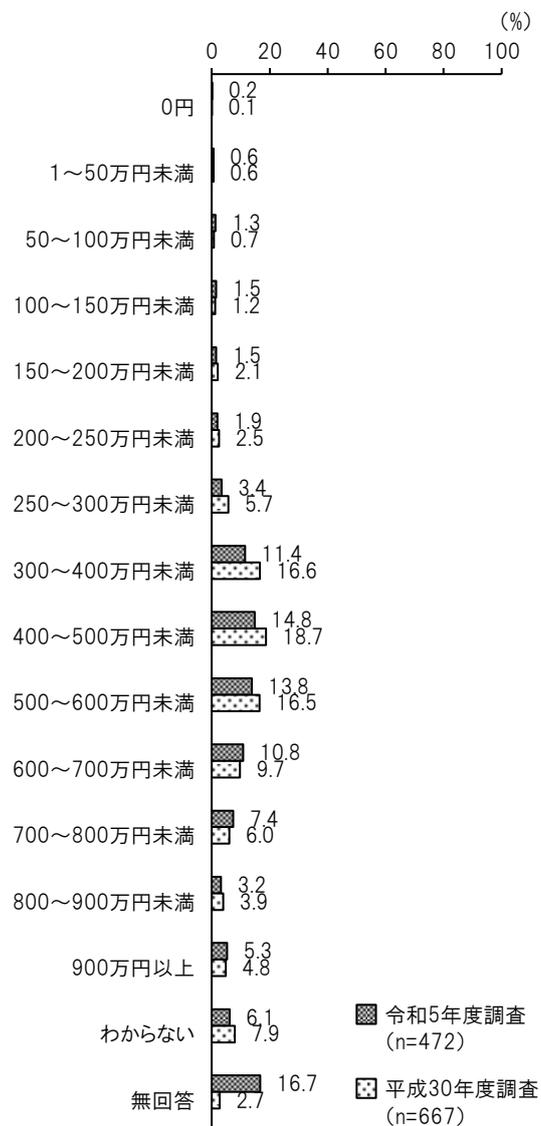
(12) 収入について

問 28 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯全体の収入（年間のボーナス含む手取り額）」をお答えください。（ひとつに○）

「400～500万円未満」の割合が14.8%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が13.8%、「300～400万円未満」の割合が11.4%となっています。

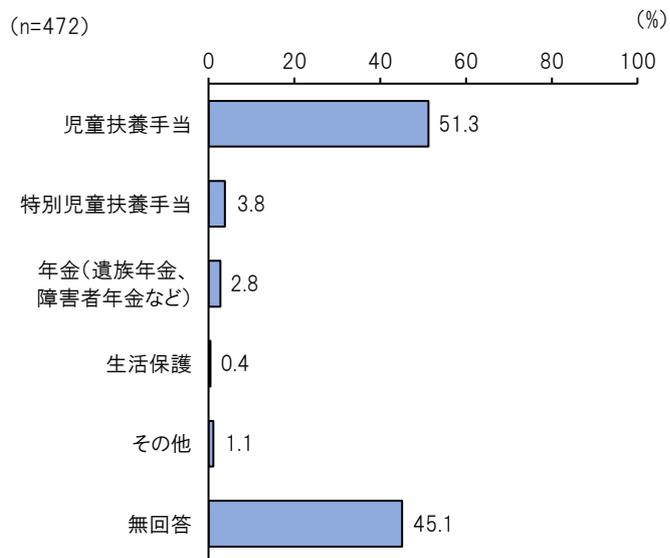
平成30年度調査と比較すると、「300～400万円未満」の割合が減少しています。

一方、「700～800万円未満」の割合が増加しています。



問 29 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受けていますか。
(あてはまるものすべてに○)

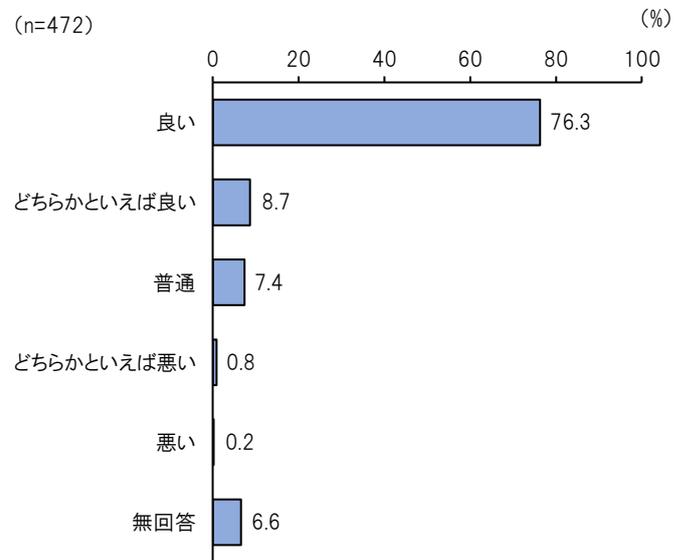
「児童扶養手当」の割合が 51.3%と最も高くなっています。



(13) お子さんのことについて

問 30 このアンケートの調査対象のお子さんの健康状態についてお聞きします。
(ひとつに〇)

「良い」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば良い」の割合が 8.7%となっています。

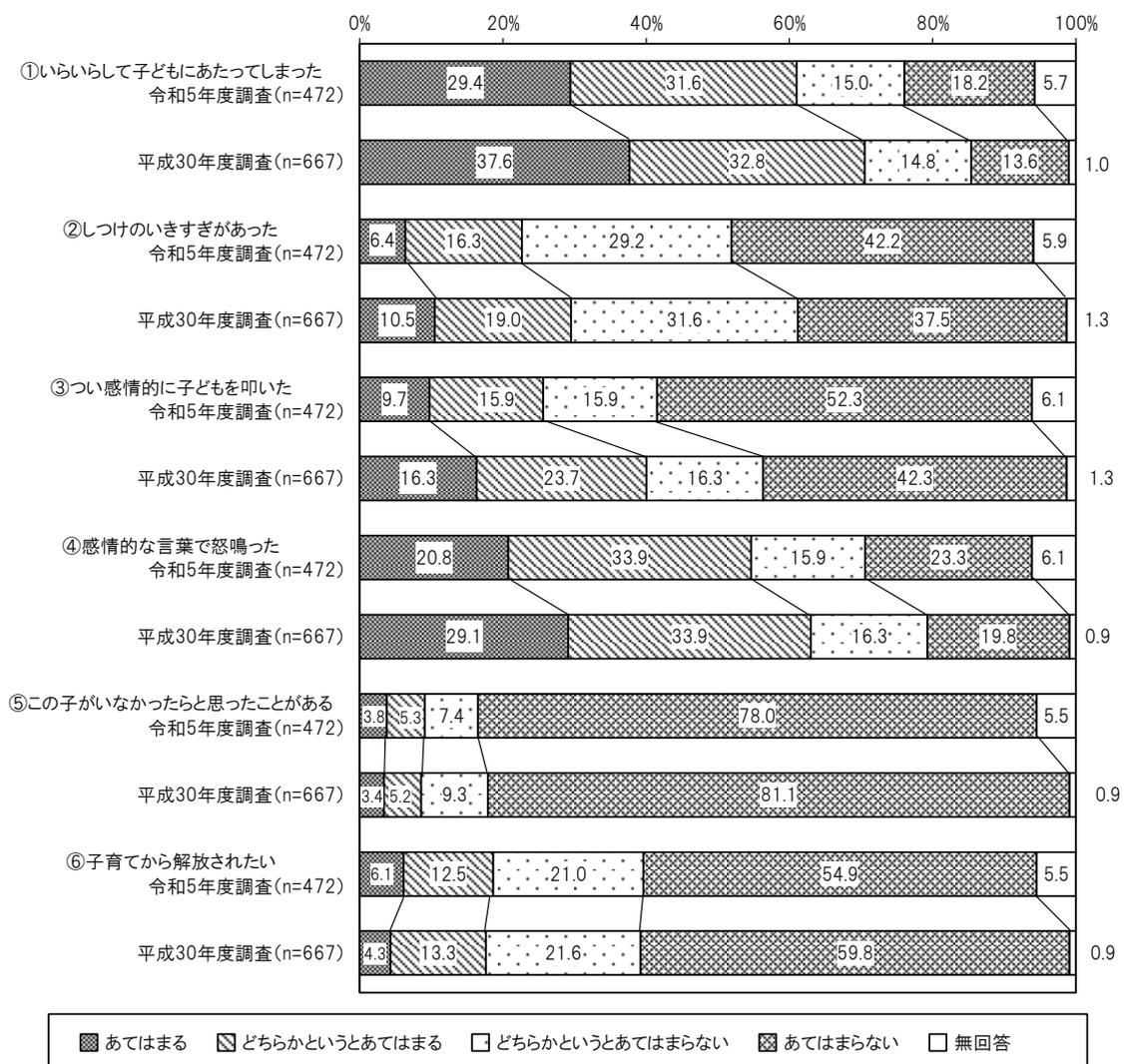


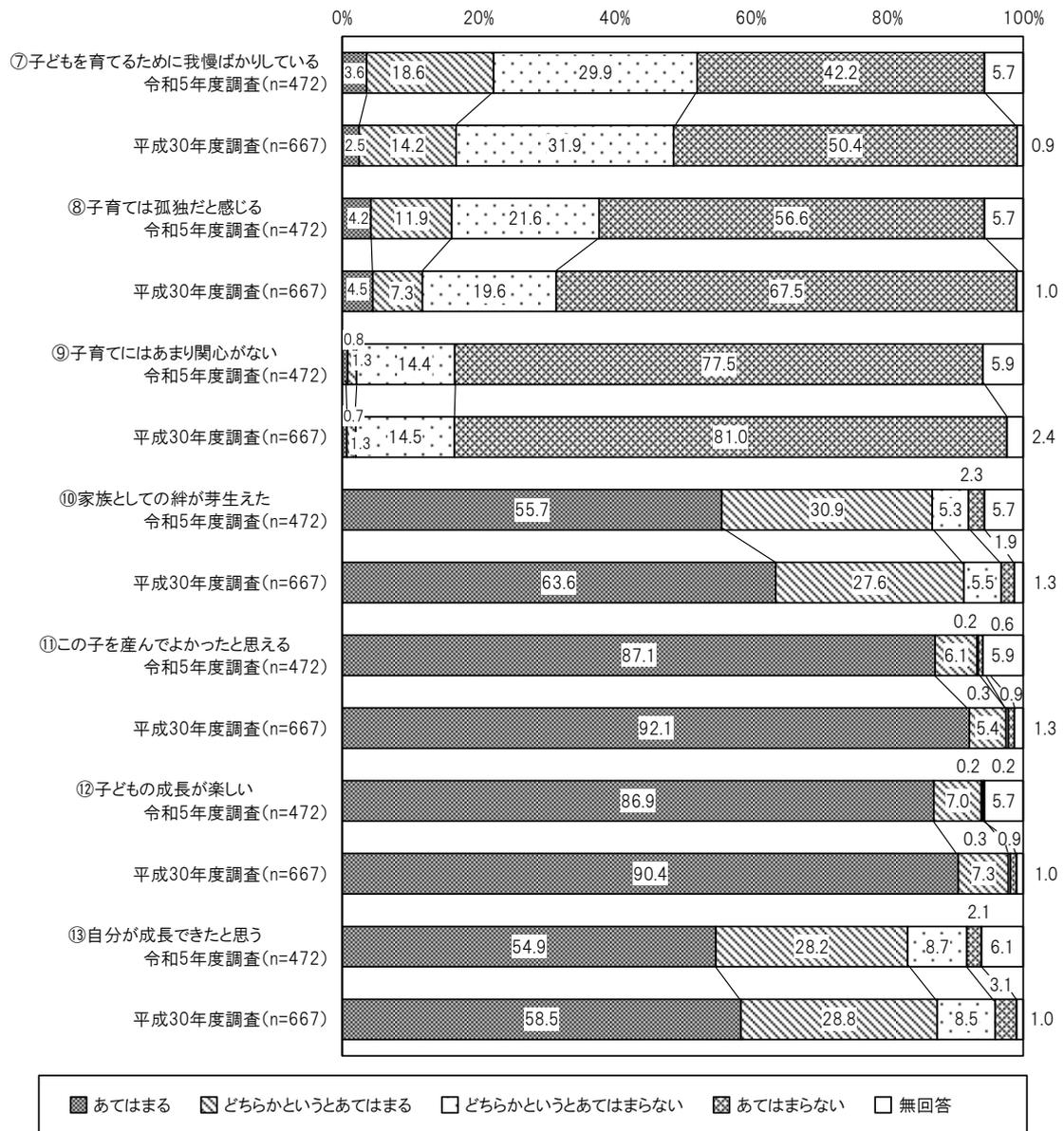
問 31 これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。(それぞれについて、ひとつに○)

子育て中の思いや行動をみると、「⑫子どもの成長が楽しい」、「⑪この子を産んでよかったと思える」で、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」を合わせた『あてはまる』の割合が高くなっています。また、「⑨子育てにはあまり関心がない」で「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「③つい感情的に子どもを叩いた」、「④感情的な言葉で怒鳴った」の割合が減少しています。

一方、「⑦子どもを育てるために我慢ばかりしている」、「⑧子育ては孤独だと感じる」等の割合がやや増加しています。

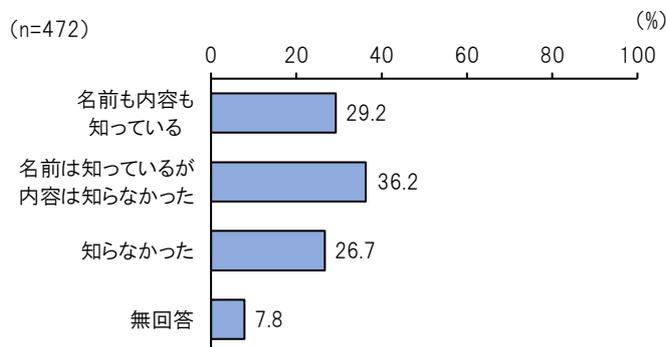




(14) 子どもの権利について

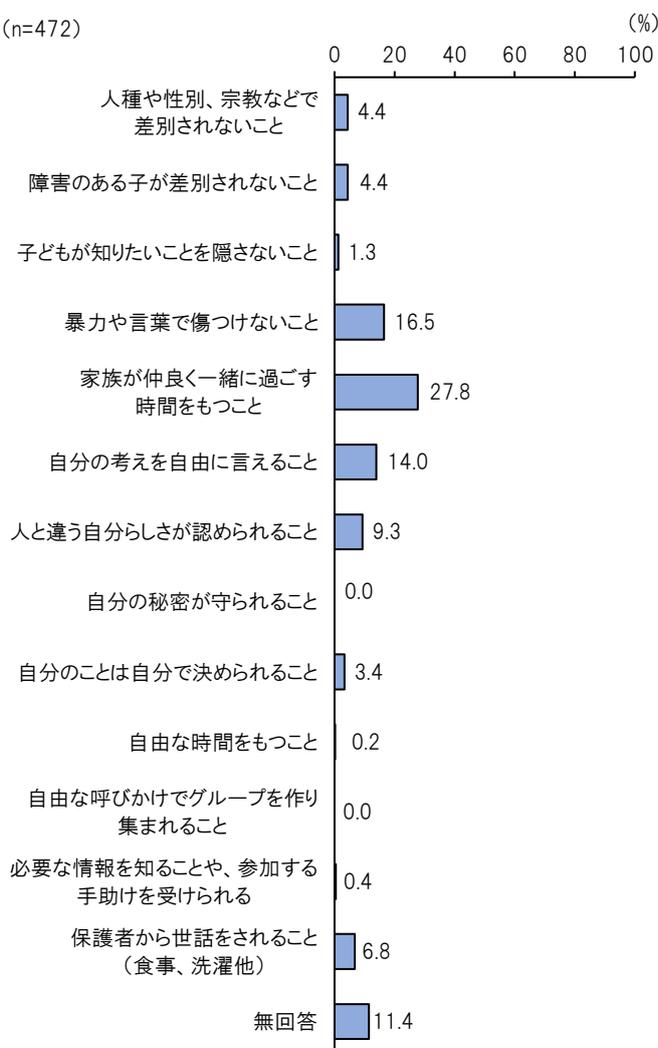
問 32 あなたは、『子どもの権利』を知っていますか。(ひとつに〇)

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が36.2%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」が29.2%、「知らなかった」が26.7%となっています。



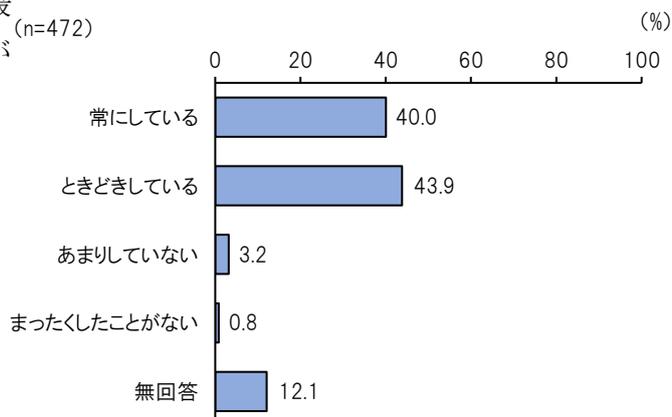
問 33 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(ひとつに〇)

「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が27.8%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が16.5%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が14.0%となっています。



問 34 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。(ひとつに○)

「ときどきしている」の割合が 43.9.% と最も高く、次いで「常にしている」の割合が 40.0% となっています。(n=472)



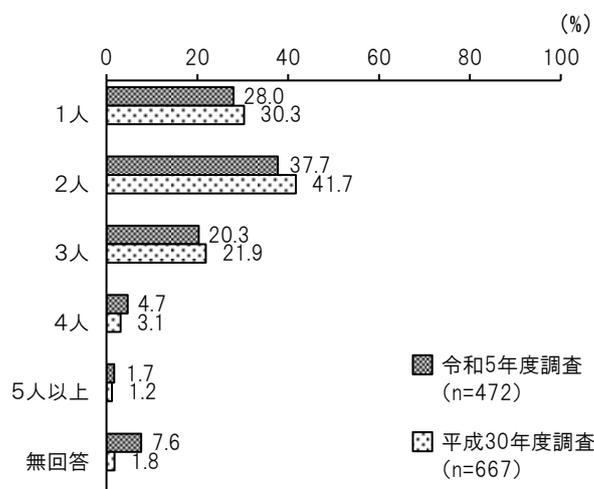
(15) 今後の出産に関する意向

問 35 現在のお子さんの人数、今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を教えてください。(それぞれの区分ごとに、人数を記入してください。)

ア 現在のお子さんの人数

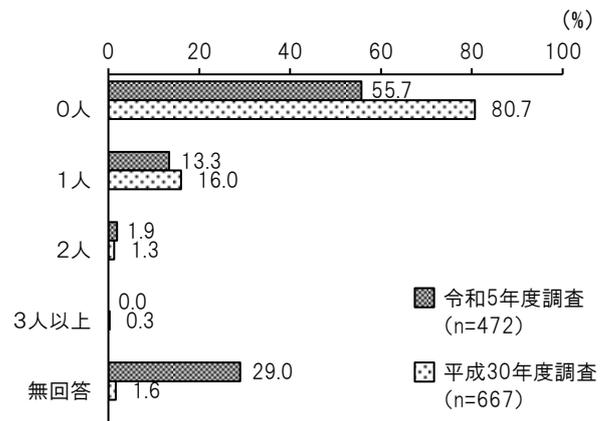
「2人」の割合が 37.7% と最も高く、次いで「1人」の割合が 28.0%、「3人」の割合が 20.3% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1人」、「2人」、「3人」の割合が減少しています。



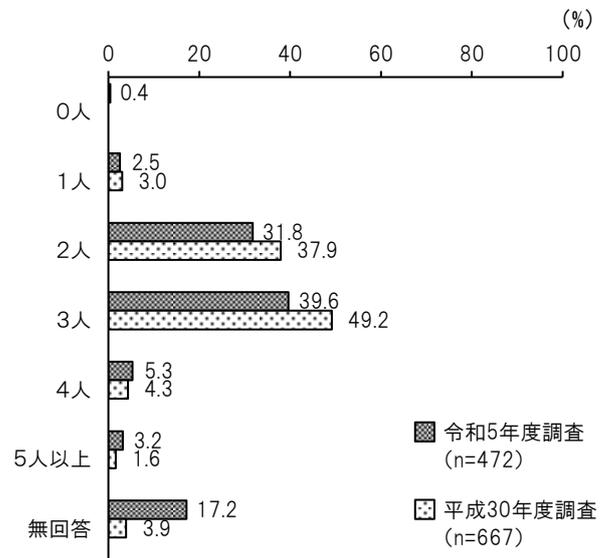
イ 今後の出産予定の人数

「0人」の割合が55.7%と最も高く、次いで「1人」の割合が13.3%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「0人」、「1人」の割合が減少しています。



ウ 理想とするお子さんの人数

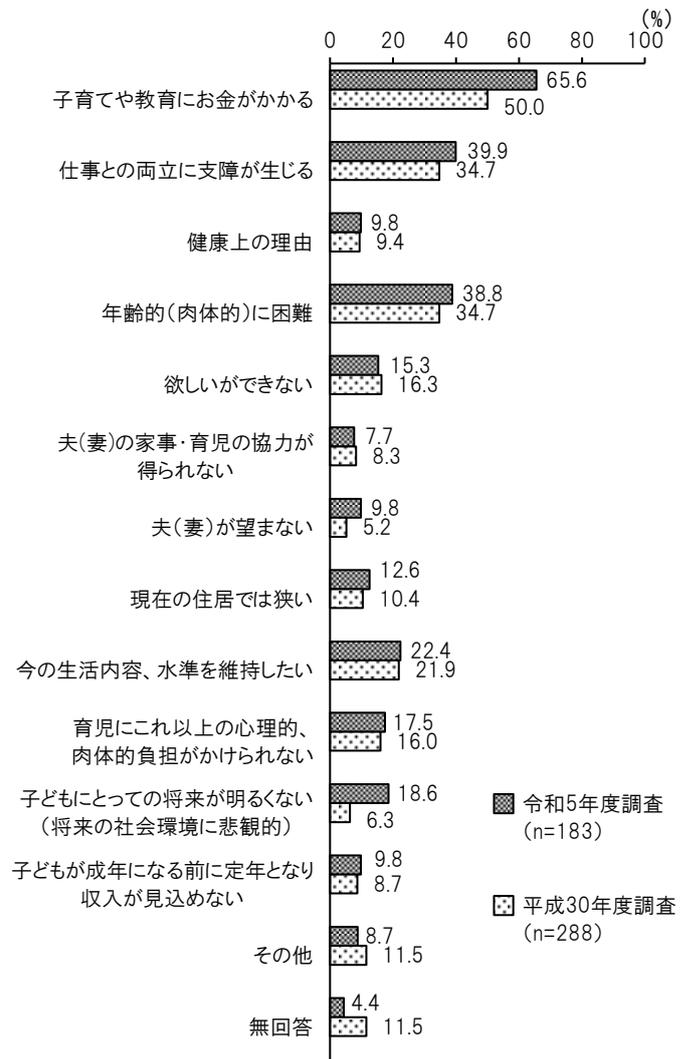
「3人」の割合が39.6%と最も高く、次いで「2人」の割合が31.8%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「1人」、「2人」、「3人」の割合は減少していますが、「4人」、「5人以上」の割合は増加しています。



問 36 理想とするお子さんの人数を実現できない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○。その他の場合はカッコ内に)

「子育てや教育にお金がかかる」の割合が65.6%と最も高く、次いで「仕事との両立に支障が生じる」の割合が39.9%、「年齢的(肉体的)に困難」の割合が38.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや教育にお金がかかる」の割合が増加しています。

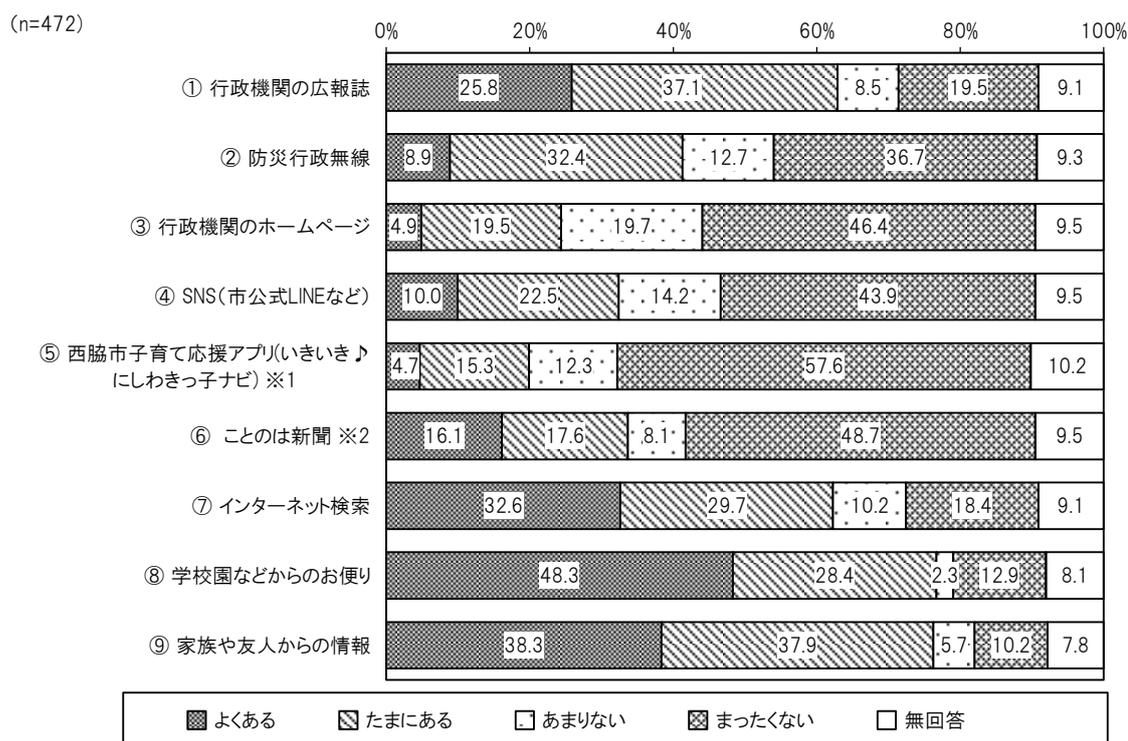


(16) 西脇市の今後の子育て施策について

問 37 子どもに関する施策等の情報を得るために以下のものをどの程度参考にしていますか。①～⑨それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』では、「⑨家族や友人からの情報」、「⑧学校園などからのお便り」、「①行政機関の広報誌」、「⑦インターネット検索」の割合が高くなっています。

また、「あまりない」と「まったくない」を合わせた『ない』では、「⑤西脇市子育て応援アプリ(「いきいき♪にしわきっ子ナビ」)」、「③行政機関のホームページ」、「④SNS(市公式LINEなど)」の割合が低くなっています。



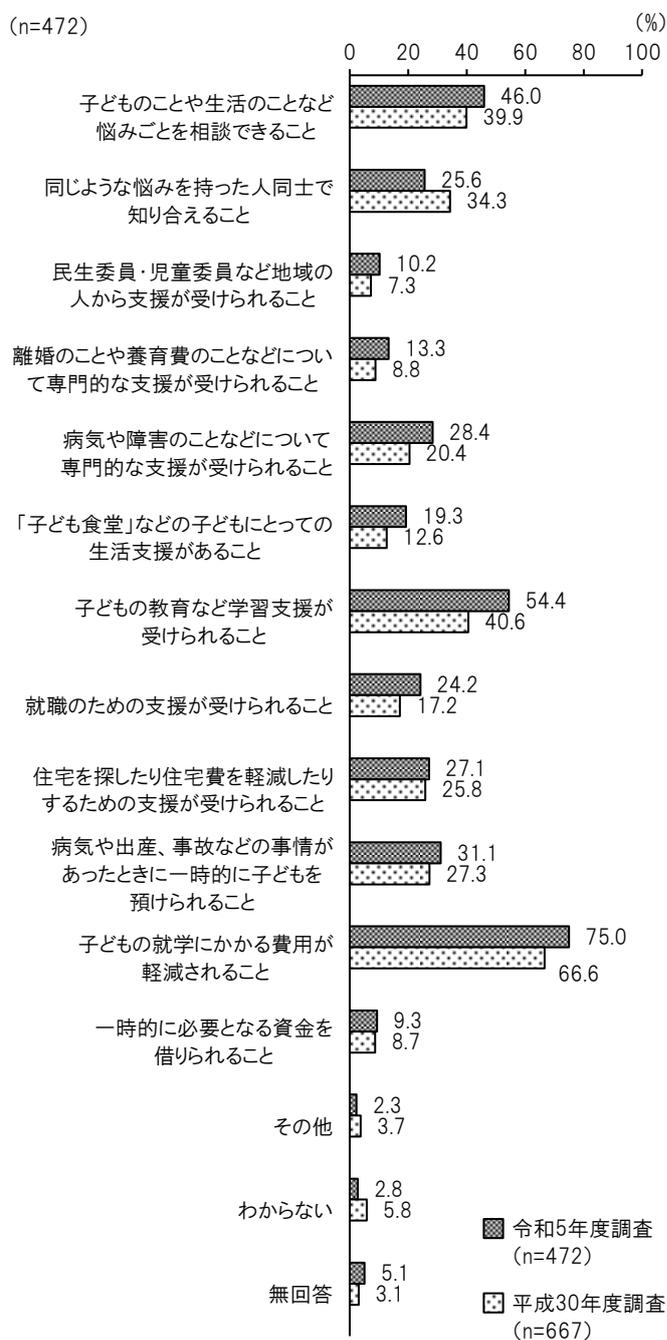
※1 子育て家庭を支援するため、モバイル端末やパソコンを利用した各種子育て支援情報(イベントや予防接種等)の配信を行う事業です

※2 子育て中の親子に向けた情報誌です。気軽に参加できる「つどい」や「広場事業」「児童館事業」の他、登録制の「西脇おやこ交流教室」のお知らせや子育てに役立つ情報を、毎月1回こどもプラザから発信しています。

問 38 あなたが現在または将来的に必要としていること、重要だと思う支援などはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

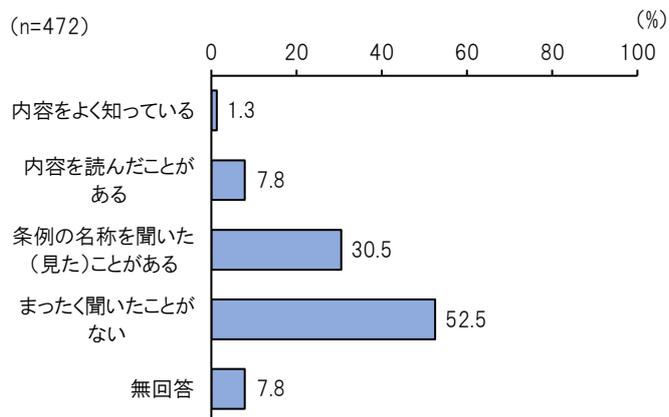
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が75.0%と最も高く、次いで「子どもの教育など学習支援が受けられること」の割合が54.4%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が46.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもの教育など学習支援が受けられること」、「病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること」、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」等の割合が増加しています。



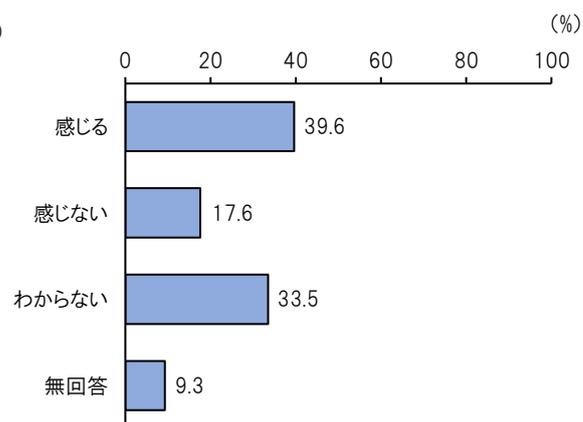
**問 39 「西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例」について、どの程度知っていますか。
(ひとつに○)**

「まったく聞いたことがない」の割合が52.5%と最も高く、次いで「条例の名称を聞いた(見た)ことがある」の割合が30.5%、「内容を読んだことがある」の割合が7.8%となっています。



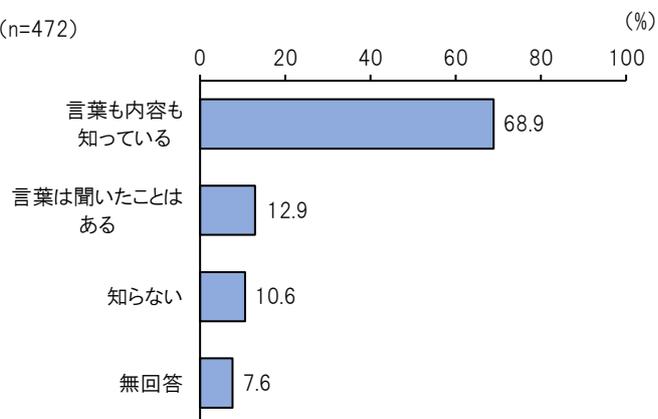
**問 40 あなたは、地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか。
(ひとつに○)**

「感じる」の割合が39.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が33.5%、「感じない」の割合が17.6%となっています。



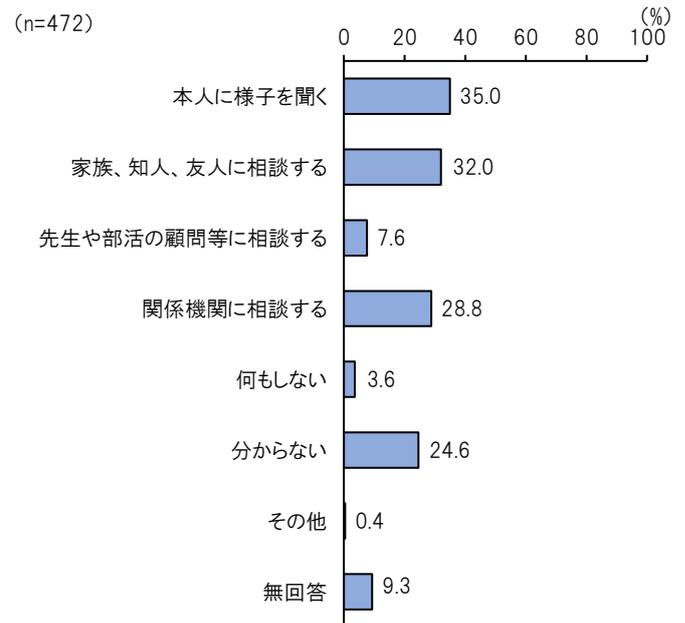
問 41 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(ひとつに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が68.9%、「言葉は聞いたことはある」の割合が12.9%、「知らない」の割合が10.6%となっています。



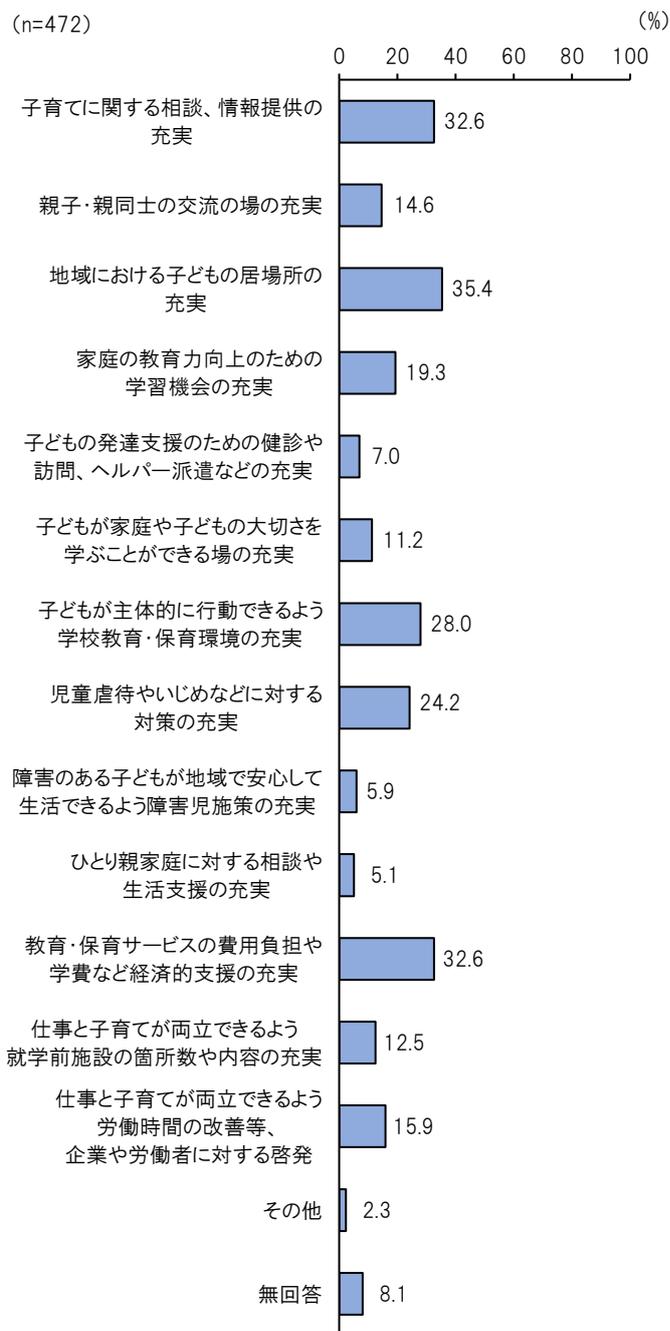
問42 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「本人に様子を聞く」の割合が35.0%で最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が32.0%、「関係機関に相談する」の割合が28.8%となっています。



問 43 西脇市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「地域における子どもの居場所の充実」の割合が 35.4%で最も高く、次いで「子育てに関する相談、情報提供の充実」と「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 32.6%となっています。



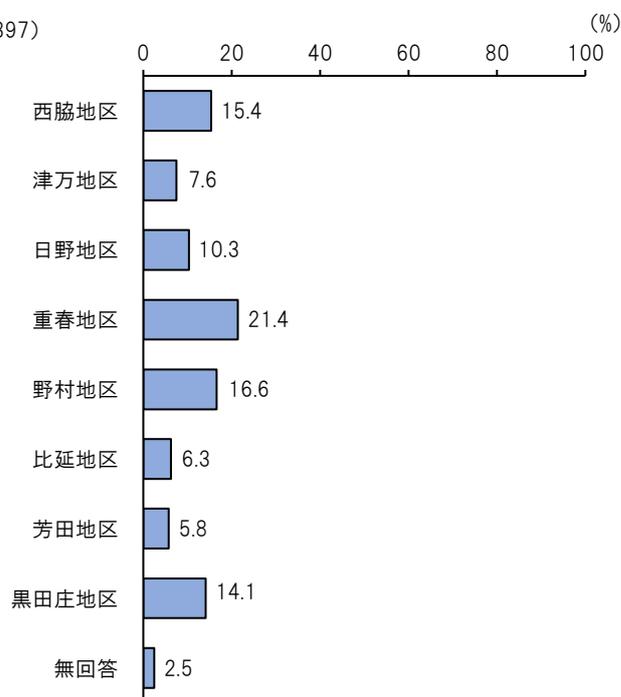
2 小学生の保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区についてお答えください。(ひとつに〇)

「重春地区」の割合が21.4%と最も高く、
次いで「野村地区」の割合が16.6%、「西脇
地区」の割合が15.4%となっています。

(n=397)

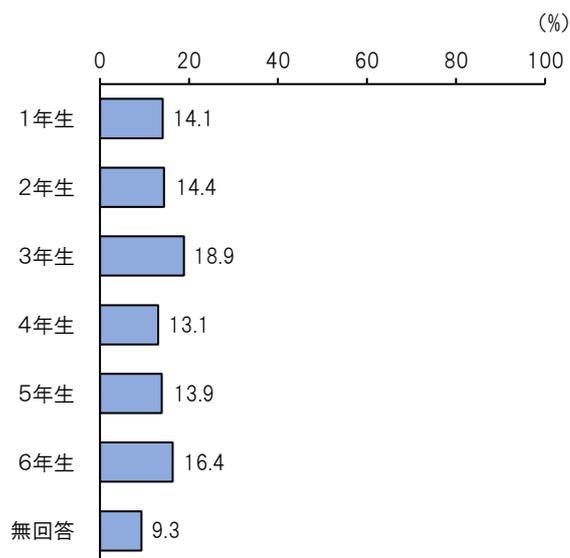


(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

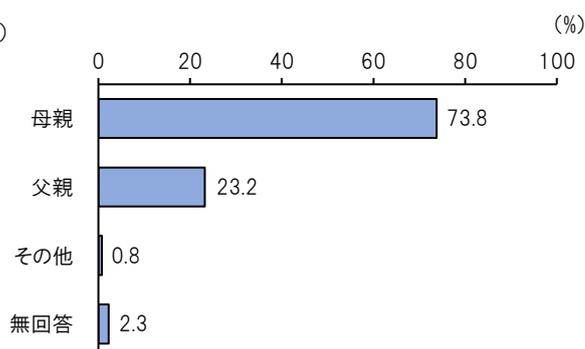
「3年生」の割合が18.9%と最も高く、次
いで「6年生」の割合が16.4%、「2年生」
の割合が14.4%となっています。

(n=397)



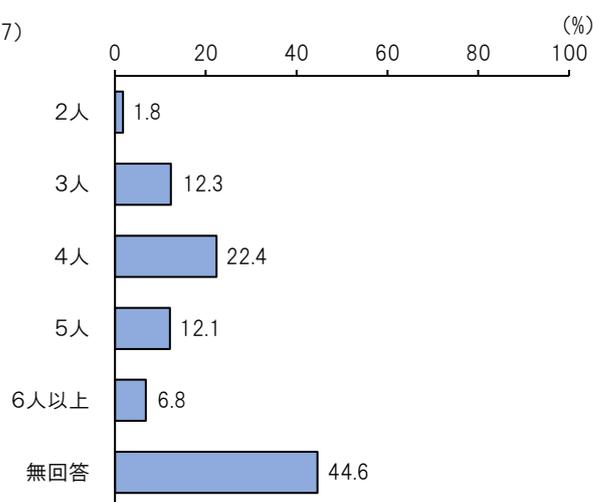
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに○)

「母親」の割合が73.8%、「父親」の割合が23.2%となっています。(n=397)



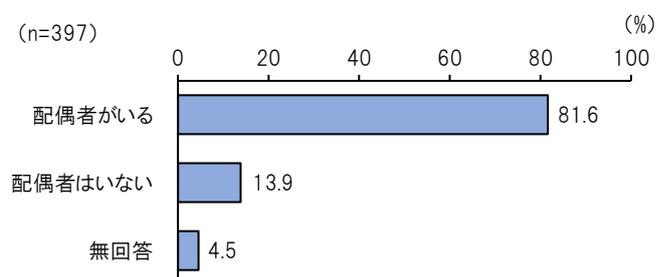
同居の家族の人数

「4人」の割合が22.4%と最も高くなっています。(n=397)



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)

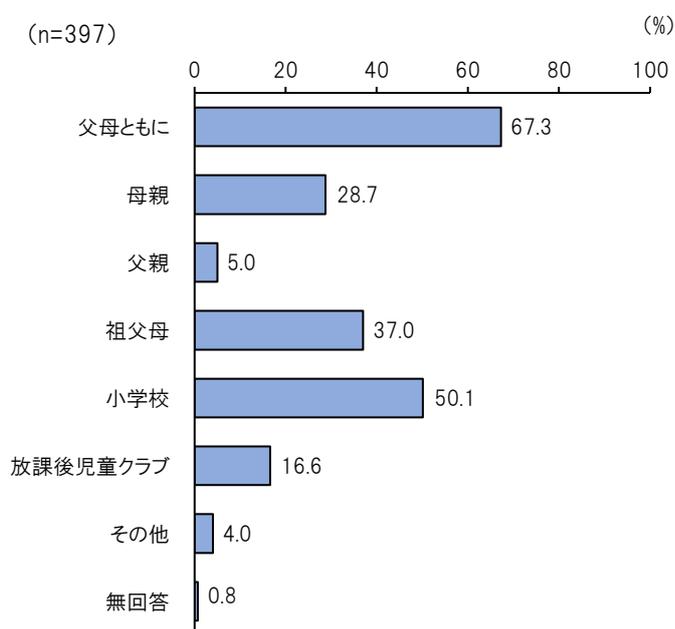
「配偶者がいる」の割合が81.6%、「配偶者はいない」の割合が13.9%となっています。(n=397)



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

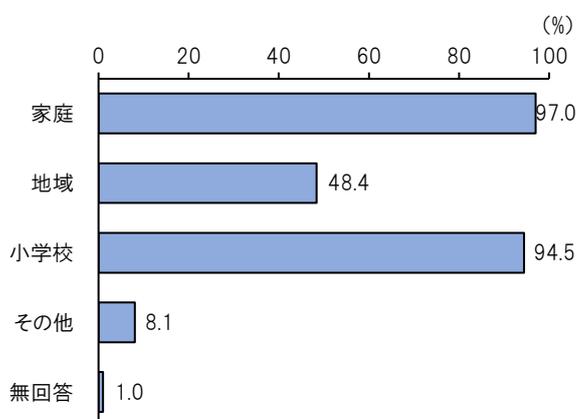
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（お子さんからみた関係で、あてはまるものすべてに○）

「父母ともに」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 50.1%、「祖父母」の割合が 37.0%となっています。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境すべてについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

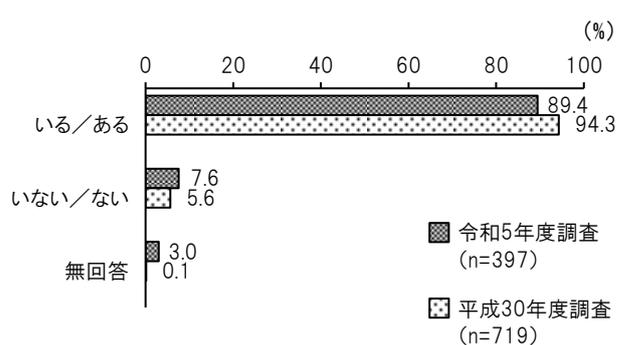
「家庭」の割合が 97.0%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 94.5%、「地域」の割合が 48.4%となっています。



問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（ひとつに○）

「いる／ある」の割合が 89.4%、「いない／ない」の割合が 7.6%となっています。

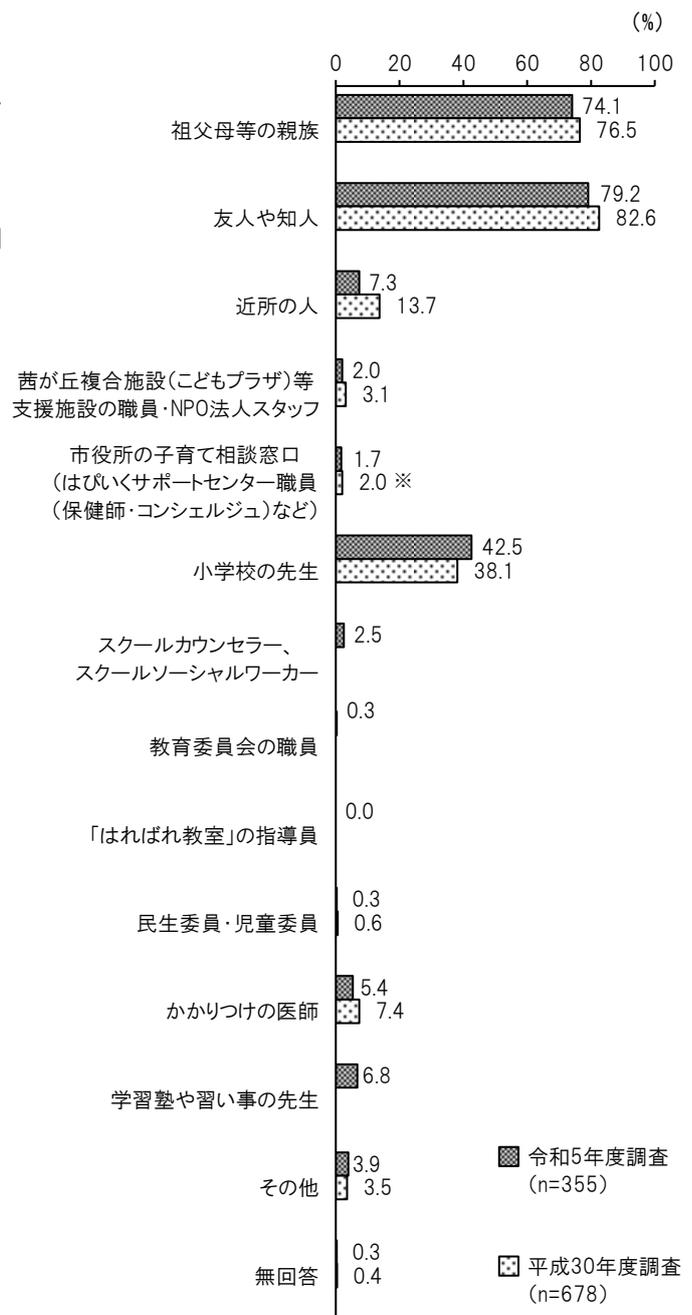
平成30年度調査と比較すると、「いる／ある」の割合が減少しています。



問7-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が79.2%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が74.1%、「小学校の先生」の割合が42.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「近所の人」の割合が減少しています。

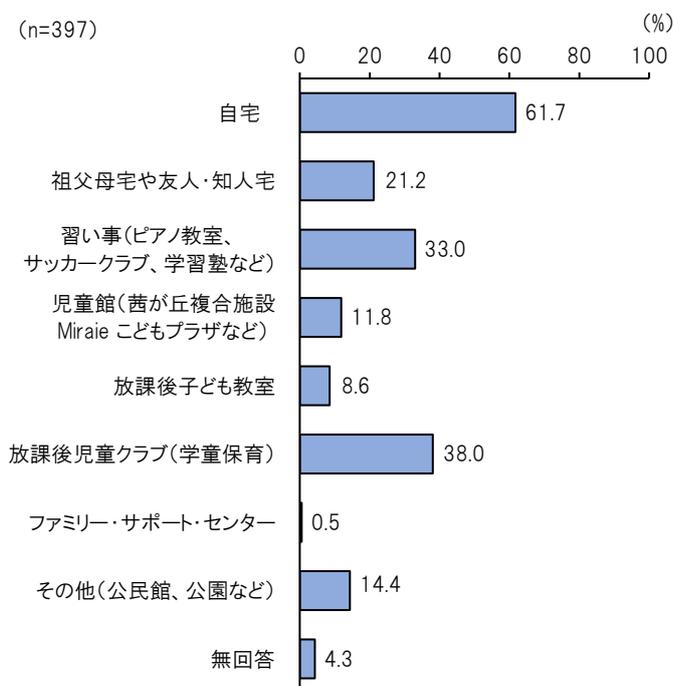


※平成30年度調査では「市役所の子育て相談窓口」が1.0%、「健康づくりセンター職員」が1.0%で合計2.0%となっています。

(4) 宛名のお子さんの放課後児童クラブの利用状況について

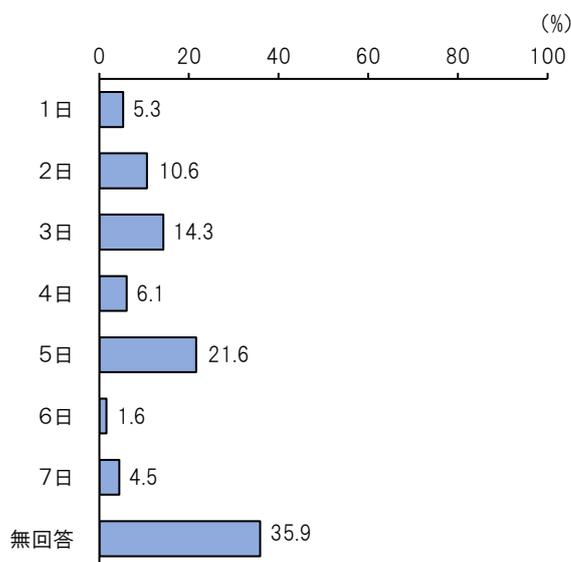
問9 小学校低学年（1～3年生）のとき、放課後をどのような場所でどれくらい過ごさせたいと思いますか。お子さんが現在高学年（4～6年生）の方は、お子さんが低学年のときにどのように過ごさせたかったかをお答えください。（あてはまるものすべてに○。また、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用したい時間も、【例】18:00のように24時間制でご記入ください。）

「自宅」の割合が61.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が38.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が33.0%となっています。



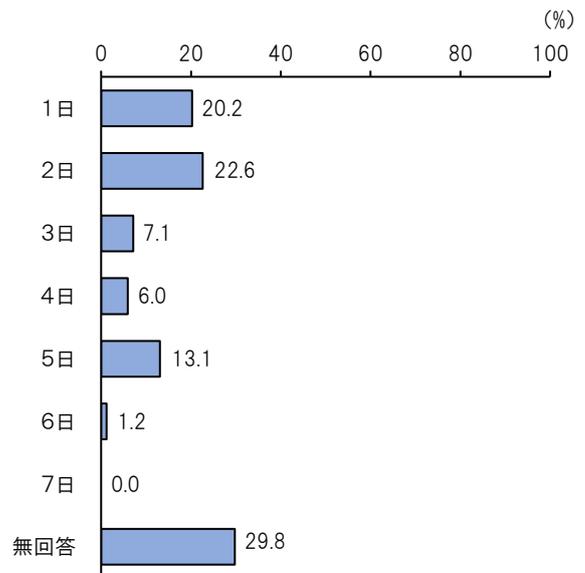
ア 自宅の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が21.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.3%、「2日」の割合が10.6%となっています。



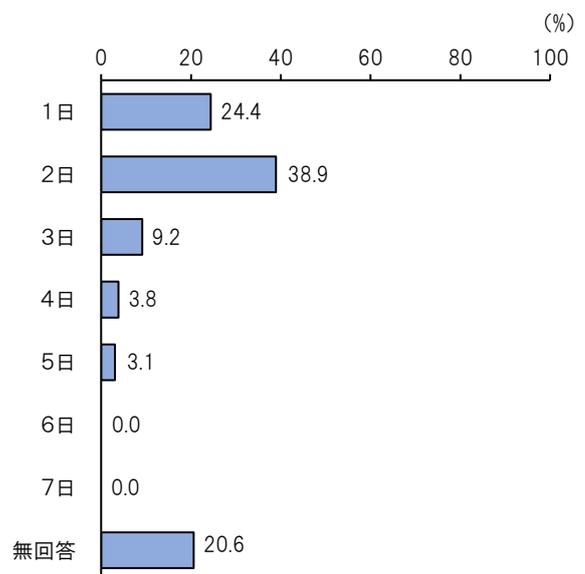
イ 祖父母宅や友人・知人宅の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が22.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.2%、「5日」の割合が13.1%となっています。(n=84)



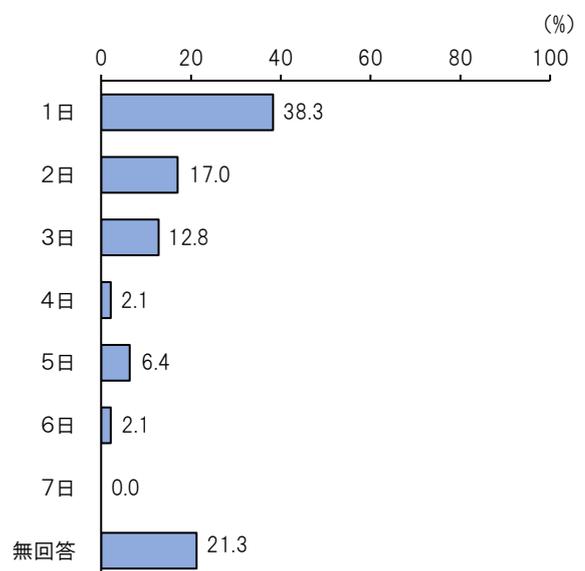
ウ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.4%となっています。(n=131)



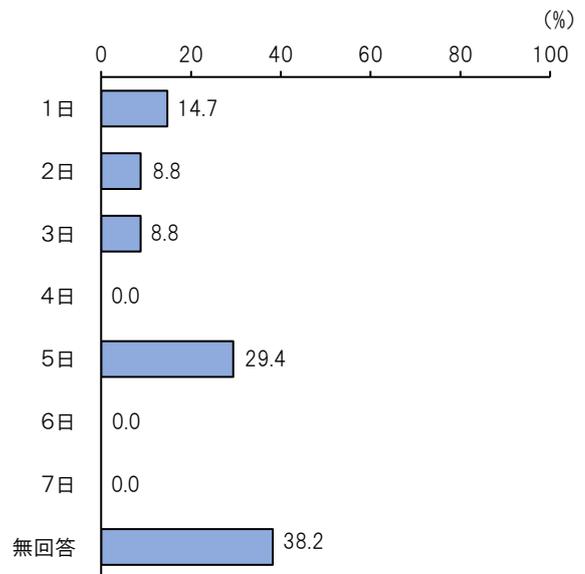
エ 児童館（茜が丘複合施設 Miraie こどもプラザなど）の週当たりの利用希望日数

「1日」の割合が38.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.0%、「3日」の割合が12.8%となっています。(n=47)



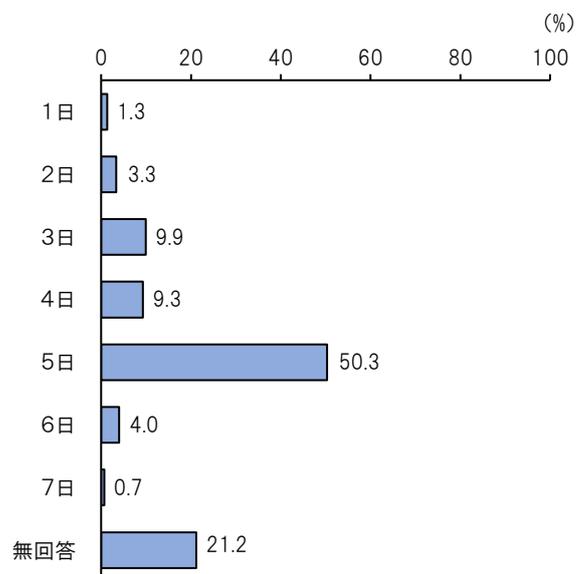
オ 放課後子ども教室の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が14.7%となっています。(n=34)



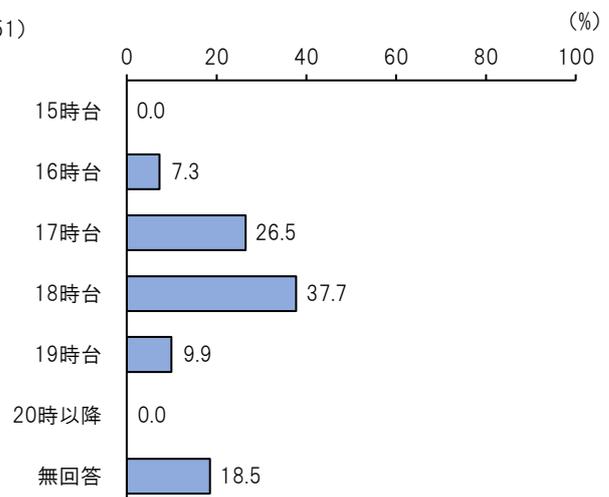
カ 低学年のときの放課後児童クラブ（学童保育）の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が50.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が9.9%、「4日」の割合が9.3%となっています。(n=151)



カ 低学年のときの放課後児童クラブの（学童保育）利用希望時間

「18時台」の割合が37.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.5%となっています。(n=151)

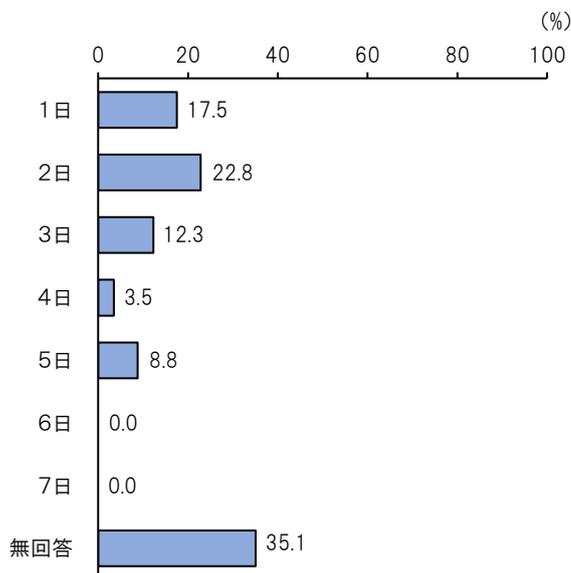


キ ファミリー・サポート・センターの週当たりの利用希望日数

有効回答がありませんでした。

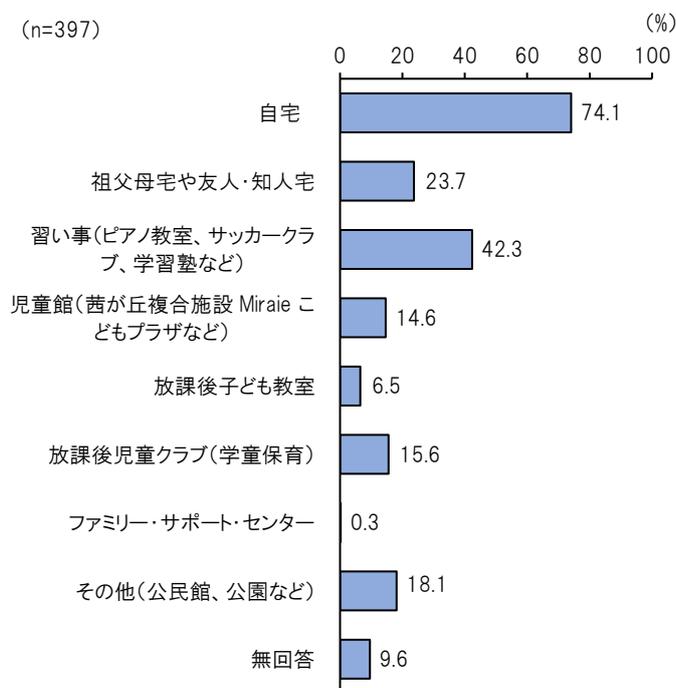
ク その他（公民館、公園など）の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が22.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が17.5%、「3日」の割合が12.3%となっています。(n=57)



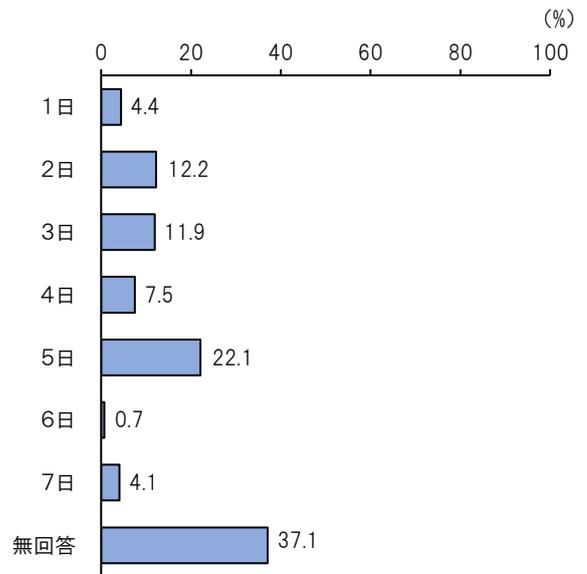
問9-1 お子さんが小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後をどのような場所でどれくらい過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○。また、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用したい時間も、【例】18:00のように24時間制でご記入ください。）

「自宅」の割合が74.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が42.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が23.7%となっています。(n=397)



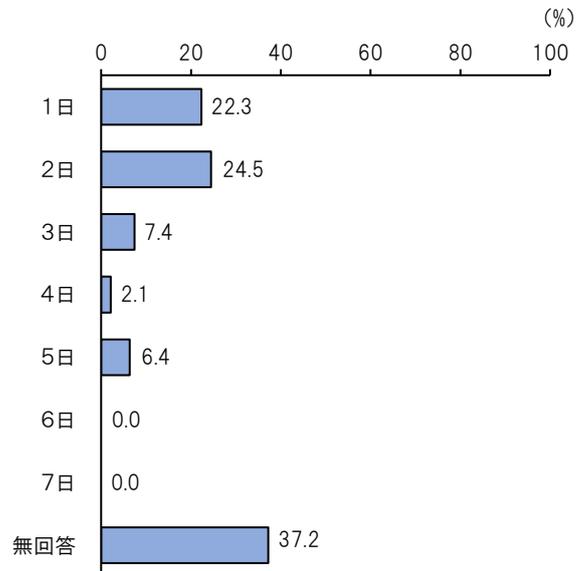
ア 自宅の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が22.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が12.2%、「3日」の割合が11.9%となっています。(n=294)



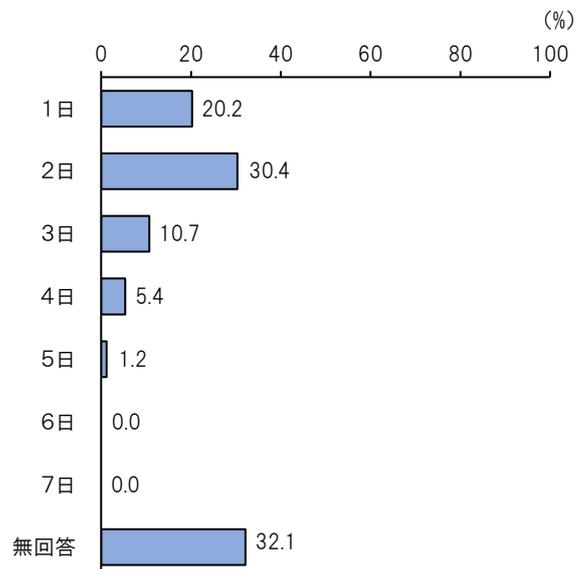
イ 祖父母宅や友人・知人宅の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が24.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.3%となっています。(n=94)



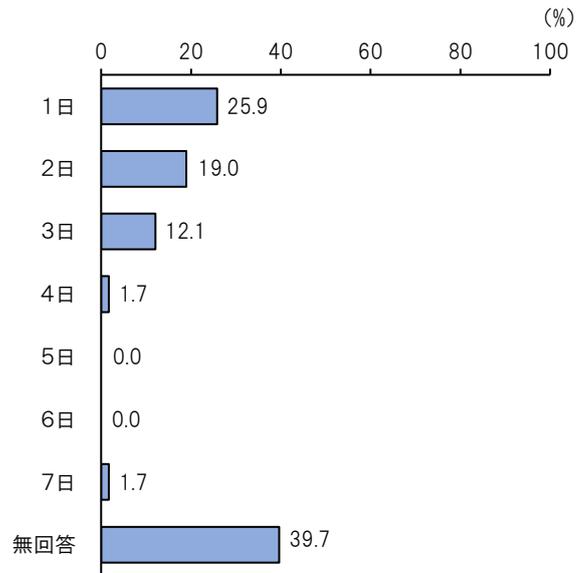
ウ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が30.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.2%、「3日」の割合が10.7%となっています。(n=168)



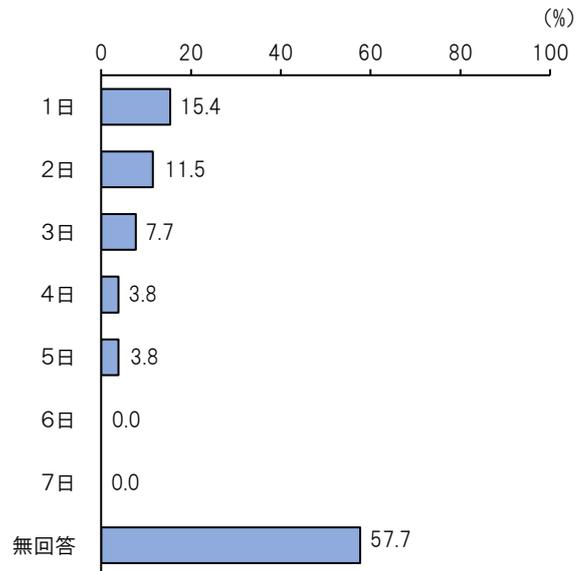
エ 児童館（茜が丘複合施設 Miraie こどもプラザなど）の週当たりの利用希望日数

「1日」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が 19.0%、「3日」の割合が 12.1%となっています。



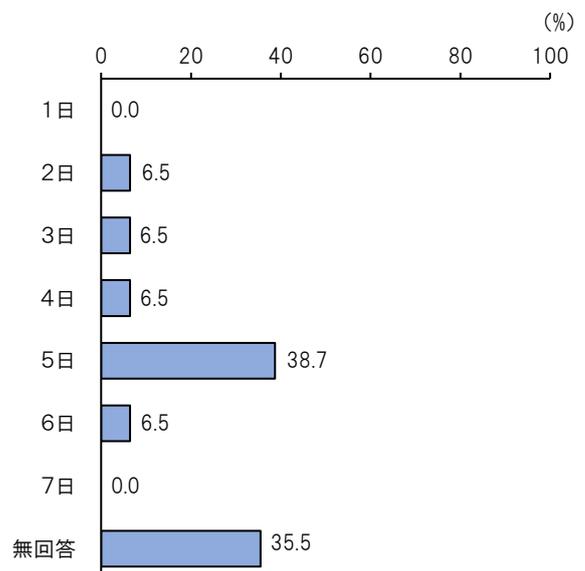
オ 放課後子ども教室の週当たりの利用希望日数

「1日」の割合が 15.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 11.5%となっています。



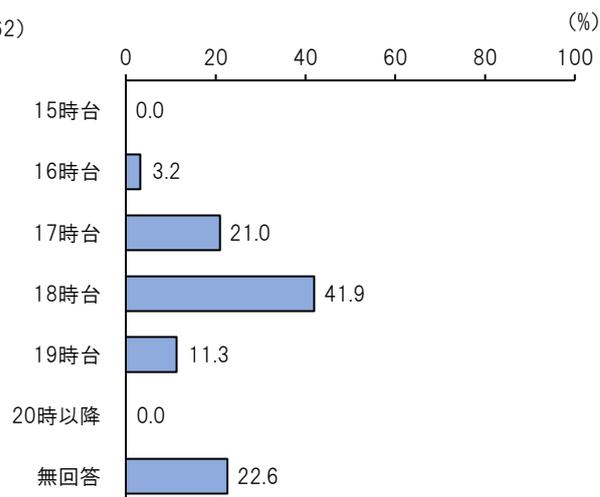
カ 高学年のときの放課後児童クラブ（学童保育）の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が 38.7%と最も高くなっています。



カ 高学年のときの放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望時間

「18 時台」の割合が 41.9%と最も高く、(n=62)
次いで「17 時台」の割合が 21.0%、「19 時
台」の割合が 11.3%となっています。

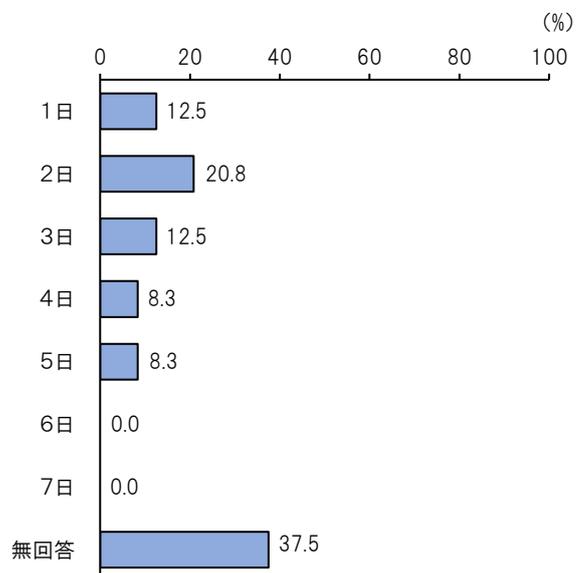


キ ファミリー・サポート・センターの週当たりの利用希望日数

有効回答がありませんでした。

ク その他（公民館、公園など）の週当たりの利用希望日数

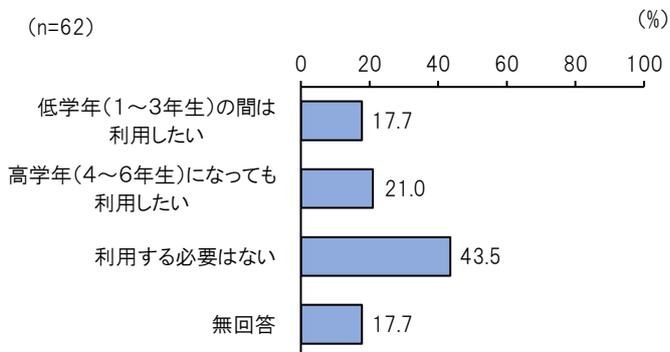
「2 日」の割合が 20.8%と最も高く、次い (n=72)
で「1 日」、「3 日」の割合が 12.5%となっ
ています。



問9-2 土曜日や日曜日・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいですか。（ひとつに○）また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、【例】9:00～18:00のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。）

(1) 土曜日

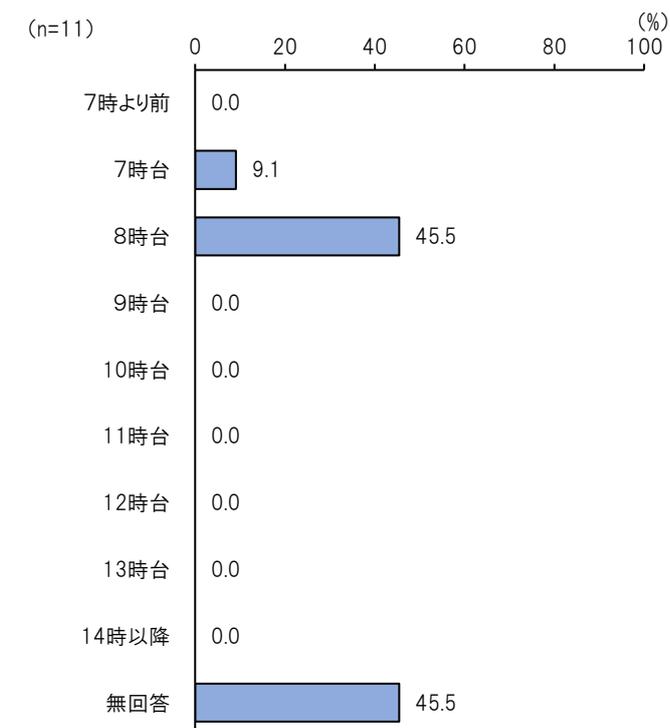
「利用する必要はない」の割合が43.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が21.0%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が17.7%となっています。



ア 低学年

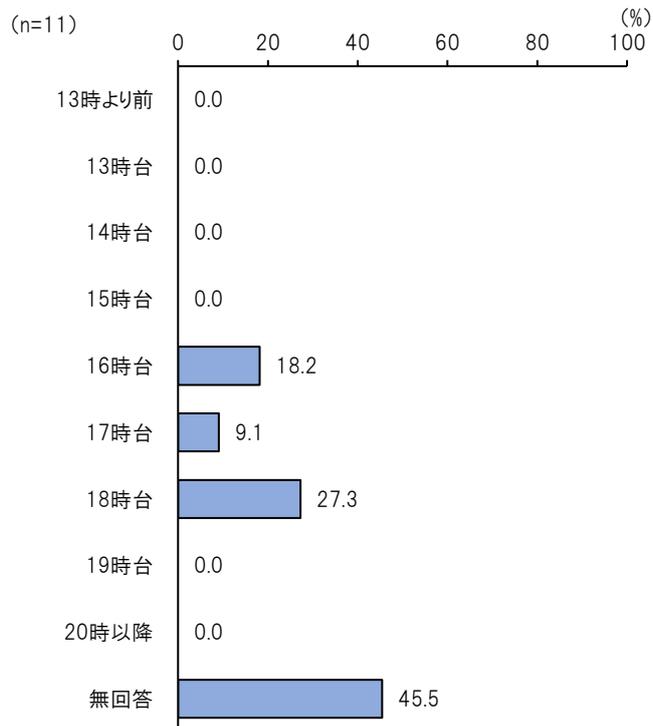
①希望する利用時間帯 開始時間

「8時台」の割合が45.5%と最も高くなっています。



②希望する利用時間帯 終了時間

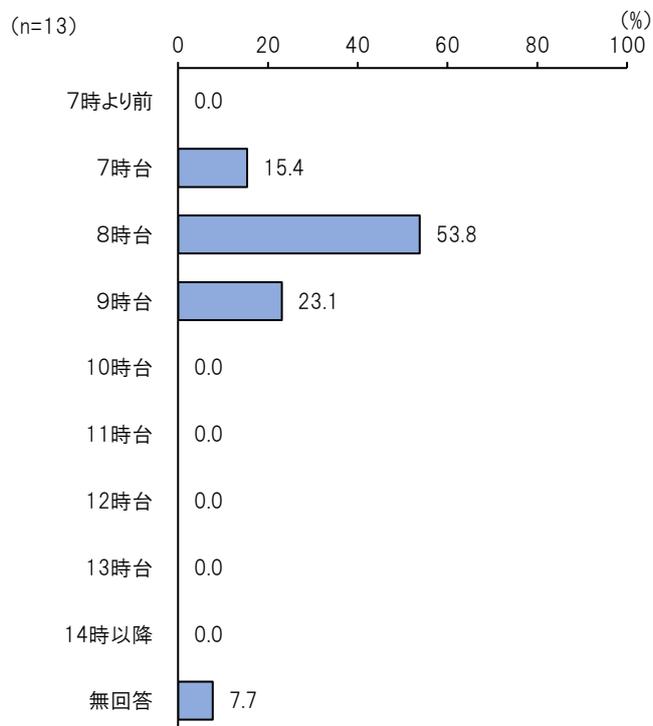
「18 時台」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 18.2%となっています。



イ 高学年

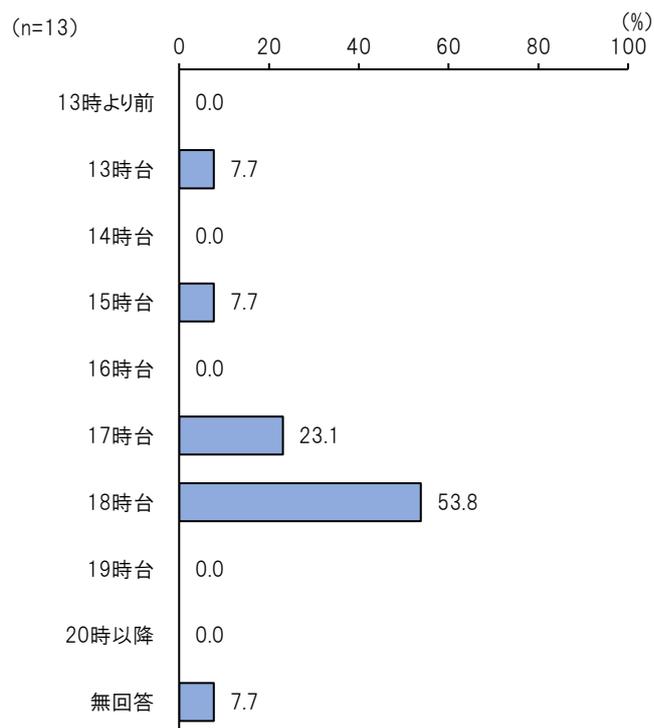
①希望する利用時間帯 開始時間

「8 時台」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 23.1%、「7 時台」の割合が 15.4%となっています。



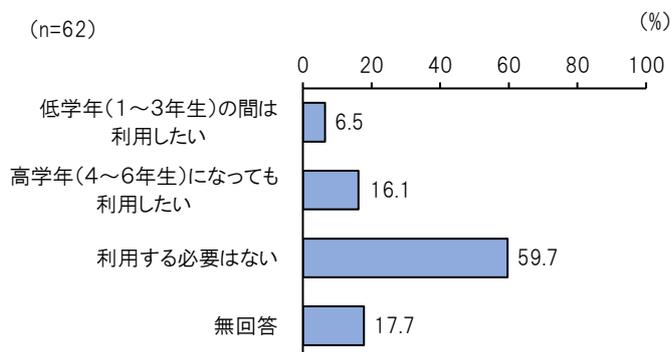
②希望する利用時間帯 終了時間

「18 時台」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.1%となっています。



(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 16.1%となっています。



ア 低学年

①希望する利用時間帯 開始時間

「8 時台」が 1 件となっています。

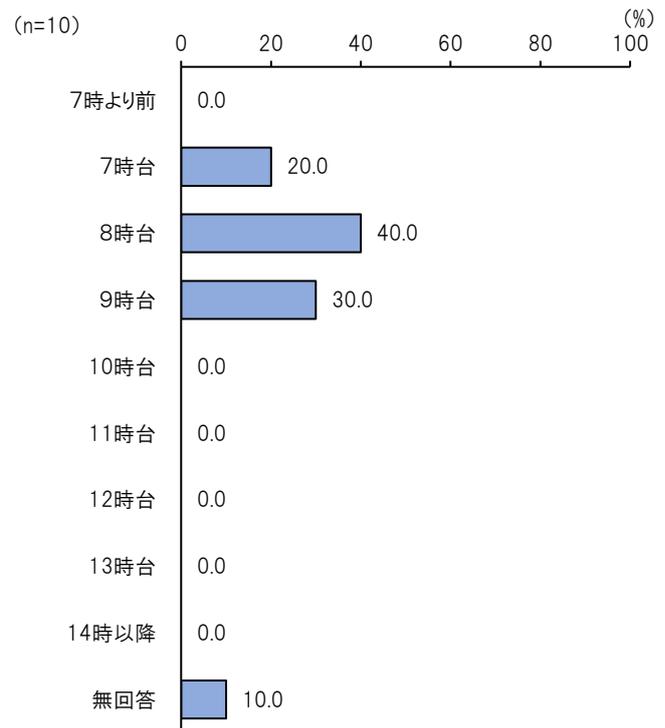
②希望する利用時間帯 終了時間

「17 時台」が 1 件となっています。

イ 高学年

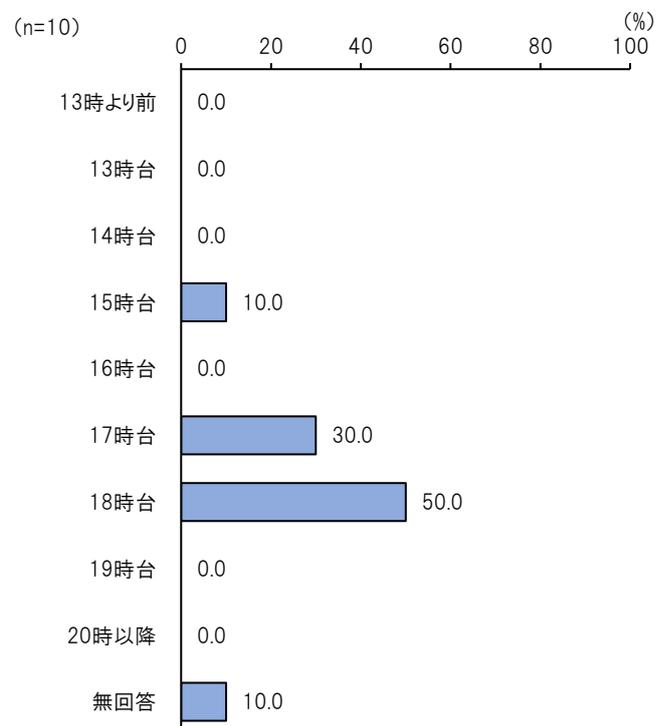
①希望する利用時間帯 開始時間

「8時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.0%、「7時台」の割合が20.0%となっています。



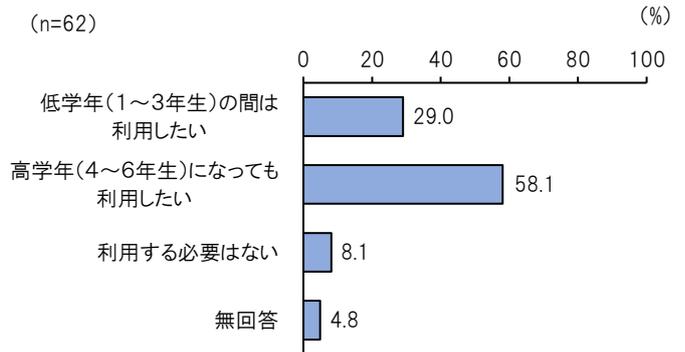
②希望する利用時間帯 終了時間

「18時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が30.0%、「15時台」の割合が10.0%となっています。



(3) 長期休暇

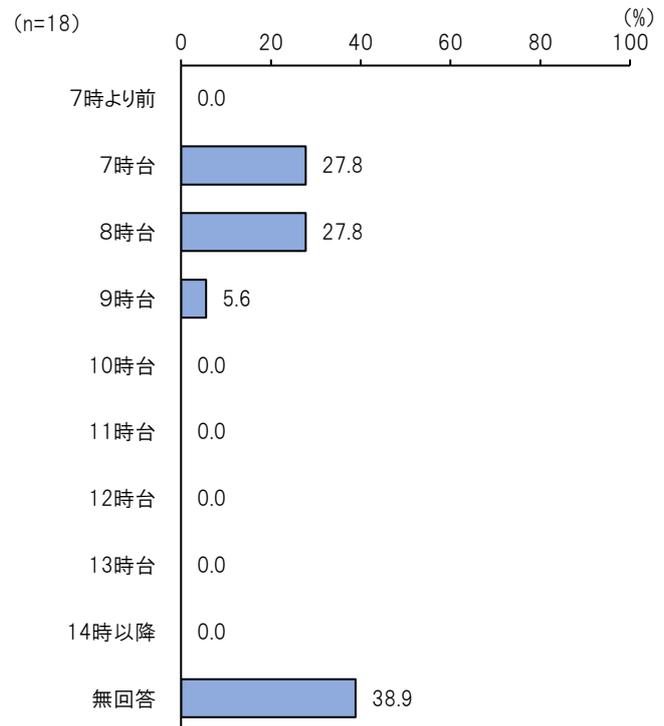
「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が58.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が29.0%となっています。



ア 低学年

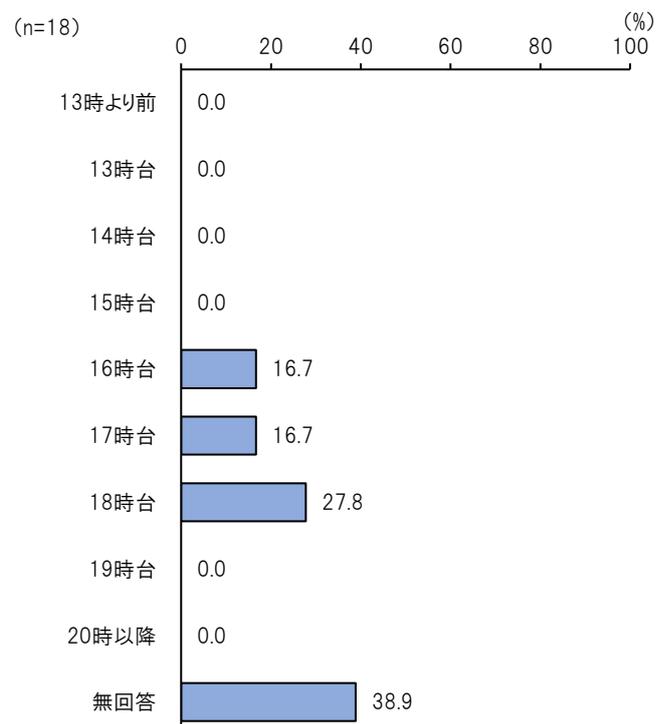
①希望する利用時間帯 開始時間

「7時台」、「8時台」の割合が27.8%と最も高くなっています。



②希望する利用時間帯 終了時間

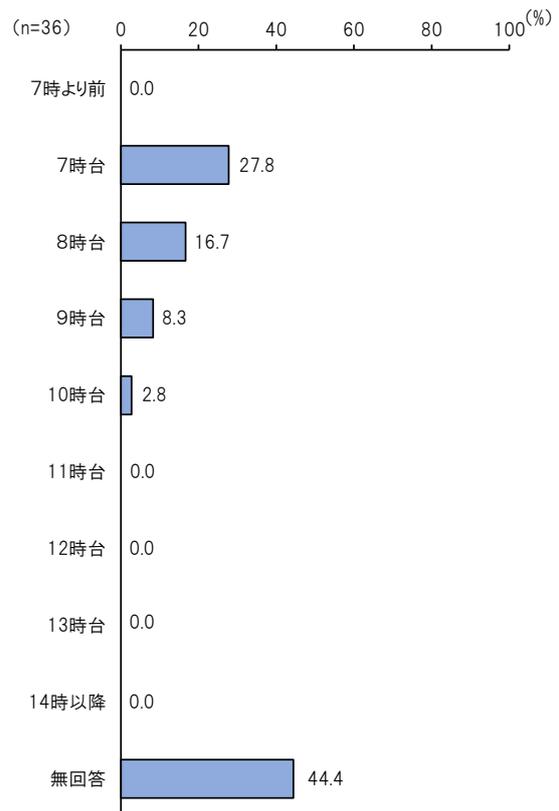
「18時台」の割合が27.8%と最も高く、次いで「16時台」、「17時台」の割合が16.7%となっています。



イ 高学年

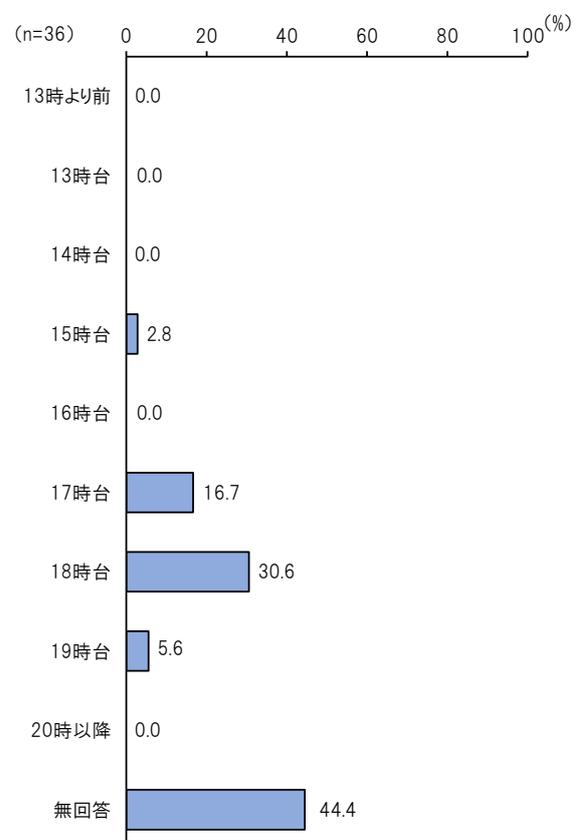
①希望する利用時間帯 開始時間

「7時台」の割合が27.8%と最も高くなっています。



②希望する利用時間帯 終了時間

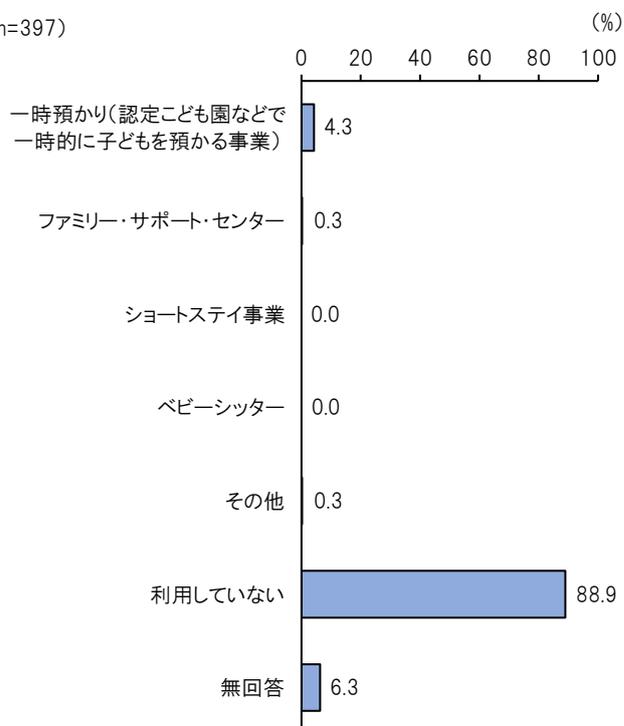
「18時台」の割合が30.6%と最も高くなっています。



(5) 宛名のお子さんのお一時預かり等のサービスの利用について

問 11 お子さんについて、一時預かりなどのサービスを利用したことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○。また、該当する日数にはおおよその1年間の利用日数を数字でご記入ください。)

「利用していない」の割合が 88.9%と最も高くなっています。(n=397)



利用日数

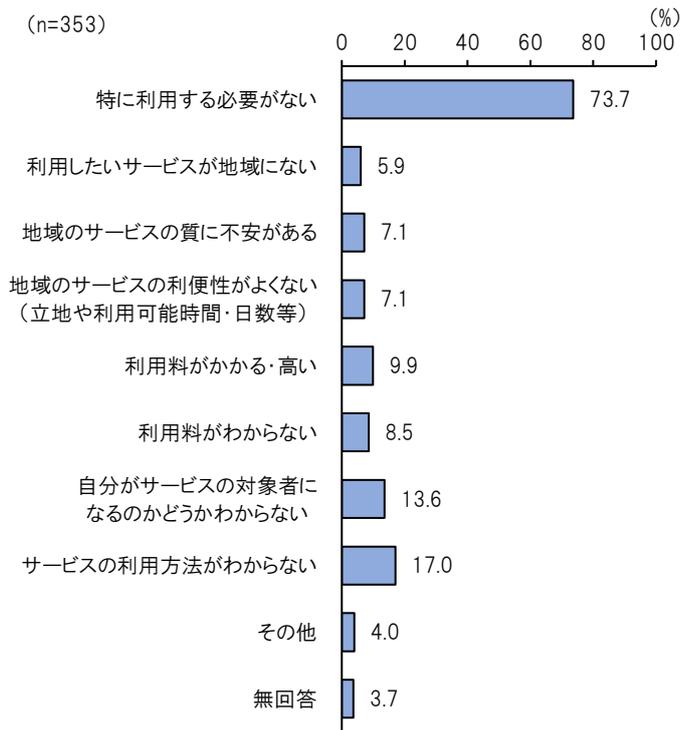
利用日数をみると、一時預かり（認定こども園などで一時的に子どもを預かる事業）「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	20日	30日	40日	50日以上	無回答
		5日	19日	29日	39日	49日										
一時預かり(認定こども園などで一時的に子どもを預かる事業)	17	23.5	-	-	-	11.8	-	-	-	-	17.6	-	5.9	-	5.9	35.3
ファミリー・サポート・センター	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-
ショートステイ事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

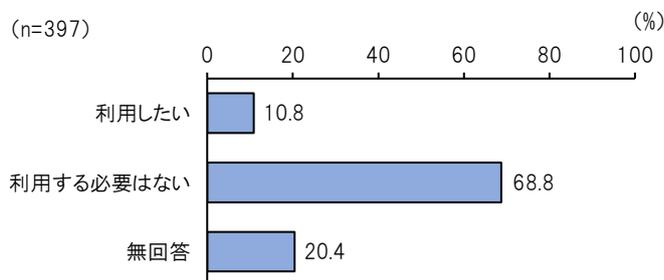
問 11-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に利用する必要がない」の割合が73.7%と最も高く、次いで「サービスの利用方法がわからない」の割合が17.0%、「自分がサービスの対象になるのかどうかかわからない」の割合が13.6%となっています。



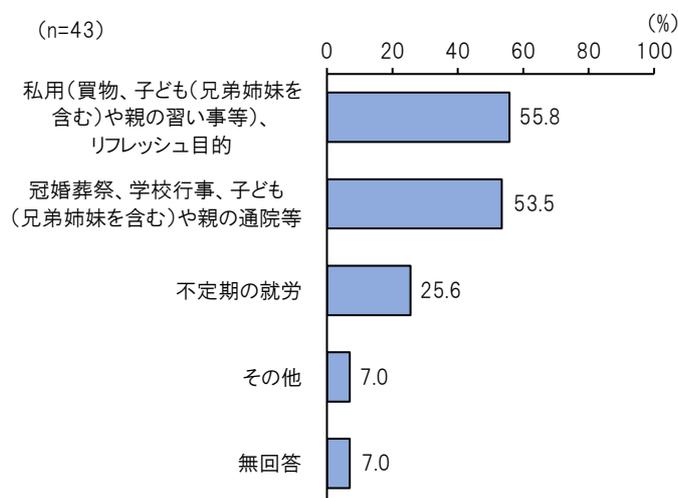
問 12 一時預かり等の保育サービスについてうかがいます。年間何日くらい利用する必要があると思いますか。(利用希望の有無については、ひとつに○。利用の目的については、あてはまるものすべてに○。また、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数には数字でご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。)

「利用したい」の割合が 10.8%、「利用する必要はない」の割合が 68.8%となっています。



利用したい

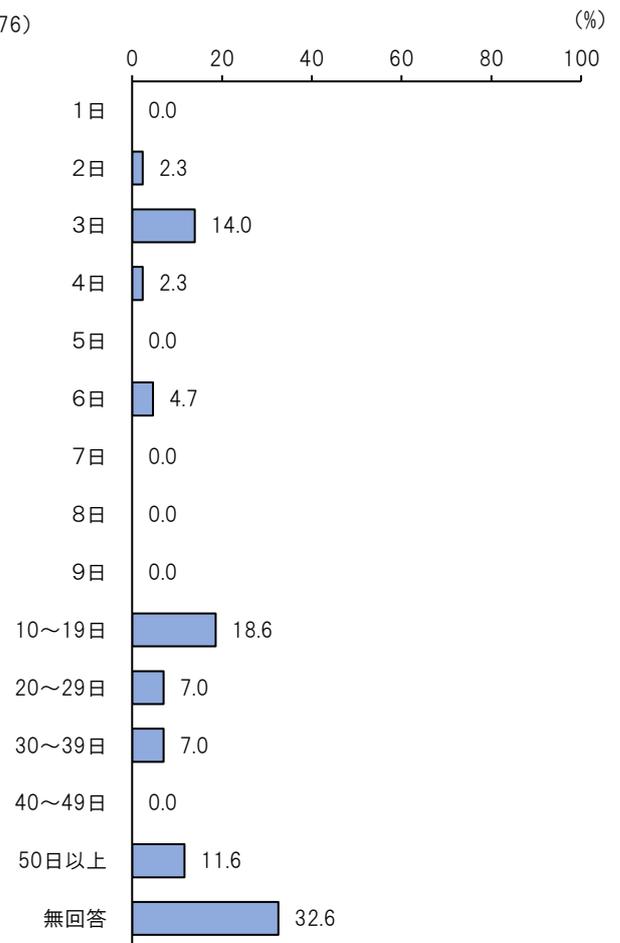
「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が 53.5%、「不定期の就労」の割合が 25.6%となっています。



ア 利用したい合計日数

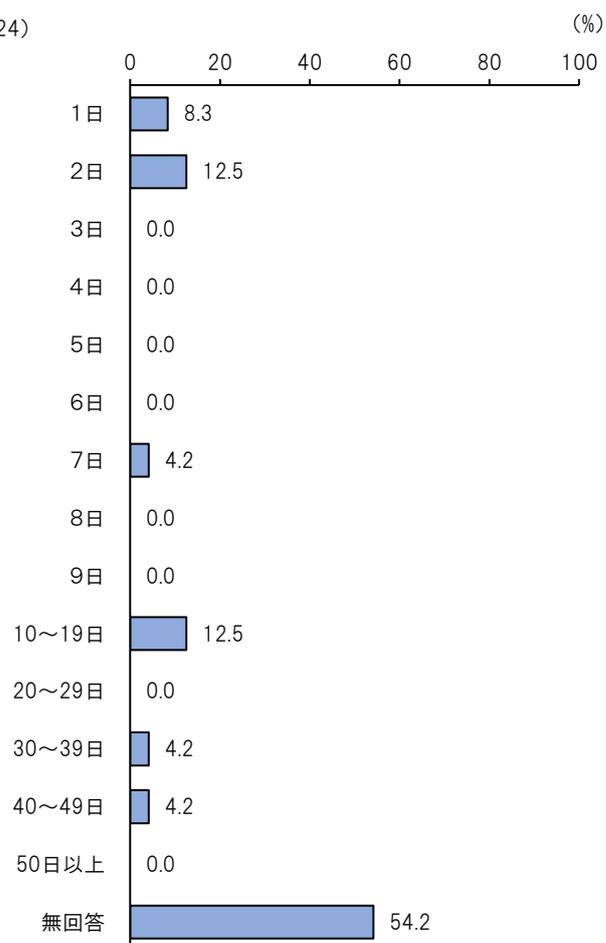
「10～19日」の割合が18.6%と最も高く、
次いで「3日」の割合が14.0%、「50日以上」
の割合が11.6%となっています。

(n=76)



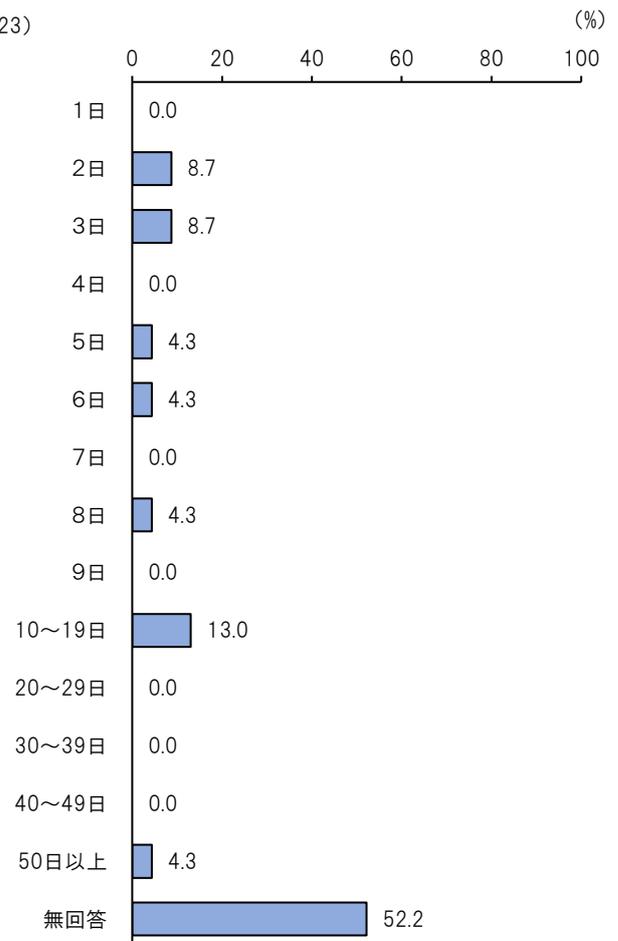
イ 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的で利用したい年間日数

「2日」、「10～19日」の割合が12.5%と（n=24）最も高くなっています。



ウ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等で利用したい年間日数

「10～19日」の割合が13.0%と最も高く（n=23）
なっています。



エ 不定期の就労で利用したい年間日数

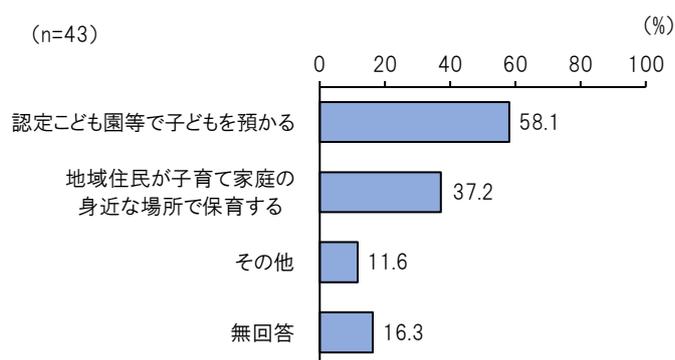
「3日」、「5日」、「7日」、「10～19日」、「30～39日」が1件となっています。

オ その他の目的で利用したい年間日数

有効回答がありませんでした。

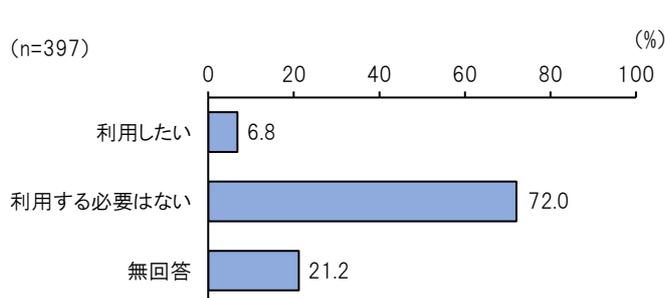
問 12-1 その場合、どのような形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

「認定こども園等で子どもを預かる」の割合が 58.1%、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する」の割合が 37.2%となっています。



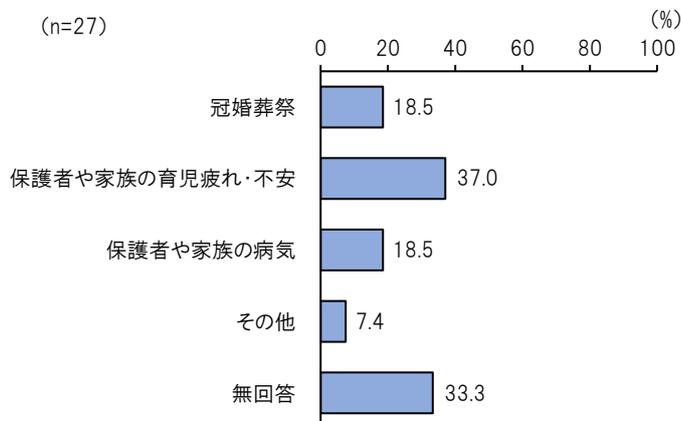
問 13 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。ショートステイ事業の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 6.8%、「利用する必要はない」の割合が 72.0%となっています。



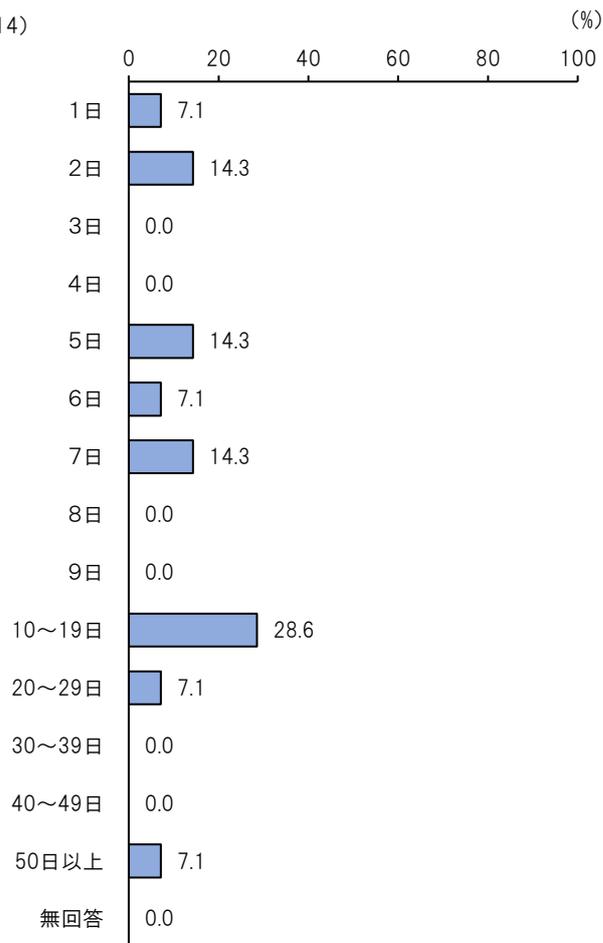
利用したい

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」、「保護者や家族の病気」の割合が 18.5%となっています。



合計泊数

「10～19日」の割合が28.6%と最も高く、(n=14)
 次いで「2日」、「5日」、「7日」の割合が
 14.3%となっています。



泊数

泊数でみると、保護者や家族の病気で「3日」の件数が多くなっています。

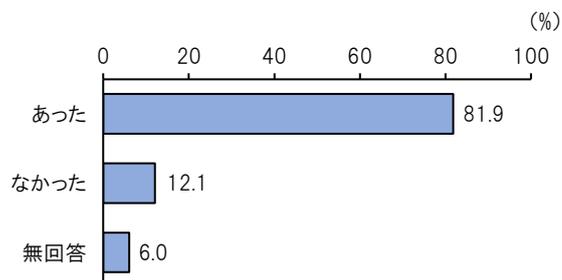
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10 ～ 19日	20 ～ 29日	30 ～ 39日	40 ～ 49日	50 日 以上	無回答
冠婚葬祭	5	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保護者や家族の 育児疲れ・不安	10	40.0	10.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-
保護者や家族の 病気	5	20.0	-	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

(6) 宛名のお子さんの病気の際の対応について

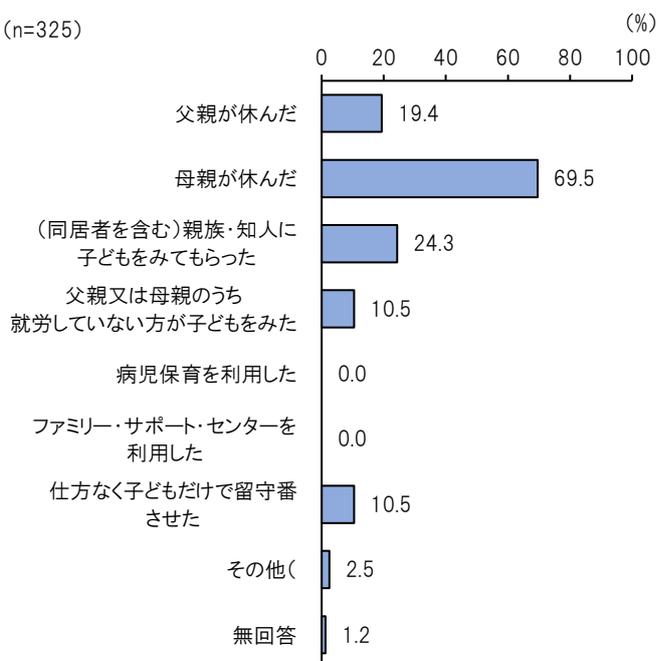
問 14 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。
(ひとつに○)

「あった」の割合が 81.9%、「なかった」(n=397)の割合が 12.1%となっています。



問 14-1 その際どのように対処されましたか。半日程度についても1日としてカウントしてください。(あてはまるものすべてに○。また、該当する日数には数字でご記入ください。)

「母親が休んだ」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 24.3%、「父親が休んだ」の割合が 19.4%となっています。



対処日数

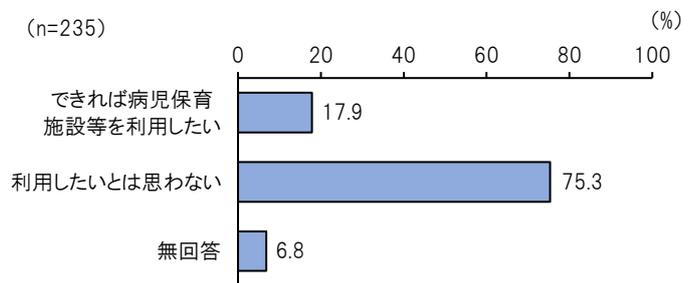
対処日数をみると、「父親が休んだ」、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」で「1日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答
父親が休んだ	63	22.2	14.3	9.5	3.2	14.3	-	1.6	-	-	4.8	30.2
母親が休んだ	226	12.4	13.3	7.5	3.1	11.5	1.3	4.4	-	-	9.3	37.2
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	79	15.2	13.9	6.3	1.3	10.1	1.3	1.3	-	-	6.3	44.3
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	34	2.9	-	11.8	-	14.7	-	8.8	-	-	14.7	47.1
病児保育を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番させた	34	8.8	14.7	8.8	2.9	8.8	-	-	-	-	-	55.9
その他	8	12.5	-	37.5	-	-	-	-	-	-	-	50.0

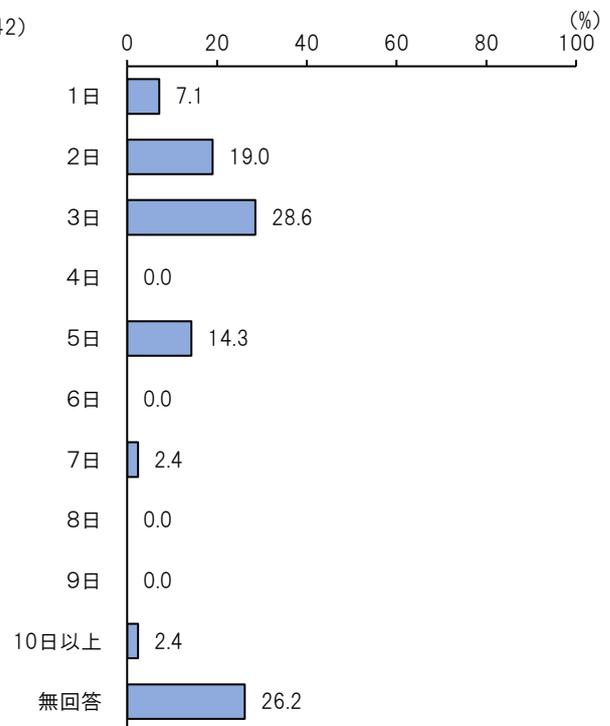
問 14-2 その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(ひとつに○。また、該当する日数を()内に数字でご記入ください。なお、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。)

「できれば病児保育施設等を利用したい」(n=235)の割合が17.9%、「利用したいとは思わない」の割合が75.3%となっています。



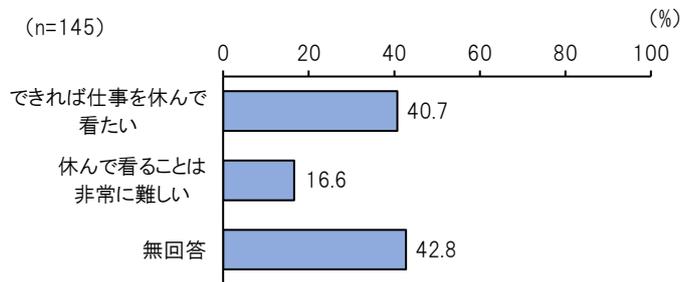
できれば病児保育施設等を利用したい日数

「3日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.0%、「5日」の割合が14.3%となっています。



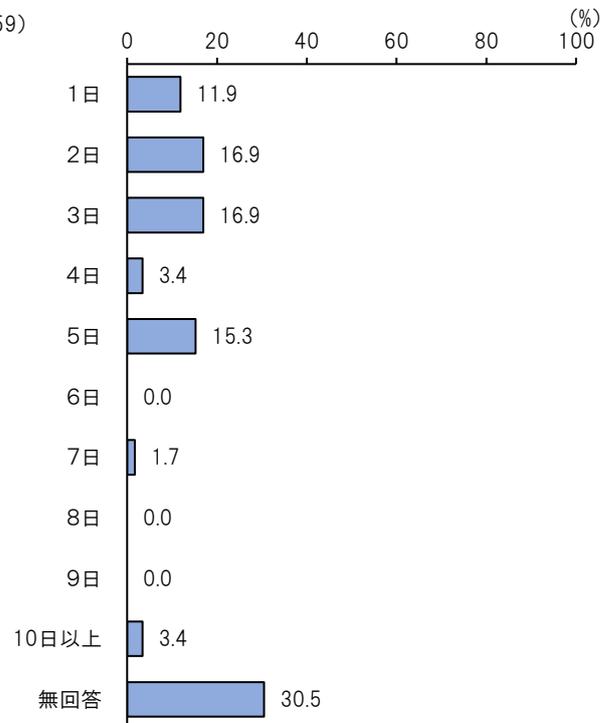
問 14-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(ひとつに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。)

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が (n=145)
40.7%、「休んで看ることは非常に難しい」
の割合が 16.6%となっています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「2日」、「3日」の割合が 16.9%と最も高く、次いで「5日」の割合が 15.3%、「1日」の割合が 11.9%となっています。



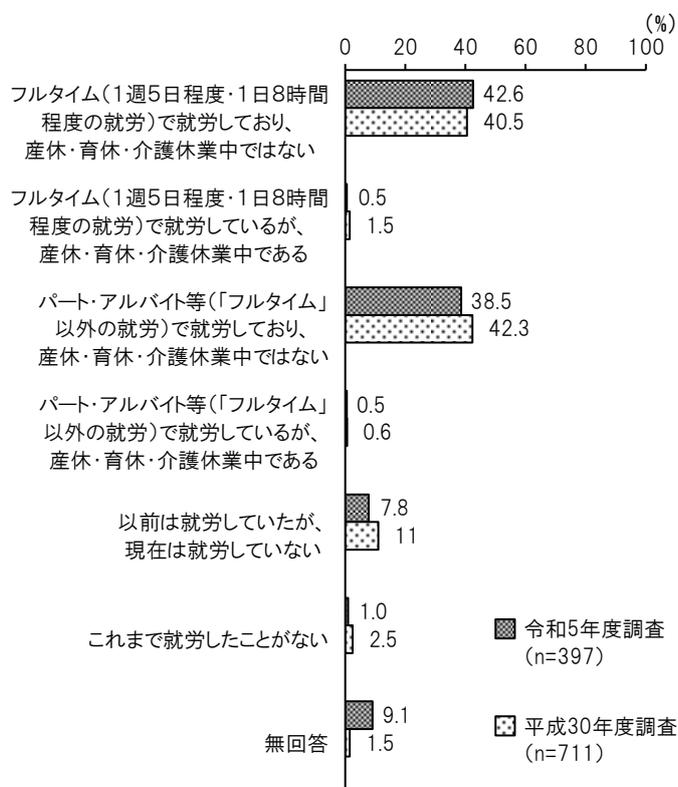
(7) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（母親、父親それぞれひとつに○）

(1) 母親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が38.5%となっています。

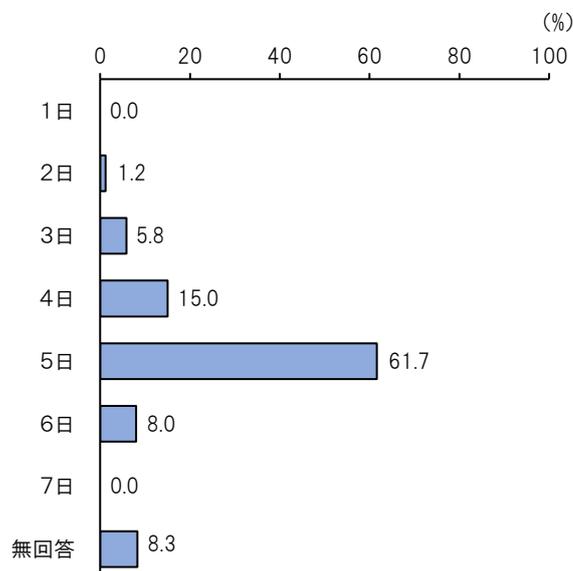
平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



(1) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

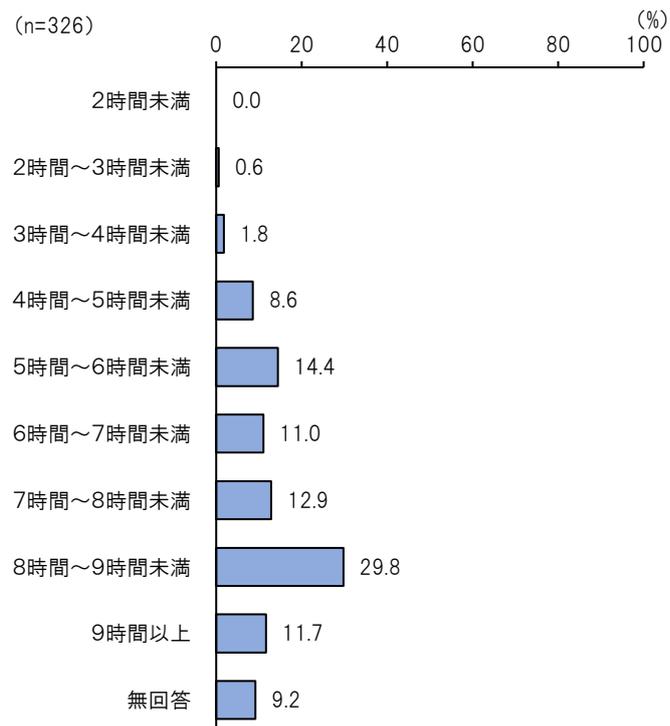
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が61.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が15.0%となっています。（n=326）



イ 1日当たり就労時間

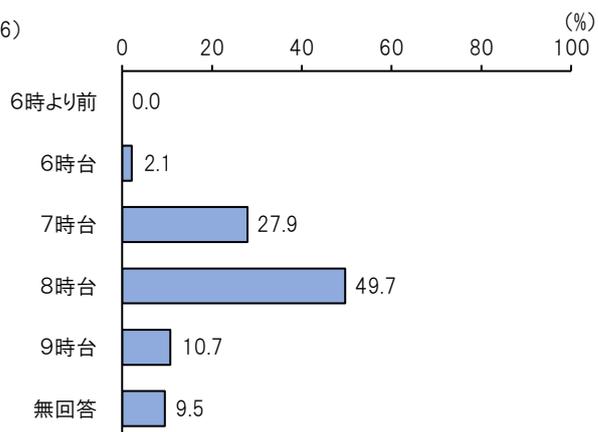
「8時間～9時間未満」の割合が29.8% (n=326) と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が14.4%、「7時間～8時間未満」の割合が12.9%となっています。



(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。

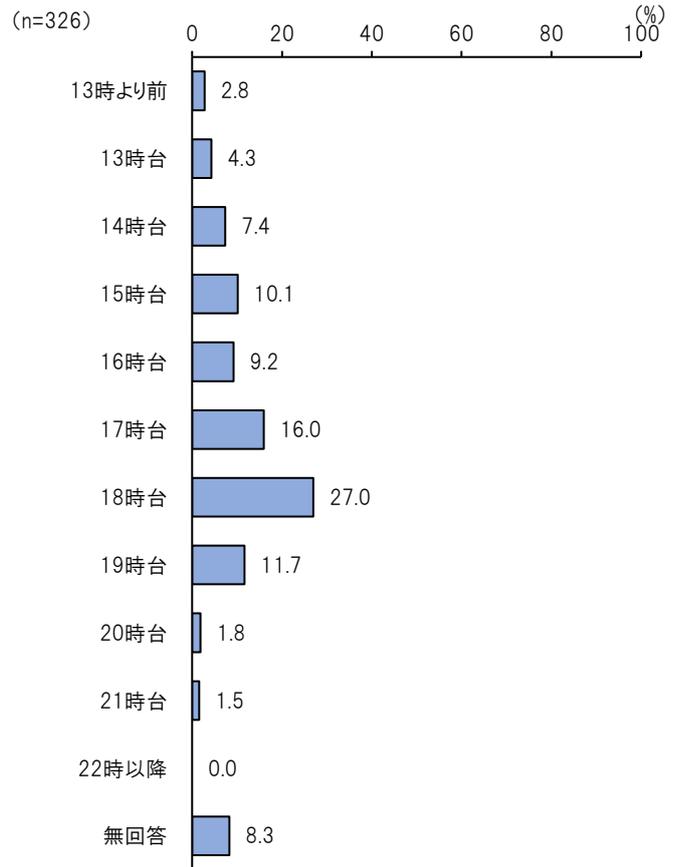
ア 家を出る時刻

「8時台」の割合が49.7% (n=326) と最も高く、次いで「7時台」の割合が27.9%、「9時台」の割合が10.7%となっています。



イ 帰宅時刻

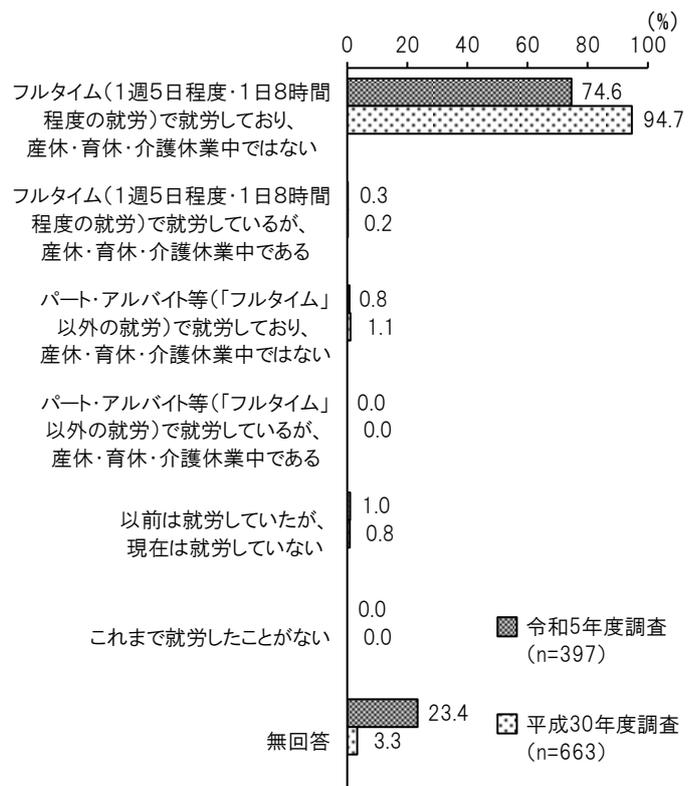
「18 時台」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 16.0%、「19 時台」の割合が 11.7%となっています。



(2) 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 74.6%と最も高くなっています。

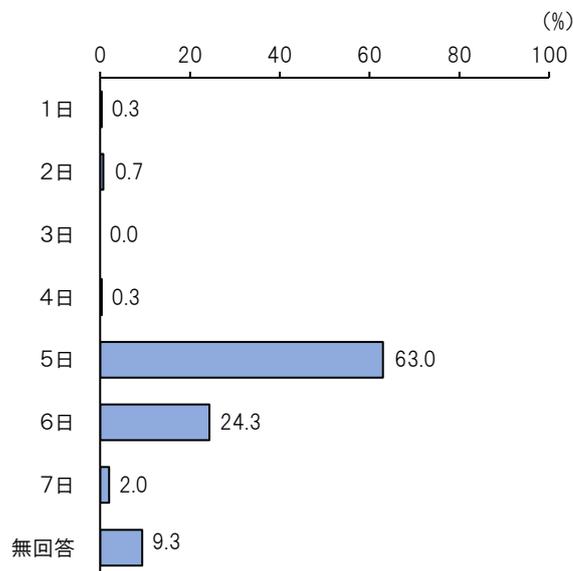
平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



(2) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

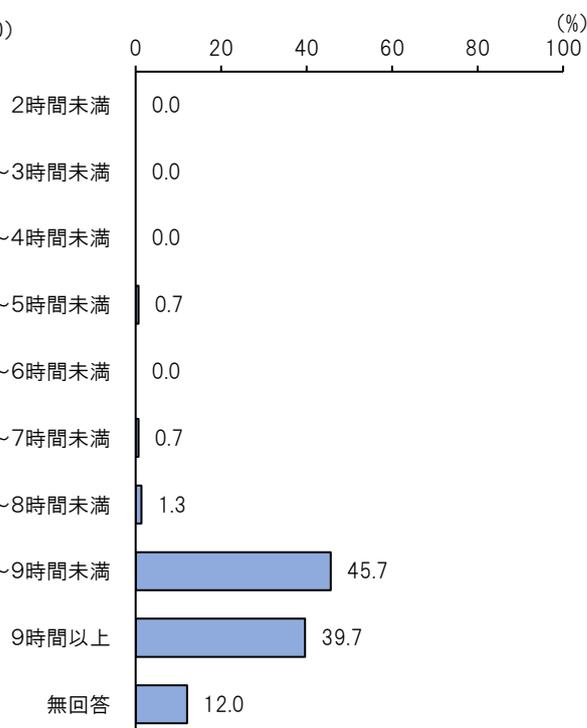
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が63.0%と最も高く、次いで「6日」の割合が24.3%となっています。(n=300)



イ 1日当たり就労時間

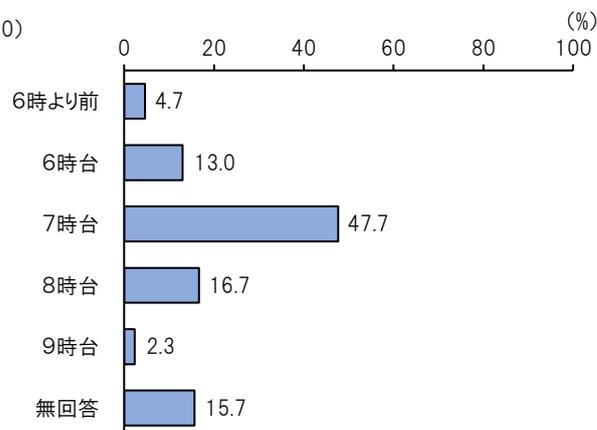
「8時間～9時間未満」の割合が45.7%と最も高く、次いで「9時間以上」の割合が39.7%となっています。(n=300)



(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。

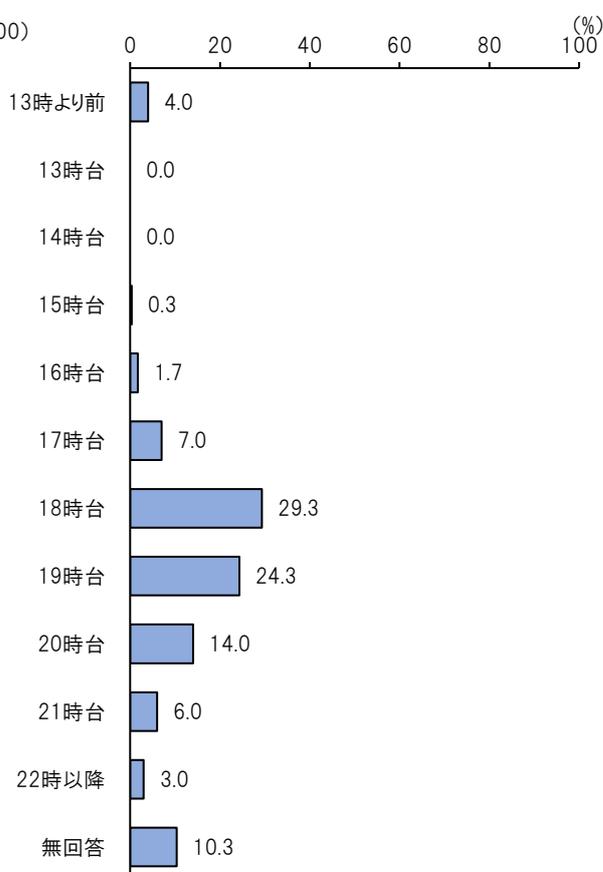
ア 家を出る時刻

「7時台」の割合が47.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が16.7%、「6時台」の割合が13.0%となっています。



イ 帰宅時刻

「18時台」の割合が29.3%と最も高く、次いで「19時台」の割合が24.3%、「20時台」の割合が14.0%となっています。

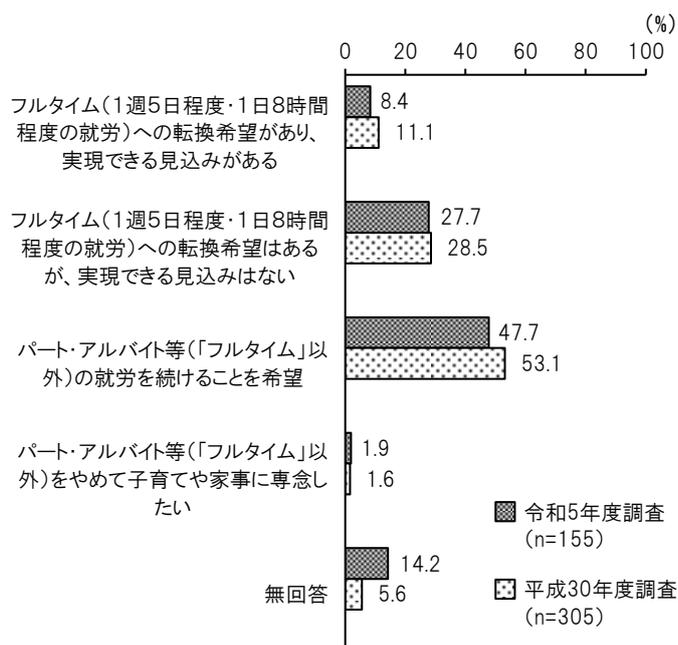


問 16 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○)

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が47.7%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が27.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

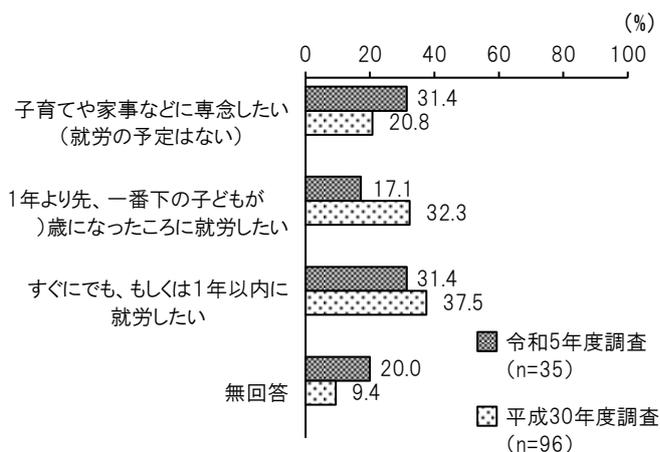
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が1件となっています。

問 17 就労したいという希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。)

(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が31.4%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」()の割合が17.1%となっています。

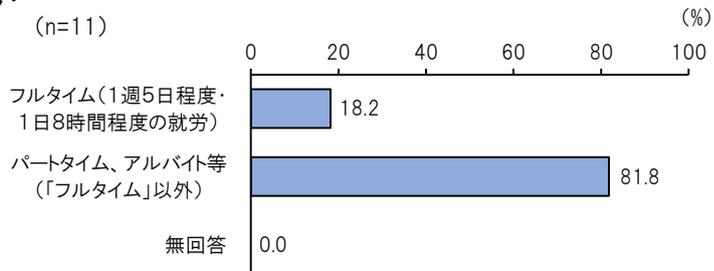
平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。



ア 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
13歳以上が5名となっています。

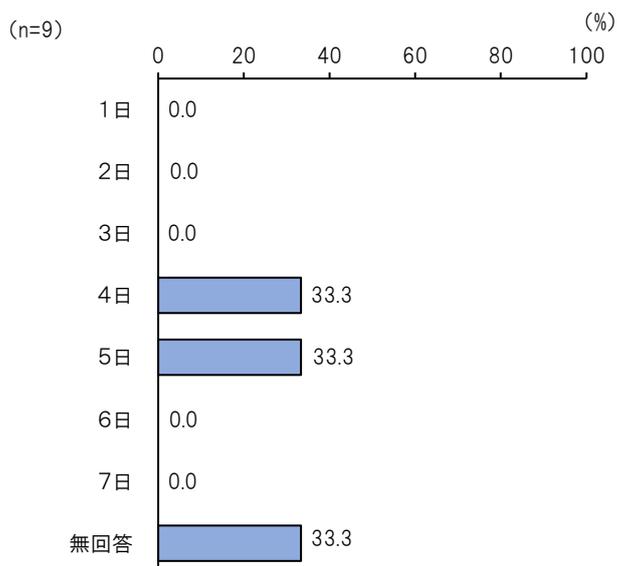
イ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度程度の就労）」の割合が18.2%、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」の割合が81.8%となっています。



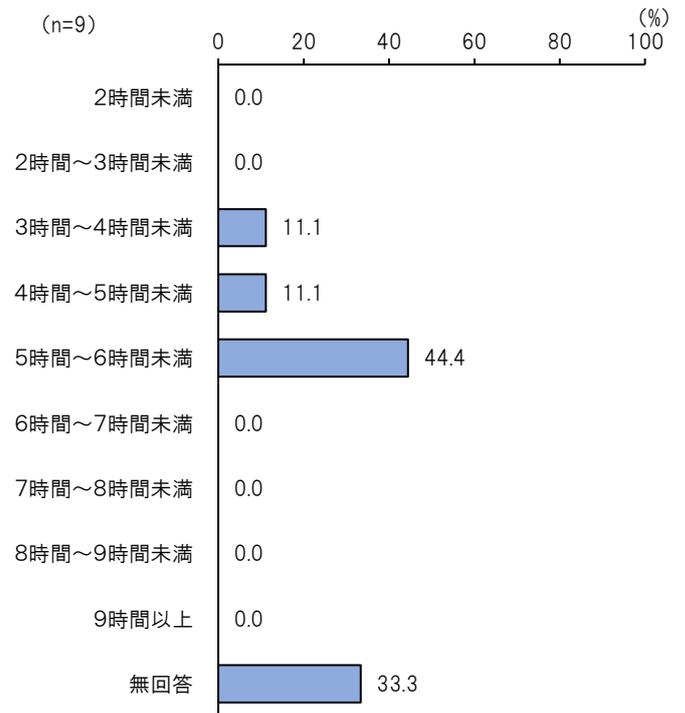
イ-①希望する1週当たり就労日数

「4日」、「5日」が33.3%（3件）となっています。



イ-②希望する1日当たり就労時間

「5時間～6時間未満」が44.4%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」、「4時間～5時間未満」が11.1%となっています。



(2) 父親

有効回答がありませんでした。

ア 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい

有効回答がありませんでした。

イ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

有効回答がありませんでした。

イ-①希望する1週当たり勤務日数

有効回答がありませんでした。

イ-②希望する1日当たり勤務時間

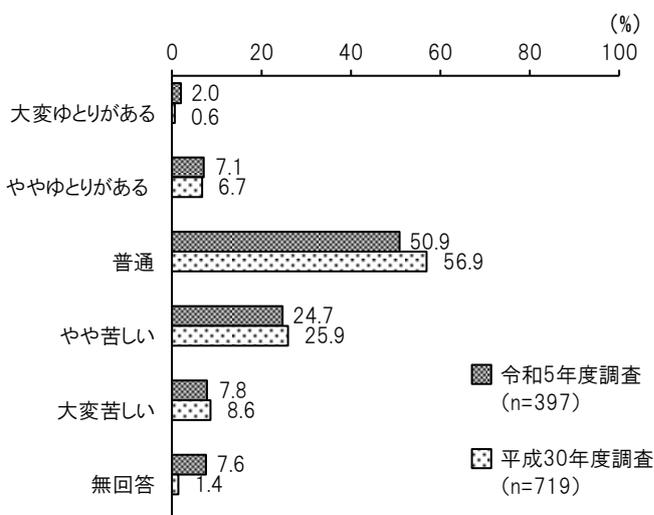
有効回答がありませんでした。

(8) 現在の暮らしについて

問 18 現在の暮らしの経済状況をどのように感じていますか。(ひとつに○)

「普通」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 24.7%となっています。

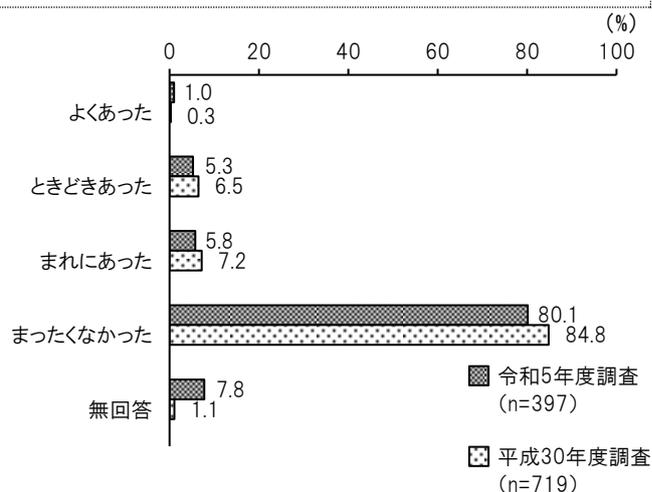
平成 30 年度調査と比較すると、「普通」の割合が減少しています。



問 19 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(ひとつに○)

「まったくなかった」の割合が 80.1%と最も高くなっています。

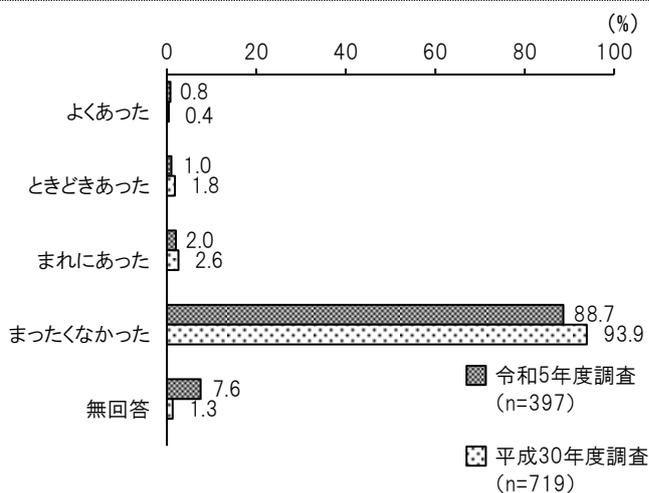
平成 30 年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が減少しています。



問 20 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、水道又は電気料金が払えないことがありましたか。(ひとつに○)

「まったくなかった」の割合が 88.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が減少しています。



(9) 収入について

問 21 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯全体の収入（年間のボーナス含む手取り額）」をお答えください。（ひとつに○）

「400～500万円未満」の割合が11.3%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が10.8%、「300～400万円未満」の割合が10.3%となっています。

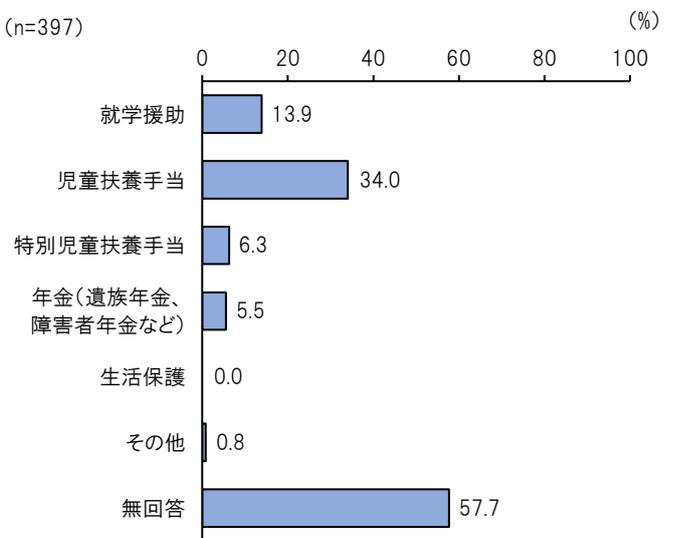
平成30年度調査と比較すると、「500～600万円未満」の割合が減少しています。

一方、「900万円以上」が増加しています。



問 22 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受けていますか。
(あてはまるものすべてに○)

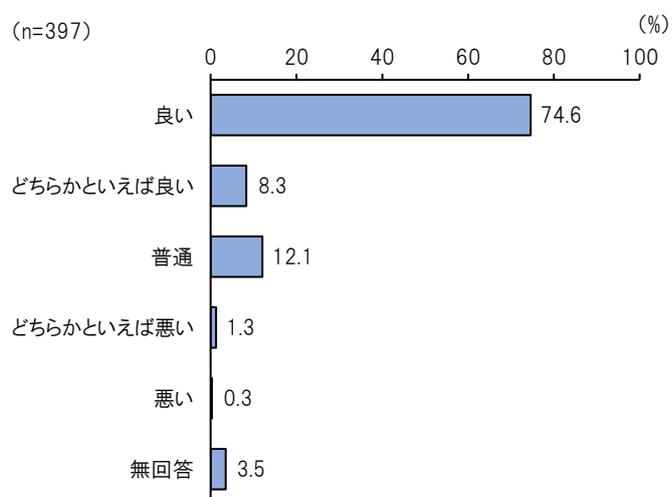
「児童扶養手当」の割合が 34.0%と最も (n=397)
高く、次いで「就学援助」の割合が 13.9%と
なっています。



(10) お子さんのことについて

問 23 このアンケートの調査対象のお子さんの健康状態についてお聞きします。
(ひとつに〇)

「良い」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「普通」の割合が 12.1%となっています。(n=397)



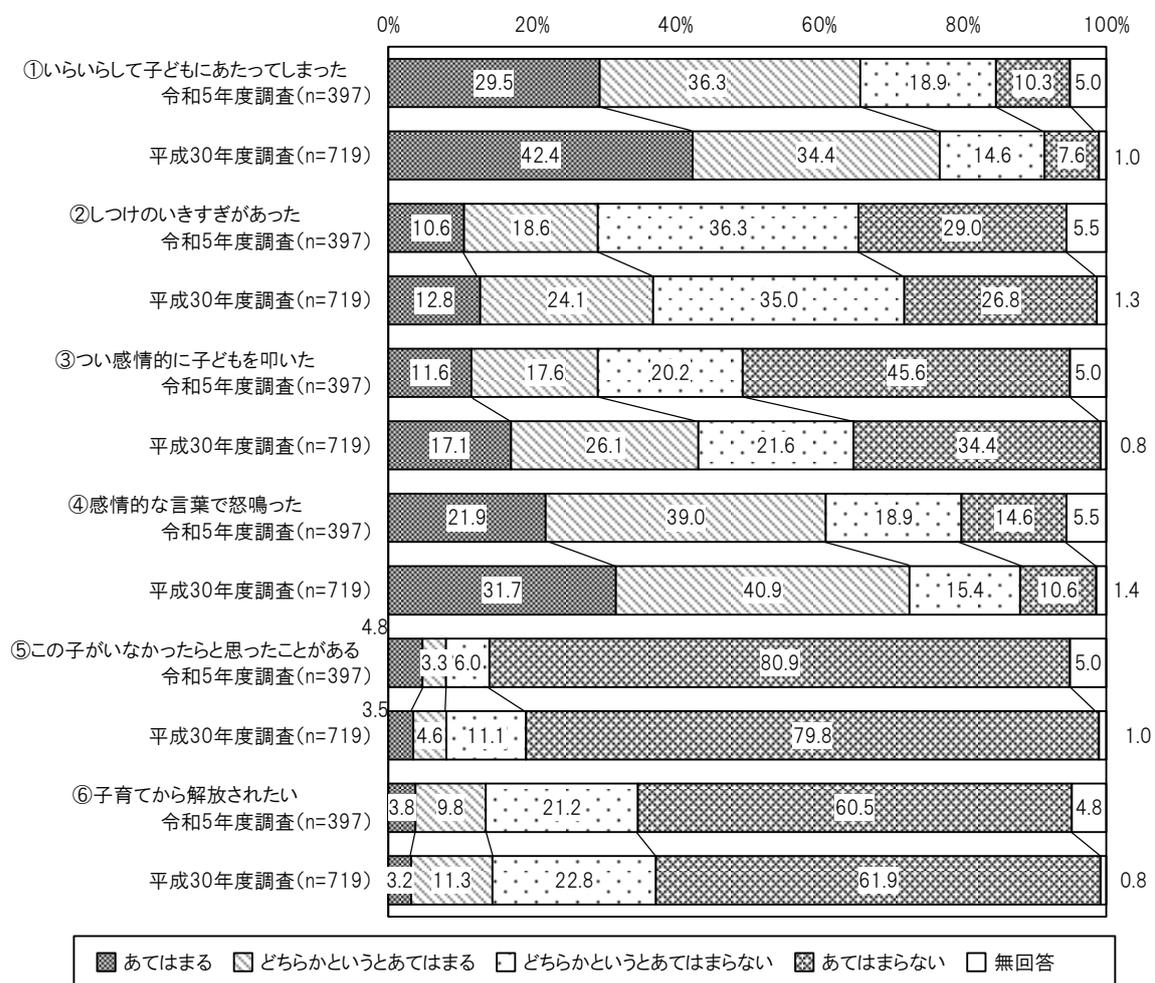
問 24 これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。（それぞれについて、ひとつに○。）

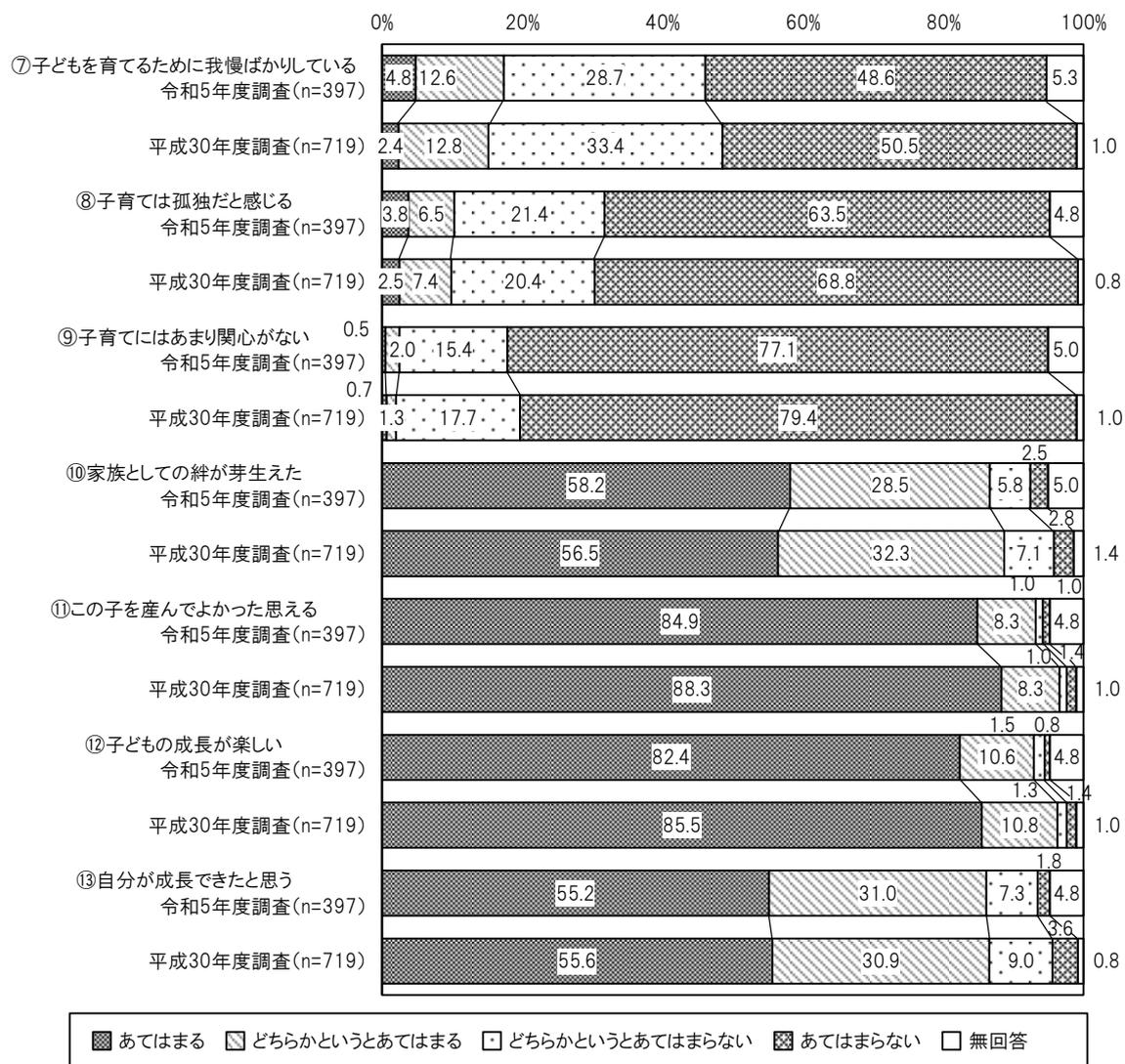
子育ての中で思ったりしたことをみると、「⑪この子を産んでよかったと思える」、「⑫子どもの成長が楽しい」で、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」を合わせた『あてはまる』の割合が高くなっています。

一方、「⑨子育てにはあまり関心がない」で「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」を合わせた『あてはまる』では、「③つい感情的に子どもを叩いた」の割合が減少しています。

また、「⑦子どもを育てるために我慢ばかりしている」の割合が増加しています。

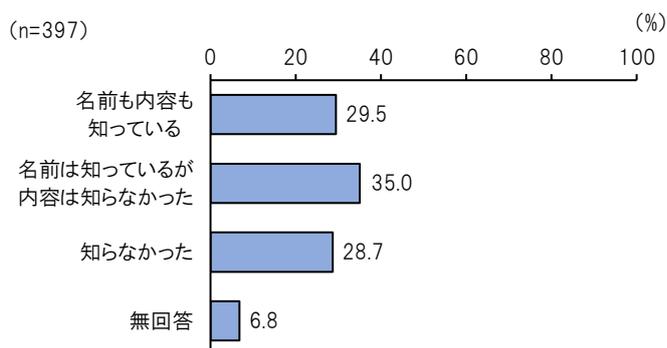




(11) 子どもの権利について

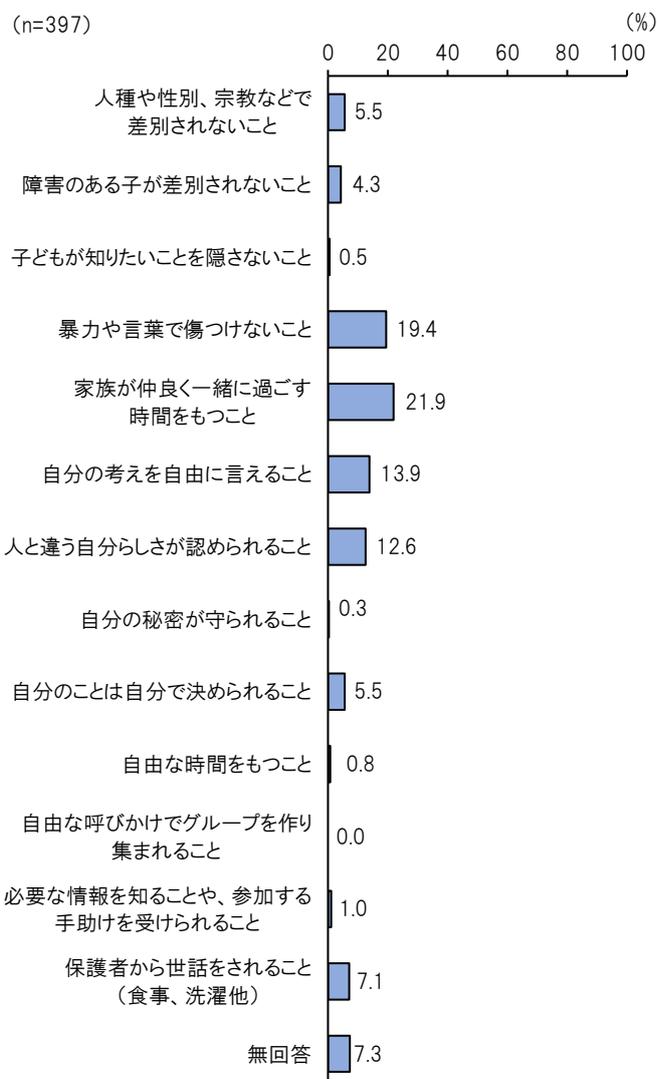
問 25 あなたは、『子どもの権利』を知っていますか。(ひとつに〇)

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」が 29.5%、「知らなかった」が 28.7%となっています。



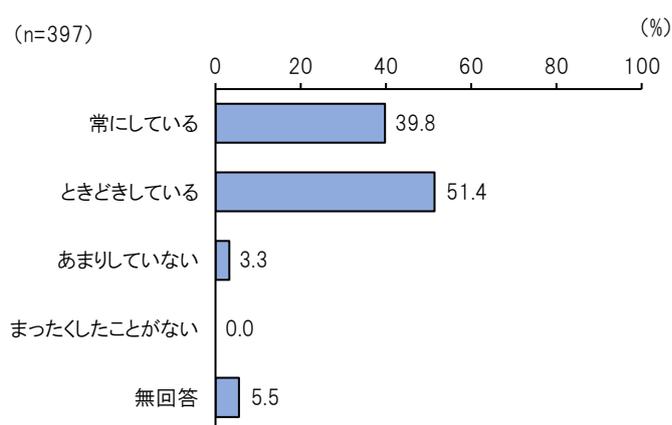
問 26 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(ひとつに〇)

「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 19.4%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 13.9%となっています。



問 27 あなたは、子育てをされていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。(ひとつに○)

「ときどきしている」の割合が 51.4.% と最も高く、次いで「常にしている」の割合が 39.8.% となっています。(n=397)



(12) 今後の出産に関する意向

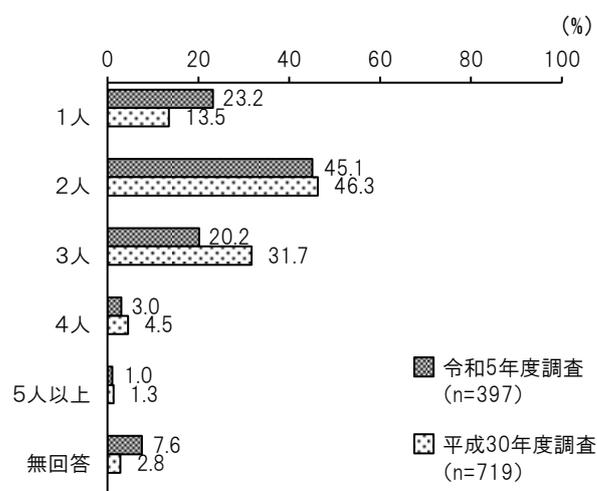
問 28 現在のお子さんの人数、今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を教えてください。(それぞれの区分ごとに、人数を記入してください。)

ア 現在のお子さんの人数

「2人」の割合が 45.1% と最も高く、次いで、「1人」の割合が 23.2%、「3人」の割合が 20.2% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2人」、「3人」の割合が減少しています。

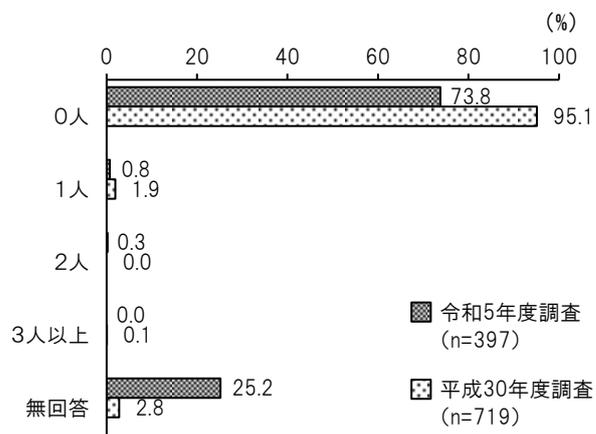
一方、「1人」の割合が増加しています。



イ 今後の出産予定の人数

「0人」の割合が 73.8% と最も高くなっています。

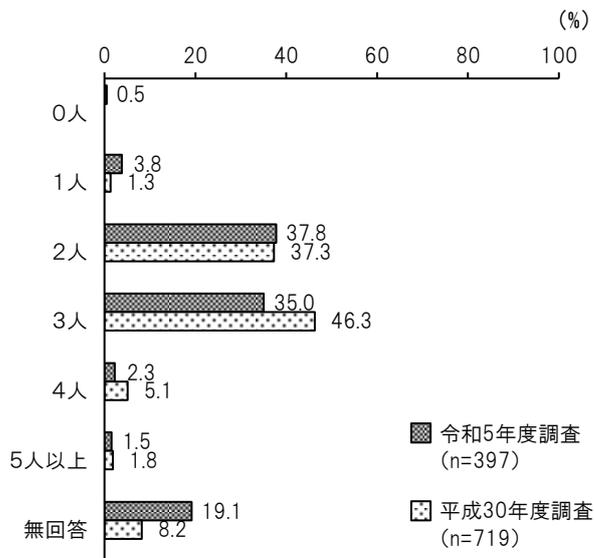
平成 30 年度調査と比較すると、「0人」の割合が減少しています。



ウ 理想とするお子さんの人数

「2人」の割合が37.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が35.0%となっています。

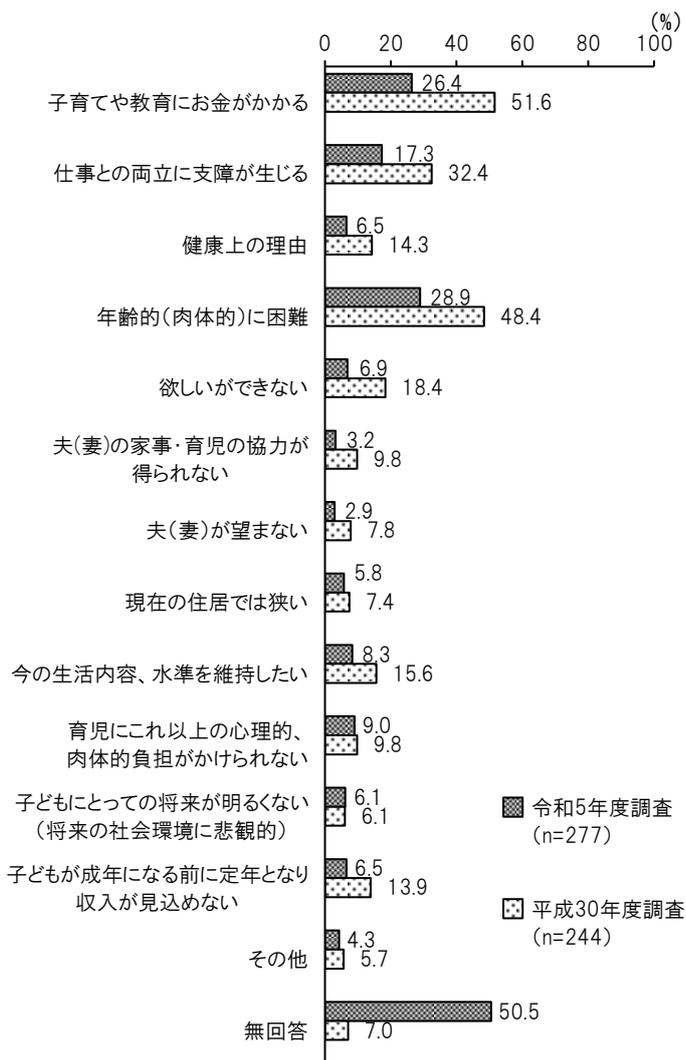
平成30年度調査と比較すると、「3人」の割合が減少しています。



問29 理想とするお子さんの人数を実現できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○。その他の場合はカッコ内に)

「年齢的(肉体的)に困難」の割合が28.9%と最も高く、次いで「子育てや教育にお金がかかる」の割合が26.4%、「仕事との両立に支障が生じる」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや教育にお金がかかる」、「仕事との両立に支障が生じる」、「年齢的(肉体的)に困難」等の割合が減少しています。

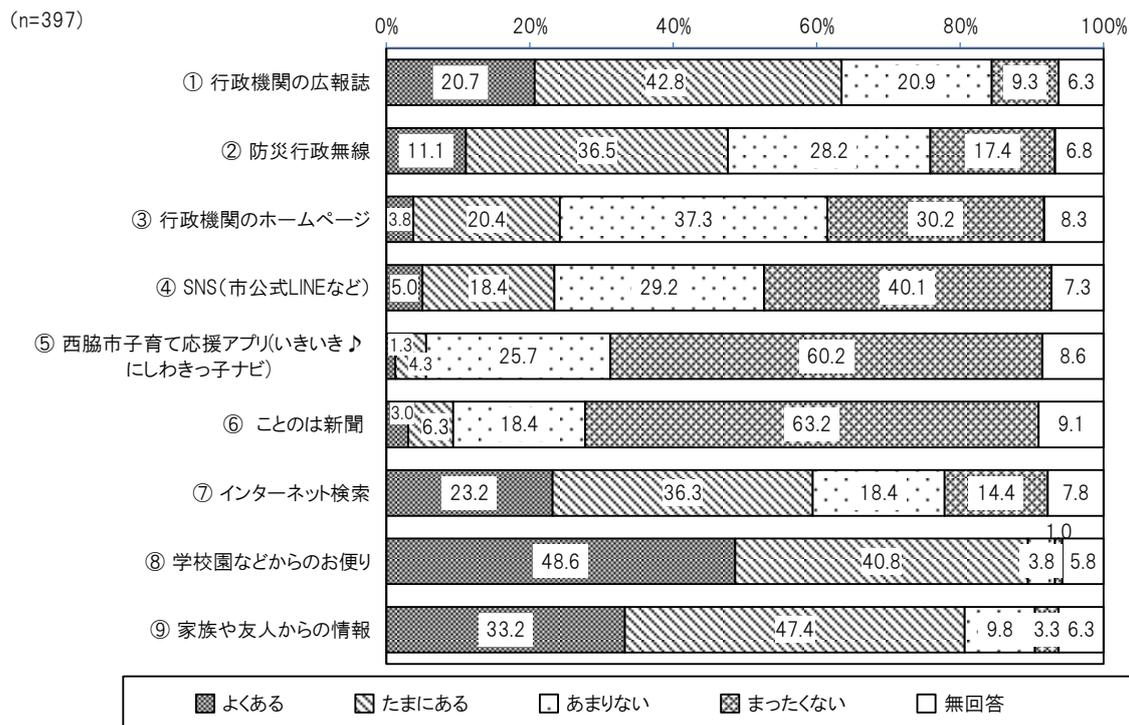


(13) 西脇市の今後の子育て施策について

問 30 子どもに関する施策等の情報を得るために以下のものをどの程度参考にしていますか。①～⑨それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』では「⑧学校園などからのお便り」、「⑨家族や友人からの情報」、「①行政機関の広報誌」の割合が高くなっています。

また、「あまりない」と「まったくない」を合わせた『ない』では、「⑤西脇市子育て応援アプリ(「いきいき♪にしわきっ子ナビ」)」、「⑥ことのは新聞」の割合が高くなっています。



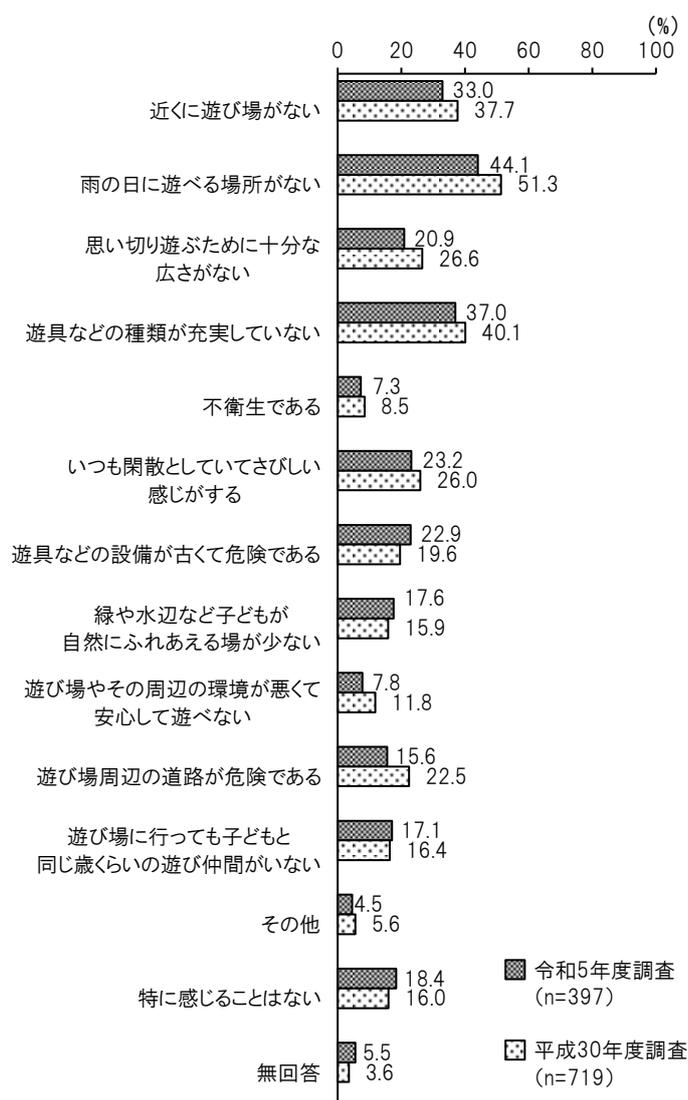
※1 子育て家庭を支援するため、モバイル端末やパソコンを利用した各種子育て支援情報(イベントや予防接種等)の配信を行う事業です

※2 子育て中の親子に向けた情報誌です。気軽に参加できる「つどい」や「広場事業」「児童館事業」の他、登録制の「西脇おやこ交流教室」のお知らせや子育てに役立つ情報を、毎月1回こどもプラザから発信しています。

問 31 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることに、あてはまるものを以下からお選びください。(〇はいくつでも)

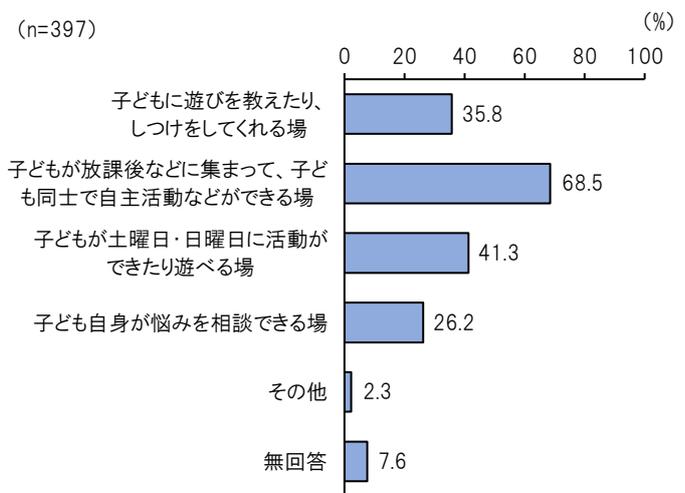
「雨の日に遊べる場所がない」の割合が44.1%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が37.0%、「近くに遊び場がない」の割合が33.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「雨の日に遊べる場所がない」、「遊び場周辺の道路が危険である」等の割合が減少しています。



問 32 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。（あてはまるものすべてに○

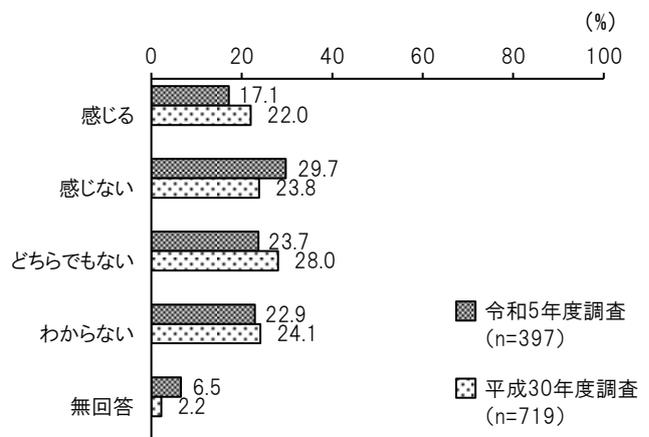
「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が68.5%と最も高く、次いで「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」の割合が41.3%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が35.8%となっています。



問 33 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。（○は1つ）

「感じない」の割合が29.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が23.7%、「わからない」の割合が22.9%となっています。

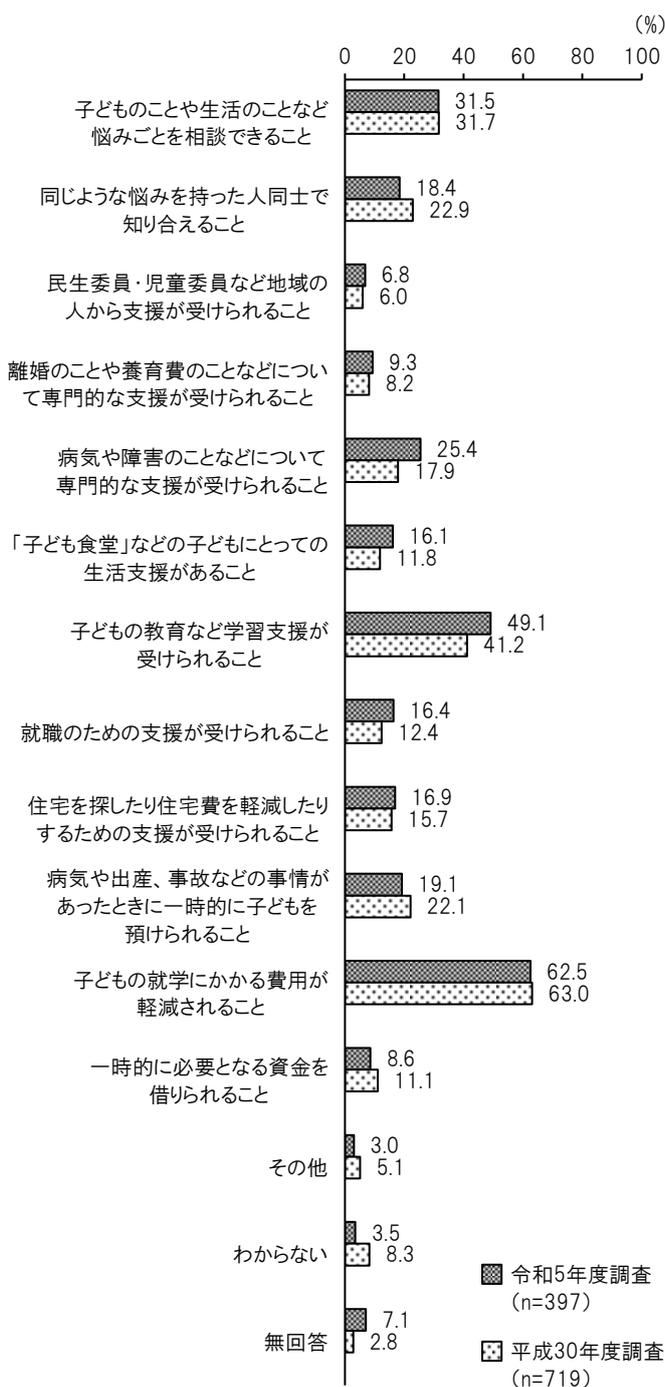
平成30年度調査と比較すると「感じない」の割合が増加しています。



問 34 あなたが現在または将来的に必要としていること、重要だと思う支援などはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

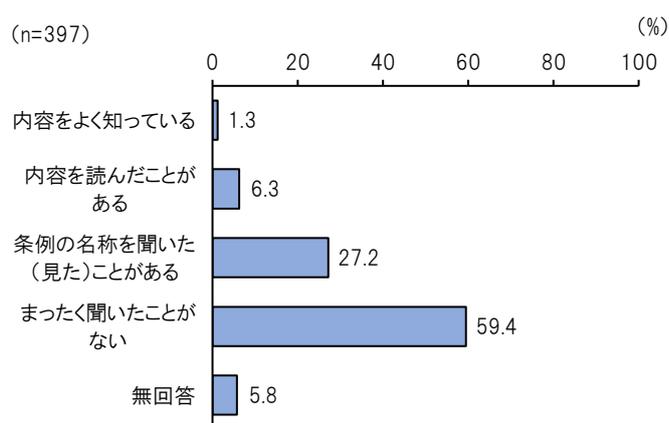
「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が62.5%と最も高く、次いで「子どもの教育など学習支援が受けられること」の割合が49.1%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が31.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると「子どもの教育など学習支援が受けられること」、「病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること」等の割合が増加しています。



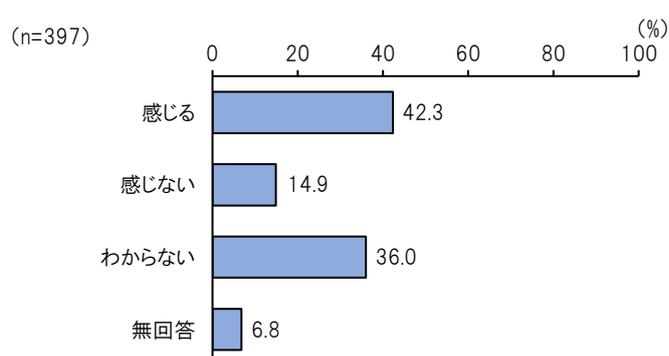
**問 35 「西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例」について、どの程度知っていますか。
(ひとつに○)**

「まったく聞いたことがない」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「条例の名称を聞いた(見た)ことがある」の割合が 27.2%、「内容を読んだことがある」の割合が 6.3%となっています。



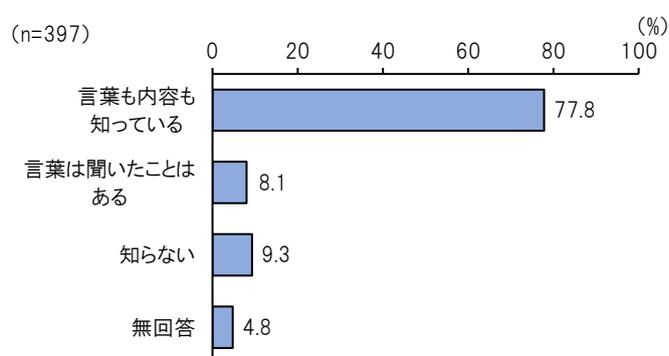
**問 36 あなたは、地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか。
(ひとつに○)**

「感じる」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 36.0%、「感じない」の割合が 14.9%となっています。



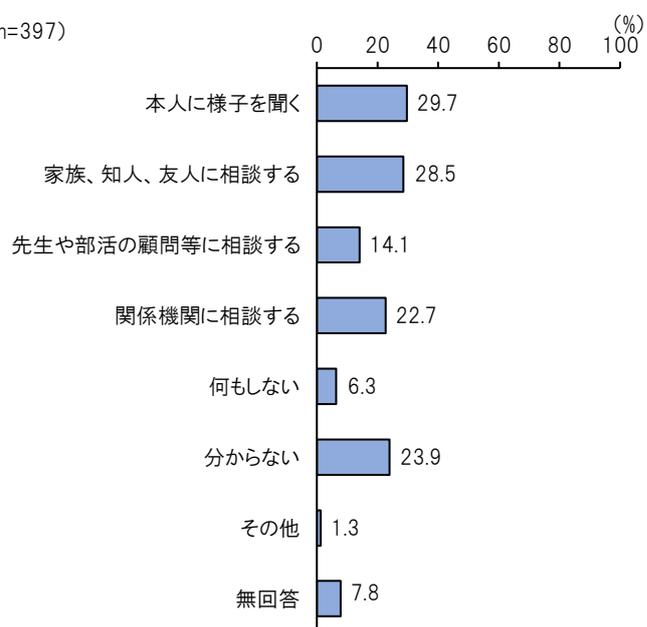
問 37 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(ひとつに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が 77.8%、「知らない」の割合が 9.3%、「言葉は聞いたことはある」の割合が 8.1%となっています。



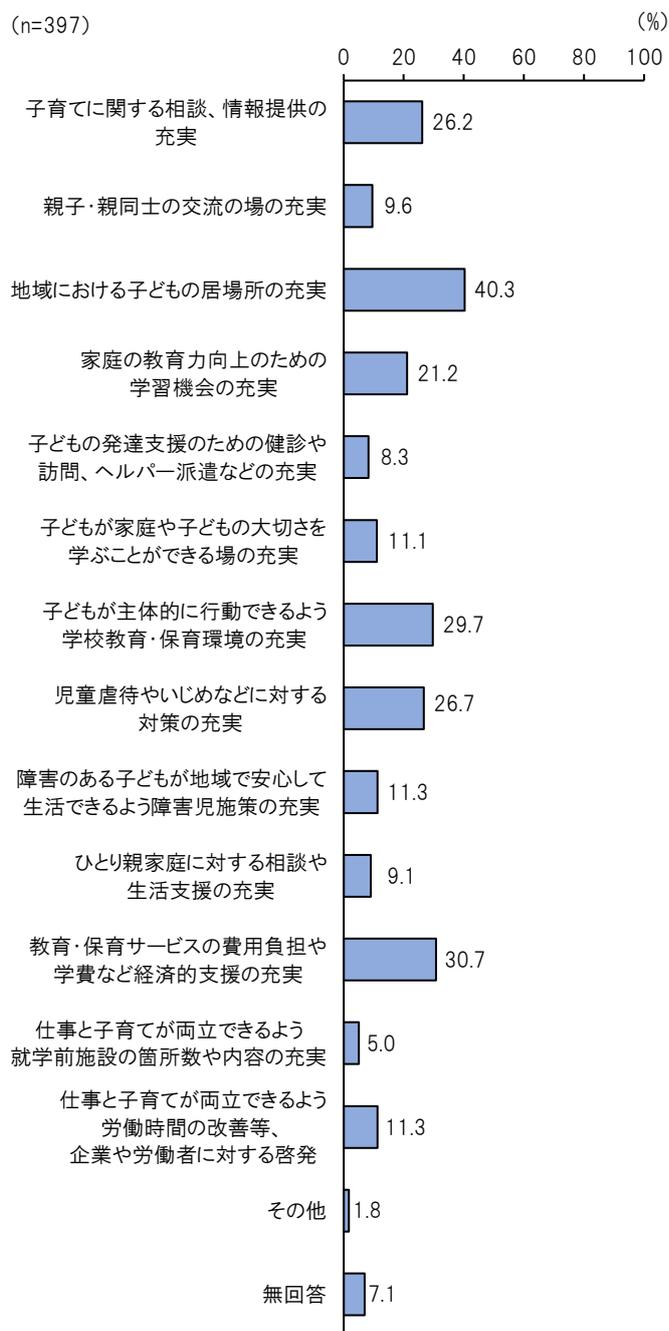
問38 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「本人に様子を聞く」の割合が 29.7%で最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が 28.5%、「分からない」の割合が 23.9%となっています。



問 39 西脇市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「地域における子どもの居場所の充実」の割合が40.3%で最も高く、次いで「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合30.7%、「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が29.7%となっています。



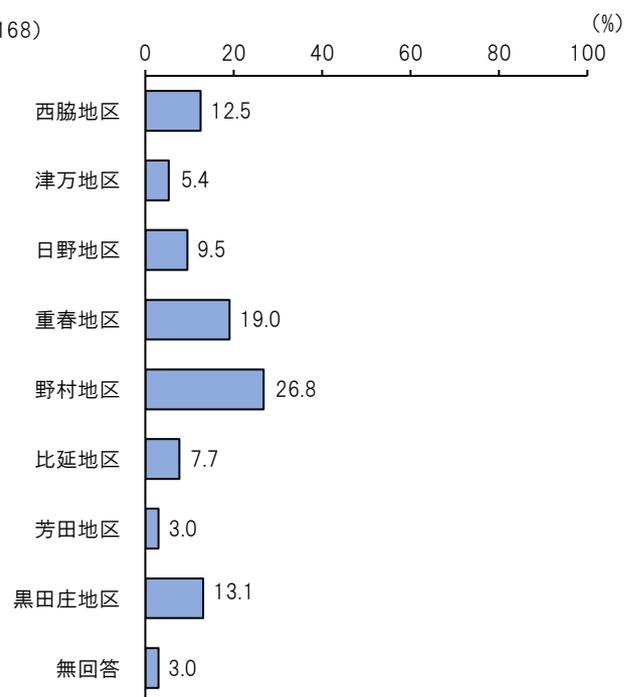
3 中学生の保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区についてお答えください。(ひとつに〇)

「野村地区」の割合が26.8%と最も高く、
次いで「重春地区」の割合が19.0%、「黒田
庄地区」の割合が13.1%となっています。

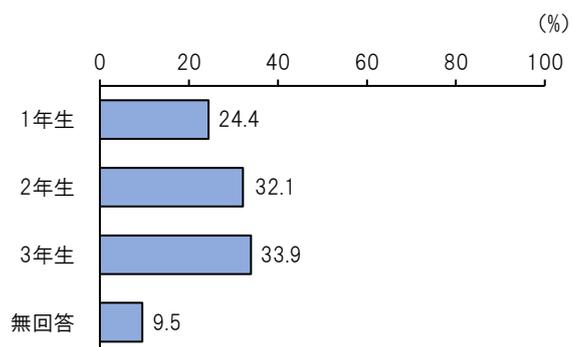
(n=168)



(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

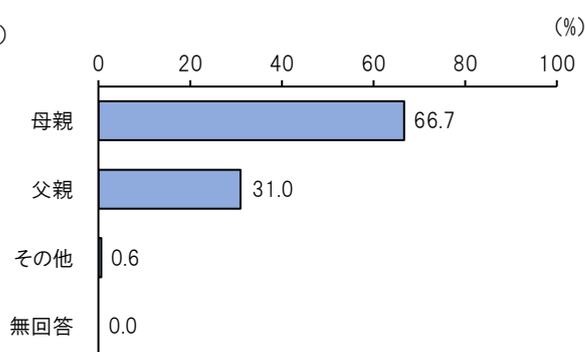
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

「3年生」の割合が33.9%と最も高く、次いで「2年生」の割合が32.1%、「1年生」の割合が24.4%となっています。(n=168)



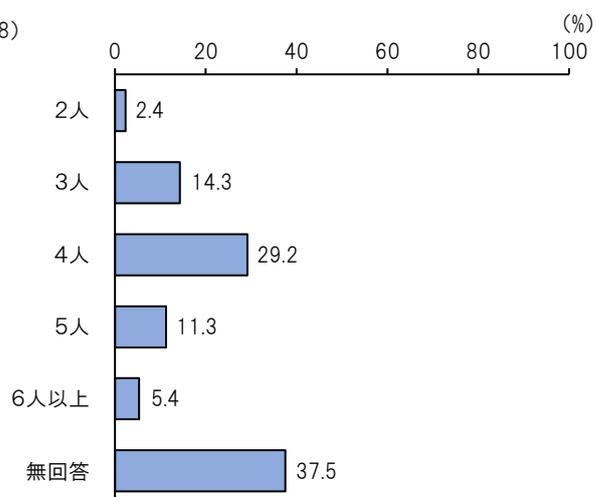
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに〇)

「母親」の割合が66.7%、「父親」の割合が31.0%となっています。(n=168)



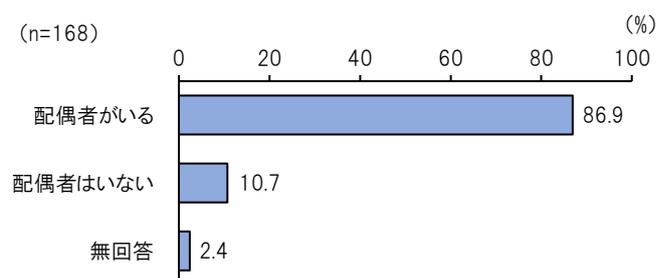
同居の家族の人数

「4人」の割合が29.2%と最も高くなっています。(n=168)



問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(ひとつに〇)

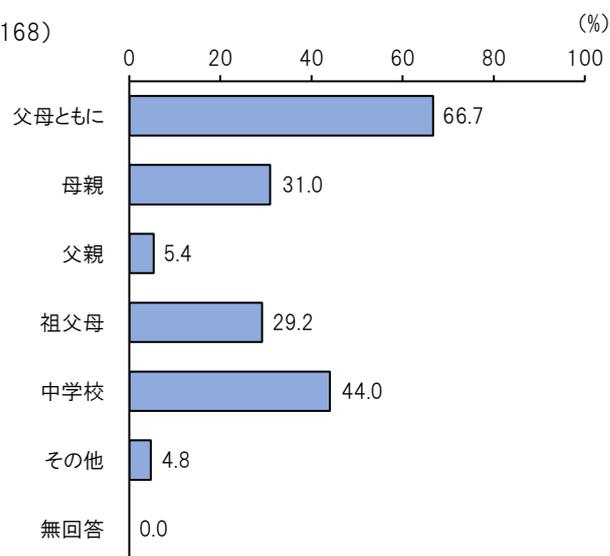
「配偶者がいる」の割合が86.9%、「配偶者はいない」の割合が10.7%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

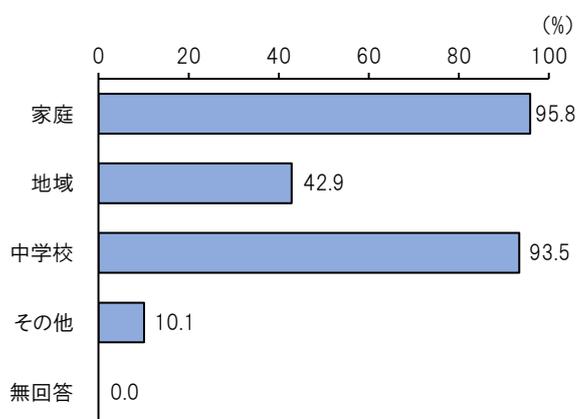
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（お子さんからみた関係で、あてはまるものすべてに○）

「父母ともに」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「中学校」の割合が 44.0%、「母親」の割合が 31.0%となっています。



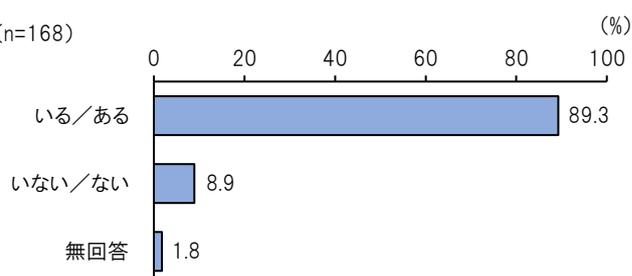
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境すべてについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「家庭」の割合が 95.8%と最も高く、次いで「中学校」の割合が 93.5%、「地域」の割合が 42.9%となっています。



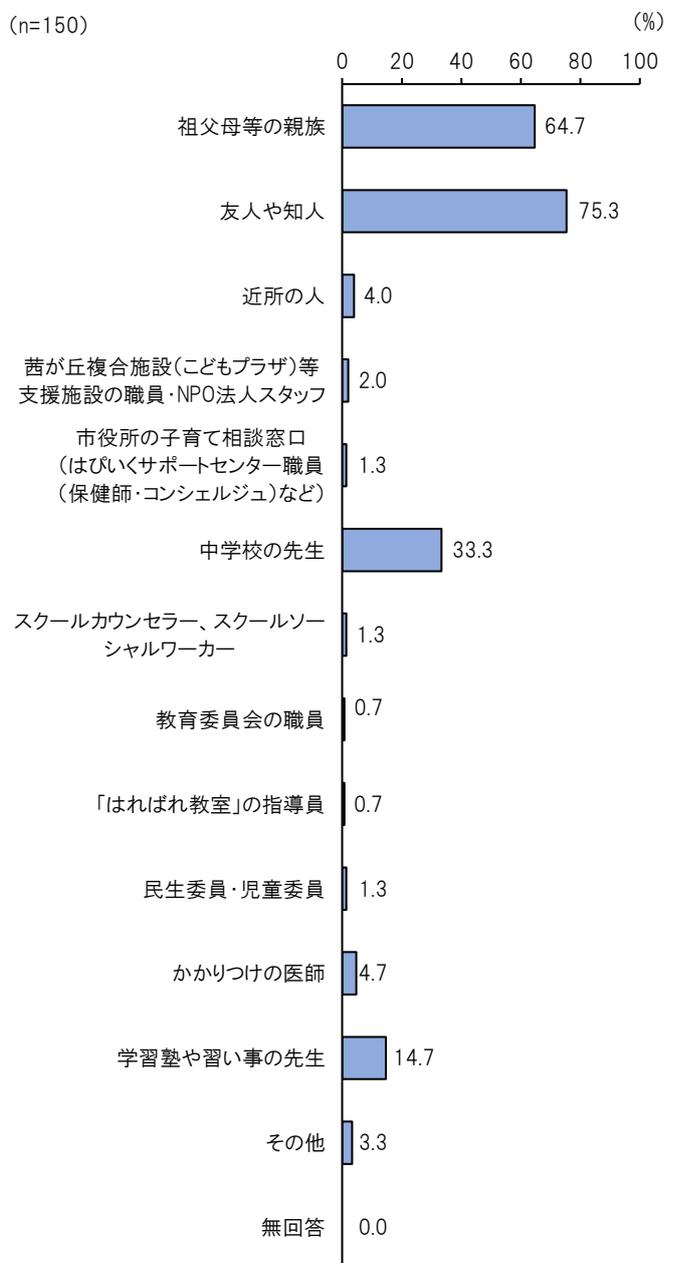
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（ひとつに○）

「いる／ある」の割合が 89.3%、「いない／ない」の割合が 8.9%となっています。



問7-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

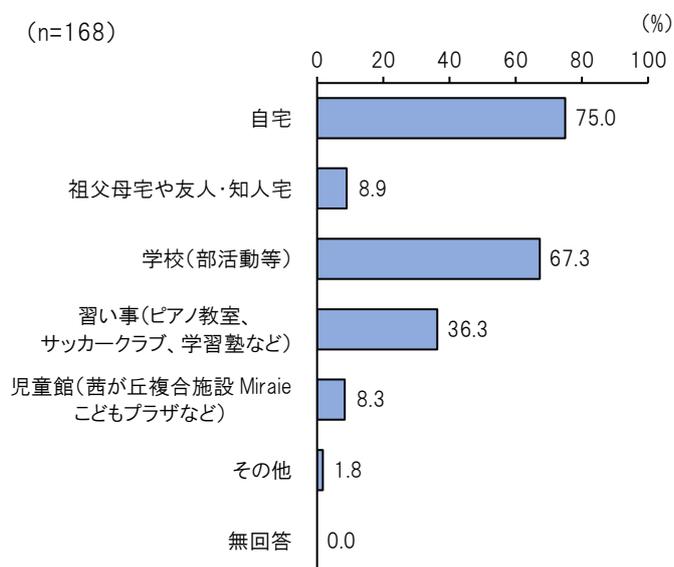
「友人や知人」の割合が75.3%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が64.7%、「中学校の先生」の割合が33.3%となっています。



(4) 放課後の過ごし方について

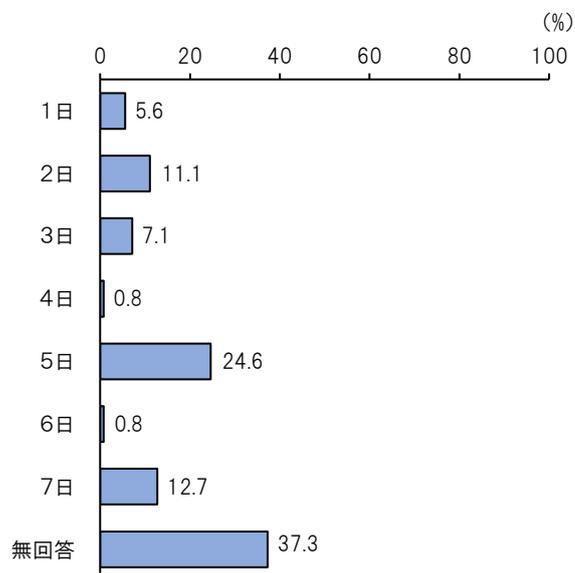
問9 放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごしていましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は()もご記入ください。

「自宅」の割合が75.0%と最も高く、次いで「学校(部活動等)」の割合が67.3%「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が36.3%となっています。



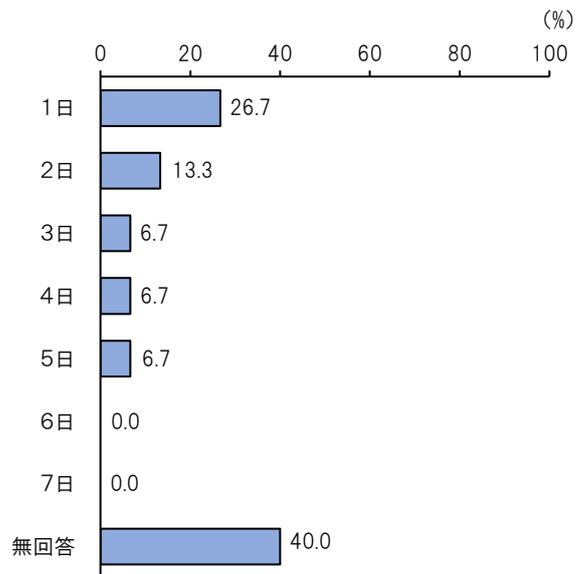
ア 自宅の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が11.1%となっています。



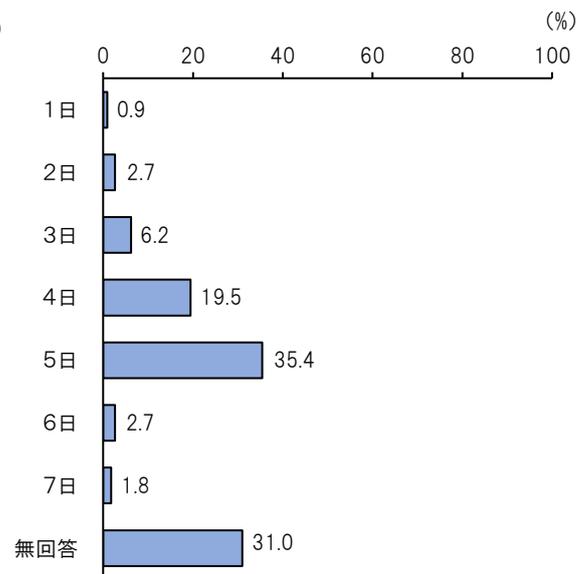
イ 祖父母宅や友人・知人宅の週当たりの利用希望日数

「1日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.3%となっています。(n=15)



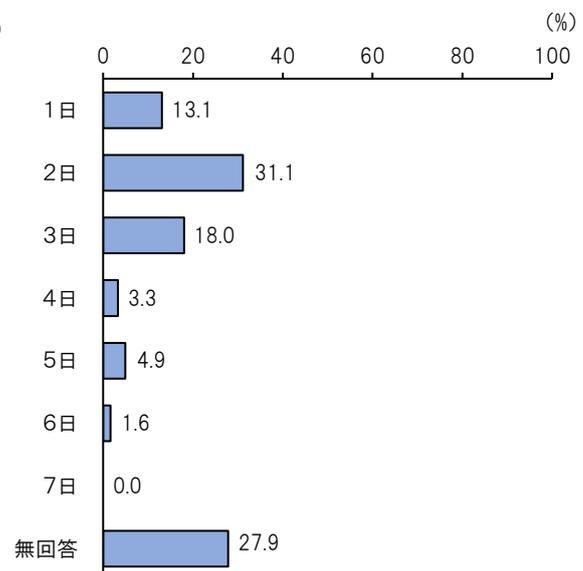
ウ 学校（部活動等）の週当たりの利用希望日数

「5日」の割合が35.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が19.5%となっています。(n=113)



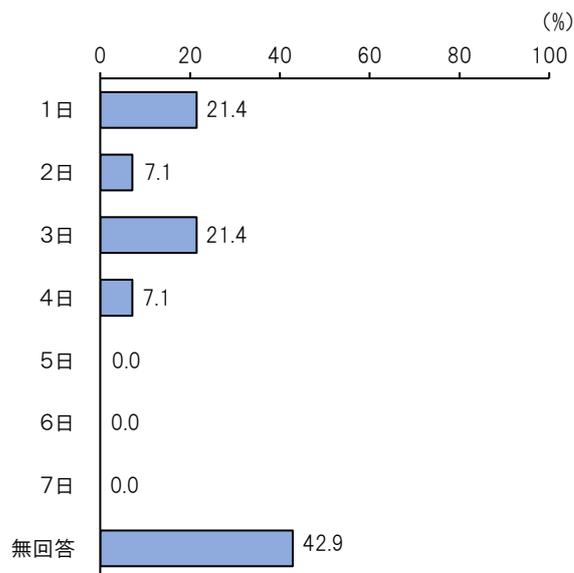
エ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の週当たりの利用希望日数

「2日」の割合が31.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.0%、「1日」の割合が13.1%となっています。(n=61)



オ 児童館（茜が丘複合施設 Miraie こどもプラザなど）の利用希望日数

「1日」、「3日」の割合が21.4%と最も高
くなっています。（n=14）

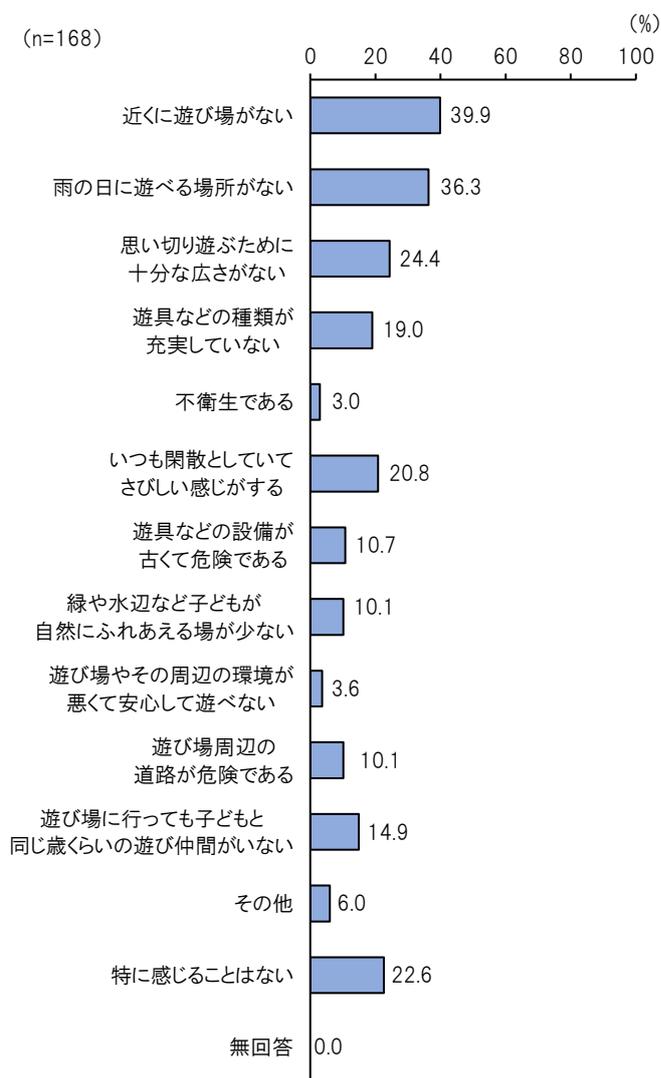


カ その他の週当たりの利用希望日数

「2日」、「3日」、「5日」が1件となっています。

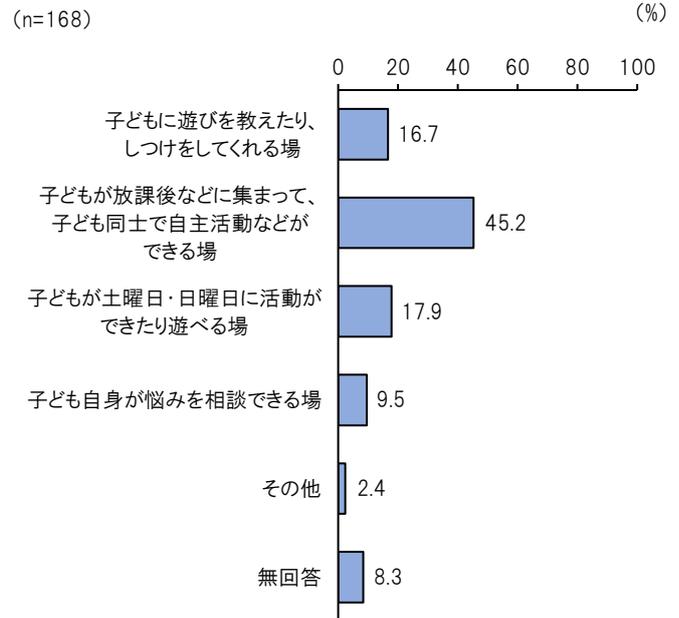
問 10 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることに、あてはまるものを以下からお選びください。(〇はいくつでも)

「近くに遊び場がない」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 36.3%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が 24.4%となっています。



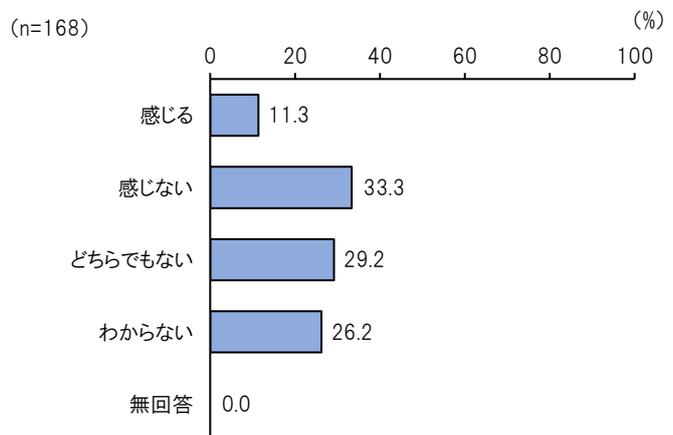
問 11 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が45.2%と最も高く、次いで「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」の割合が17.9%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が16.7%となっています。



問 12 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。(ひとつに○)

「感じない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が29.2%、「わからない」の割合が26.2%となっています。

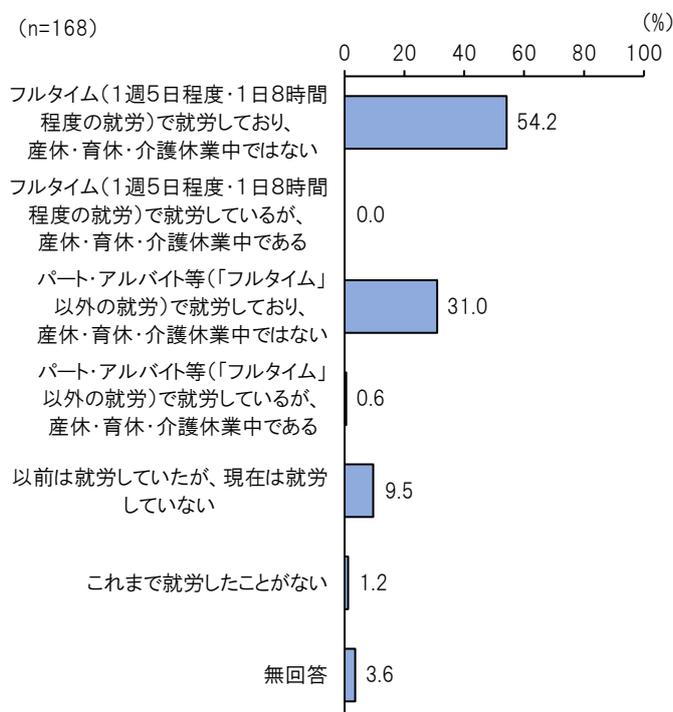


(5) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（母親・父親それぞれひとつに○）

(1) 母親

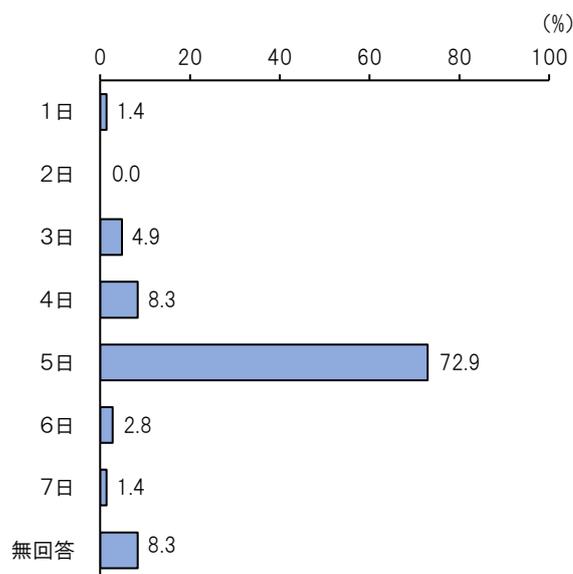
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が54.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が31.0%となっています。



(1) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

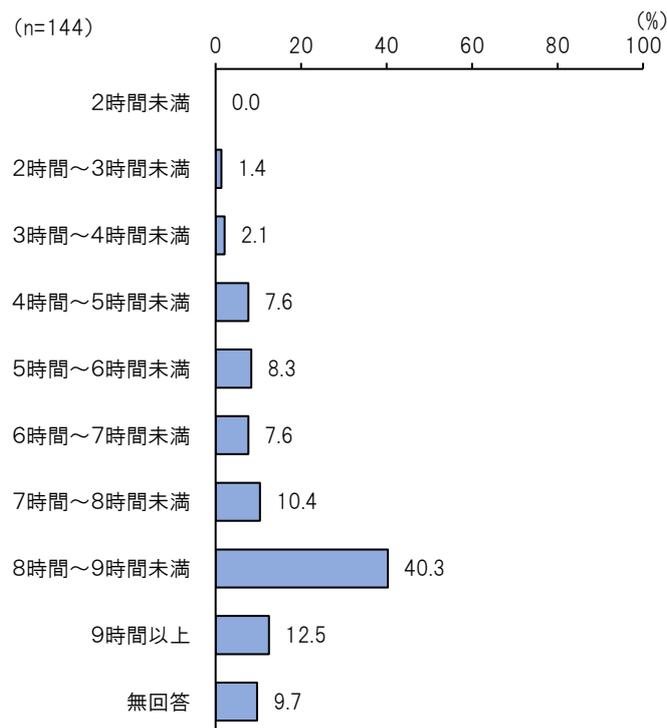
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が72.9%と最も高くなっています。(n=144)



イ 1日当たり就労時間

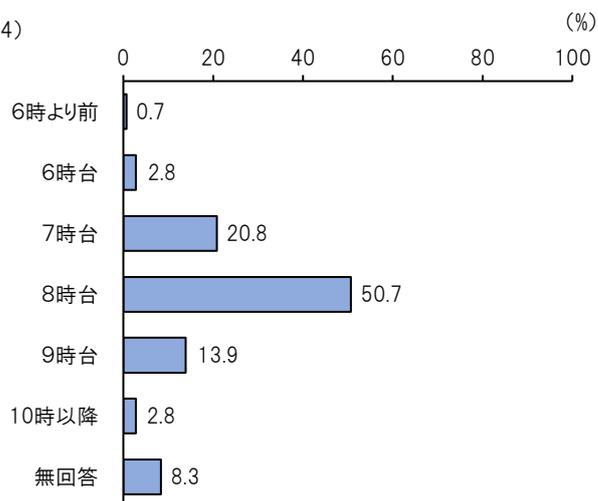
「8時間～9時間未満」の割合が40.3% (n=144)と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が10.4%となっています。



(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。

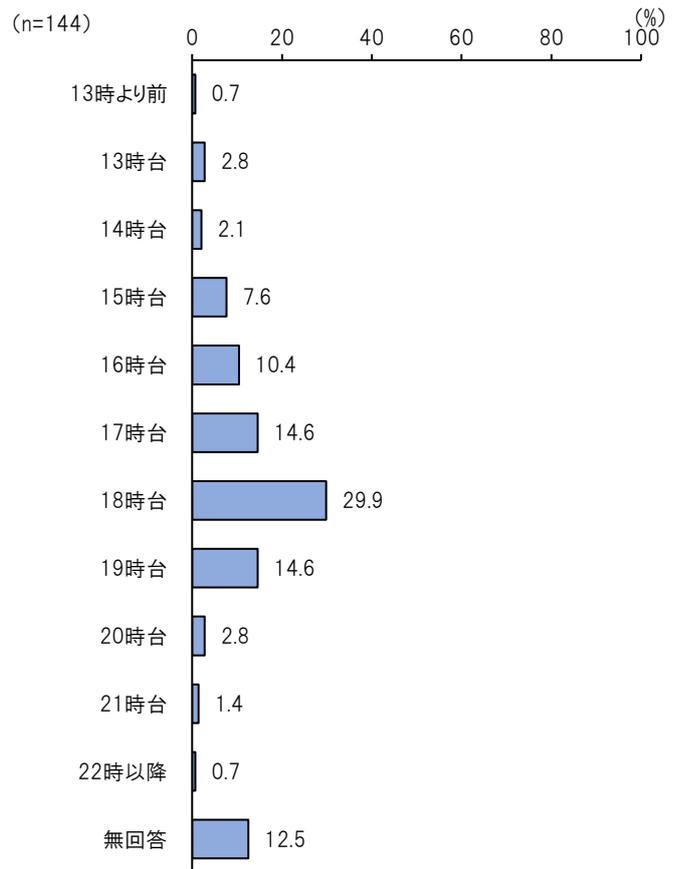
ア 家を出る時刻

「8時台」の割合が50.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が20.8%、「9時台」の割合が13.9%となっています。



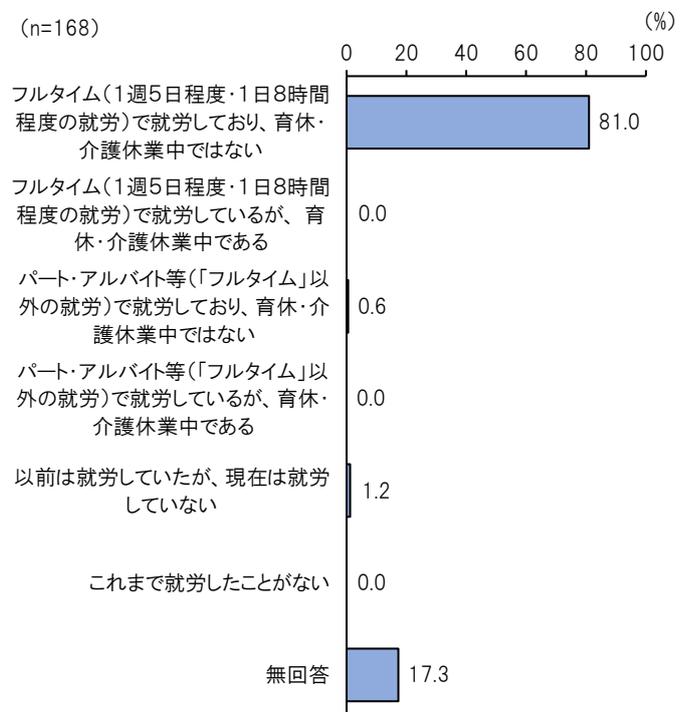
イ 帰宅時刻

「18 時台」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「17 時台」、「19 時台」の割合が 14.6%、「16 時台」の割合が 10.4%となっています。



(2) 父親

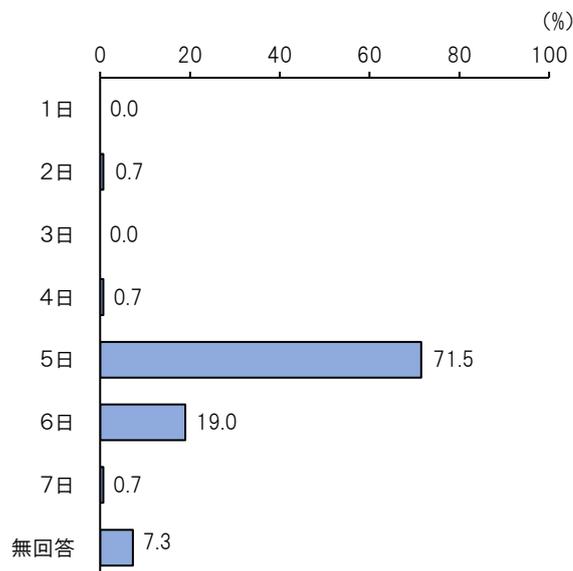
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 81.0%と最も高くなっています。



(2) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

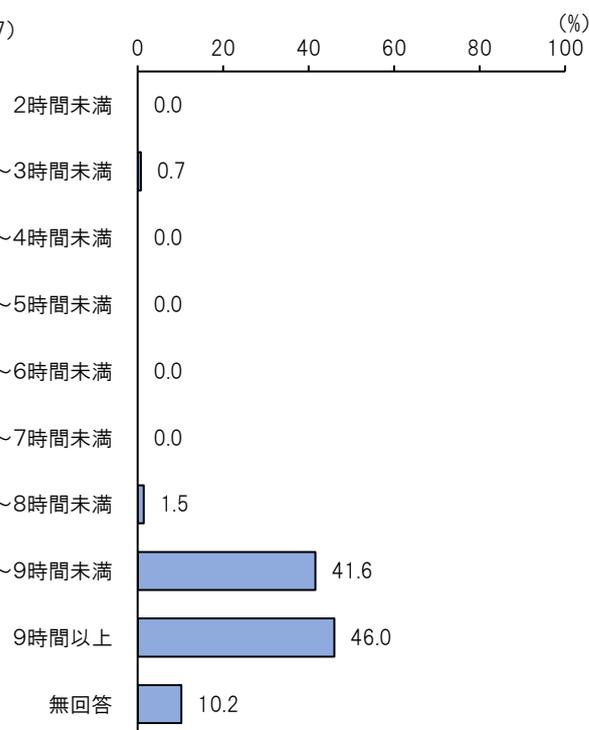
ア 1週当たり就労日数

「5日」の割合が71.5%と最も高く、次いで「6日」の割合が19.0%となっています。(n=137)



イ 1日当たり就労時間

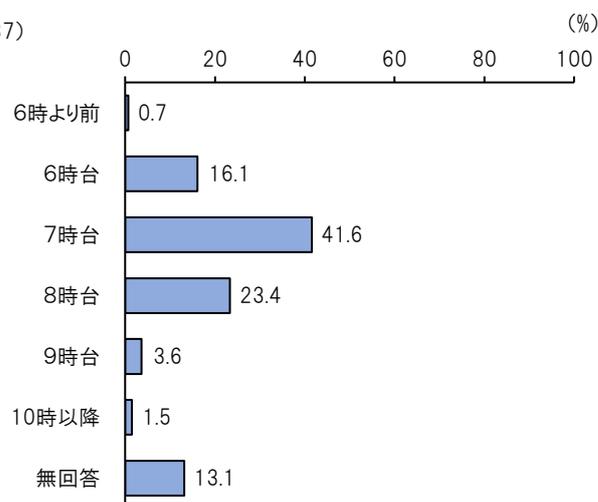
「9時間以上」の割合が46.0%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が41.6%となっています。(n=137)



(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。

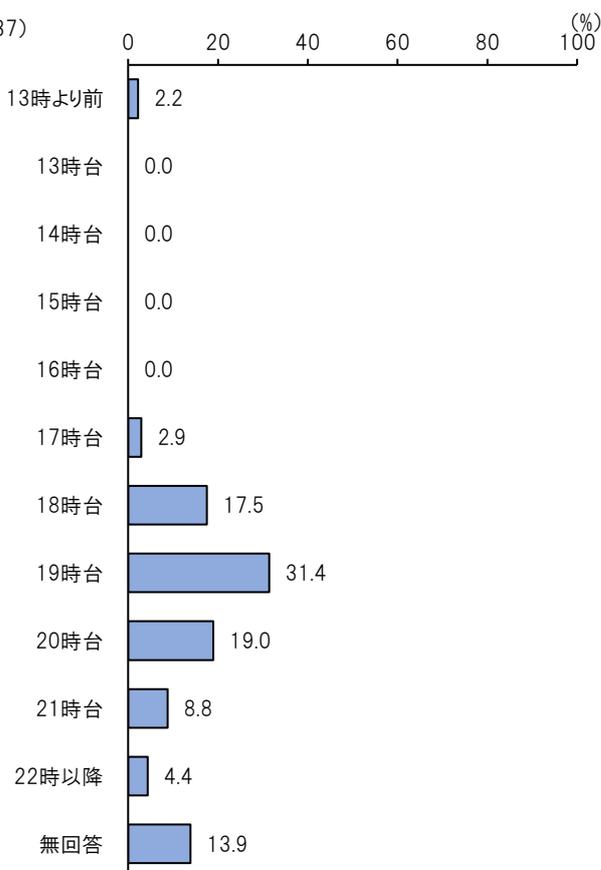
ア 家を出る時刻

「7時台」の割合が41.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.4%、「6時台」の割合が16.1%となっています。



イ 帰宅時刻

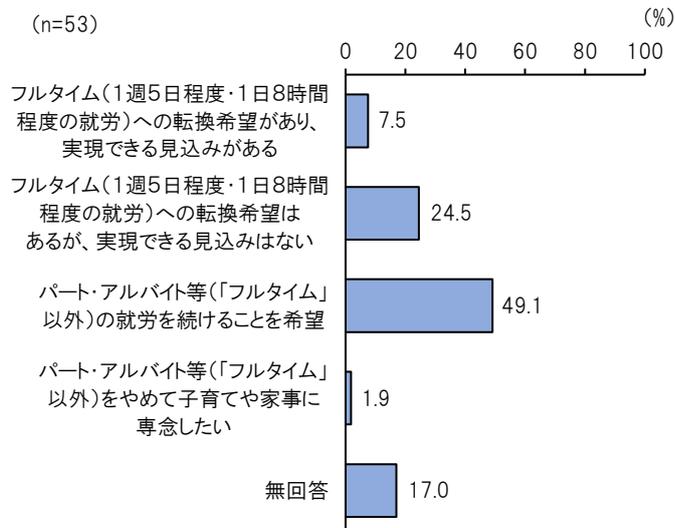
「19時台」の割合が31.4%と最も高く、次いで「20時台」の割合が19.0%、「18時台」の割合が17.5%となっています。



問 14 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親・父親それぞれひとつに○)

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が49.1%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.5%となっています。



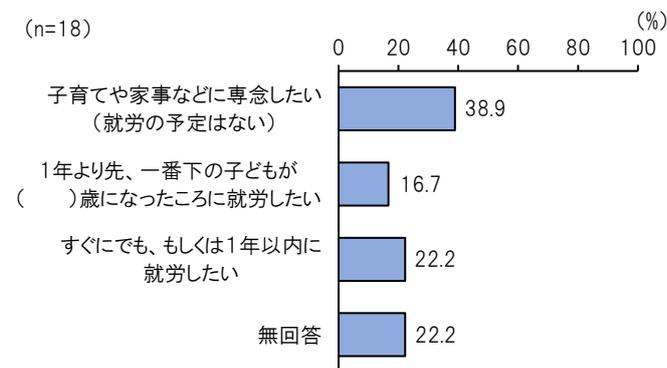
(2) 父親

有効回答がありませんでした。

問 15 就労したいという希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。)

(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が38.9%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が22.2%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」の割合が16.7%となっています。



ア 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
「13歳以上」が1件となっています。

イ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が0件、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が4件となっています。

イ-①希望する1週当たり勤務日数

「3日」、「4日」が1件となっています。

イ-②希望する1日当たり勤務時間

「5時間～6時間未満」、が2件となっています。

(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

ア 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
有効回答がありませんでした。

イ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
有効回答がありませんでした。

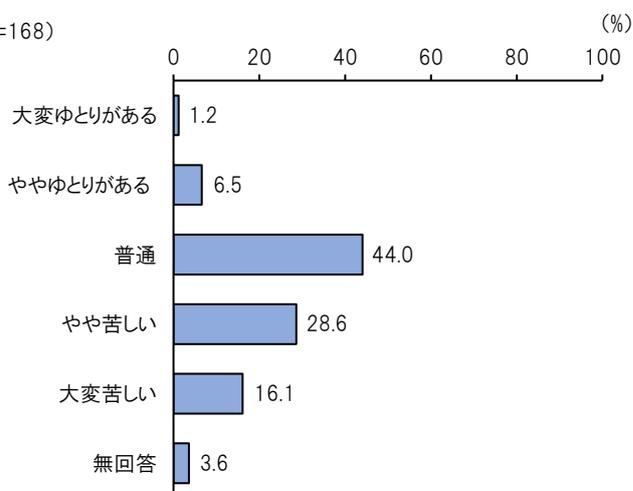
イ-①希望する1週当たり勤務日数
有効回答がありませんでした。

イ-②希望する1日当たり勤務時間
有効回答がありませんでした。

(6) 現在の暮らしについて

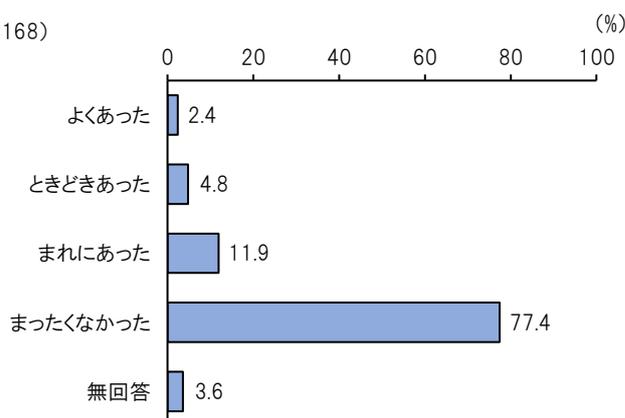
問 16 現在の暮らしの経済状況をどのように感じていますか。(ひとつに○)

「普通」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 28.6%となっています。(n=168)



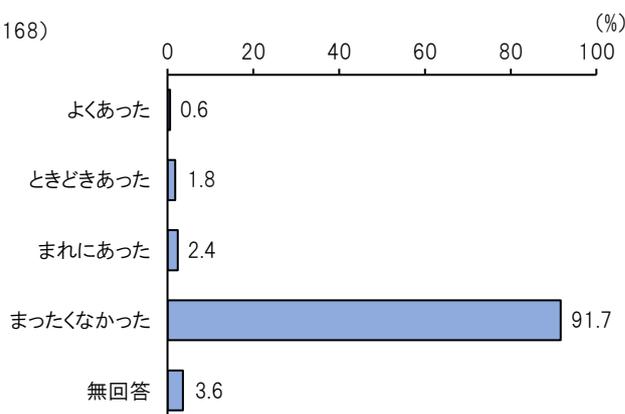
問 17 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(ひとつに○)

「まったくなかった」の割合が 77.4%と最も高くなっています。(n=168)



問 18 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、水道又は電気料金が払えないことがありましたか。(ひとつに○)

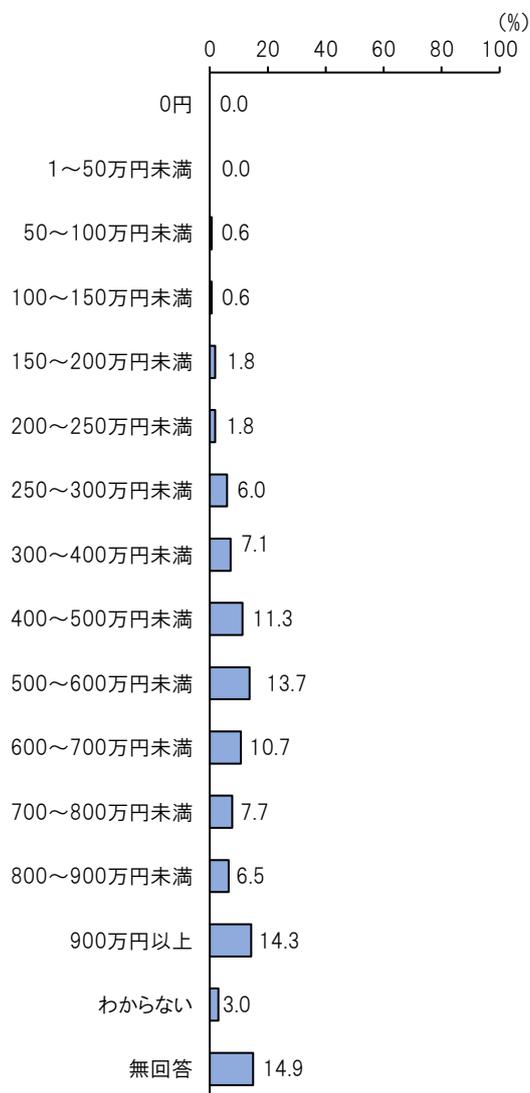
「まったくなかった」の割合が 91.7%と最も高くなっています。(n=168)



(7) 収入について

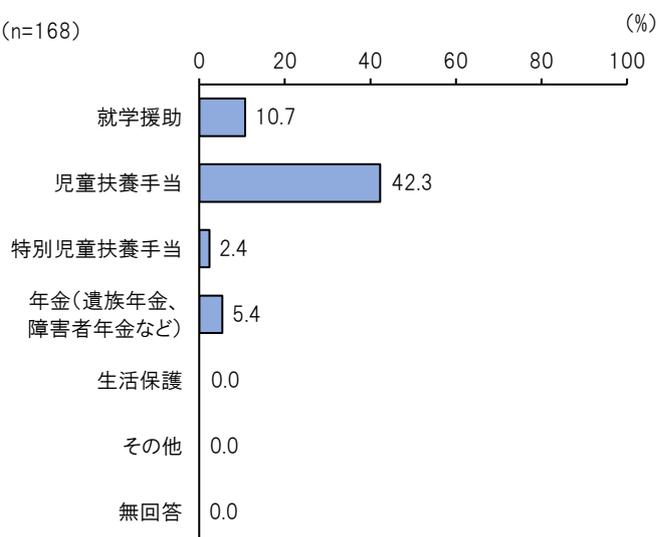
問 19 お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯全体の収入（年間のボーナス含む手取り額）」をお答えください。（ひとつに○）

「900万円以上」の割合が14.3%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が13.7%、「400～500万円未満」の割合が11.3%となっています。



問 20 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

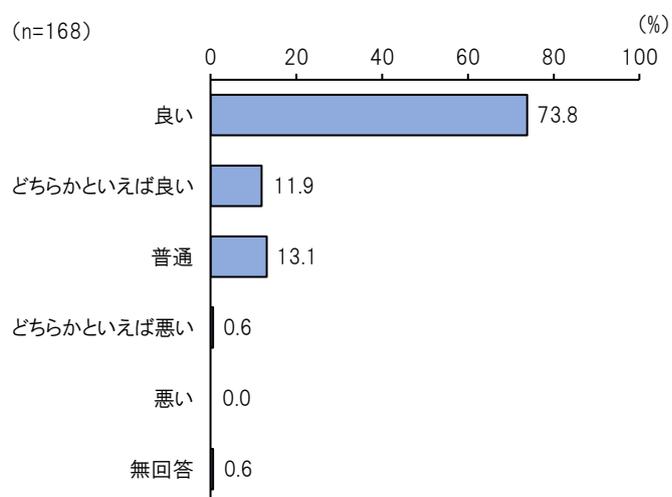
「児童扶養手当」の割合が42.3%と最も高く、次いで「就学援助」の割合が10.7%となっています。



(8) お子さんのことについて

問 21 このアンケートの調査対象のお子さんの健康状態についてお聞きします。
(ひとつに〇)

「良い」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「普通」の割合が 13.1%となっています。(n=168)

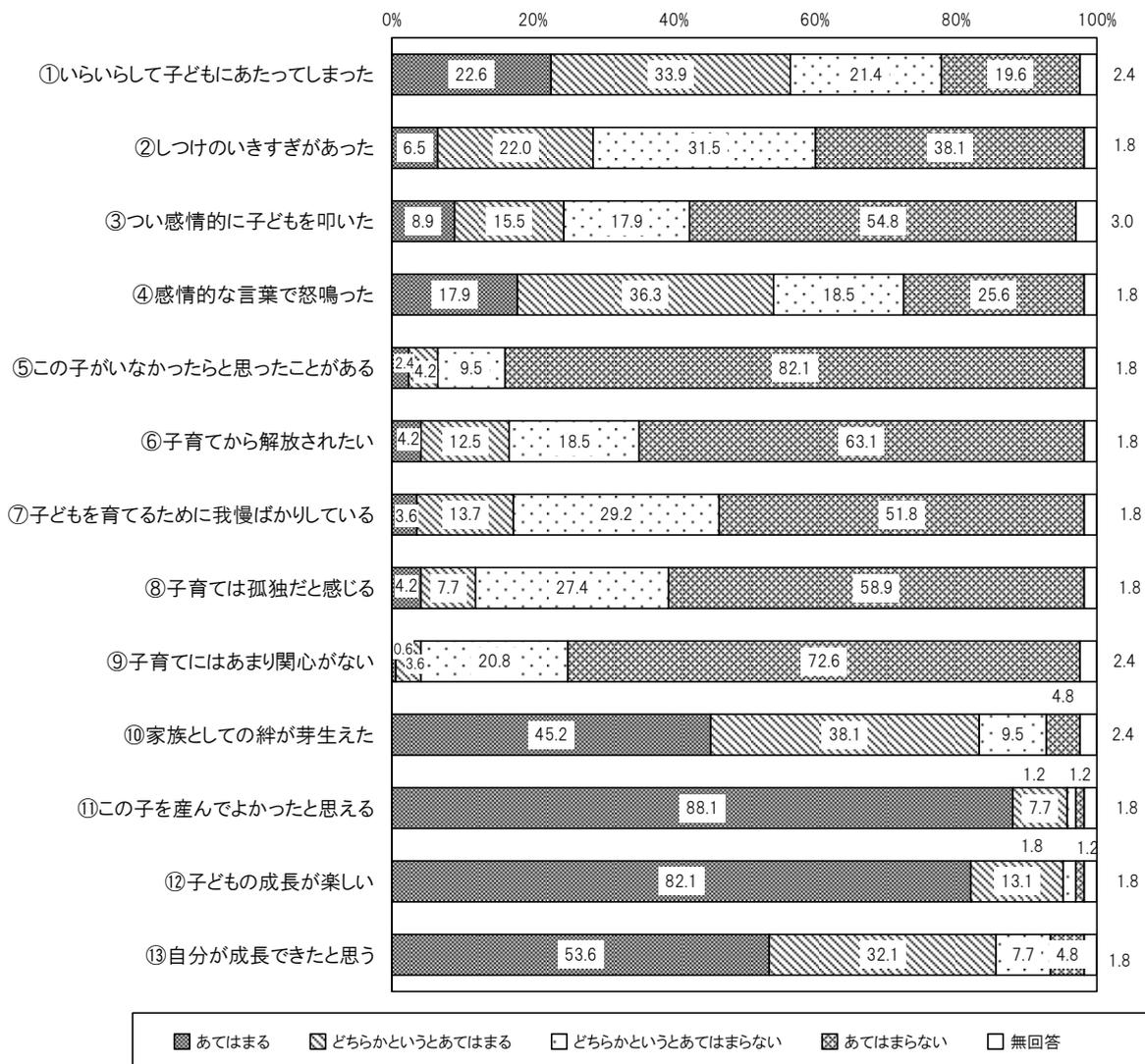


問 22 これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。(それぞれについて、ひとつに○。)

子育ての中で思ったりしたことをみると、「⑪この子を産んでよかったと思える」、「⑫子どもの成長が楽しい」で、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」を合わせた『あてはまる』の割合が高くなっています。

また、「⑨子育てにはあまり関心がない」で「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』の割合が高くなっています。

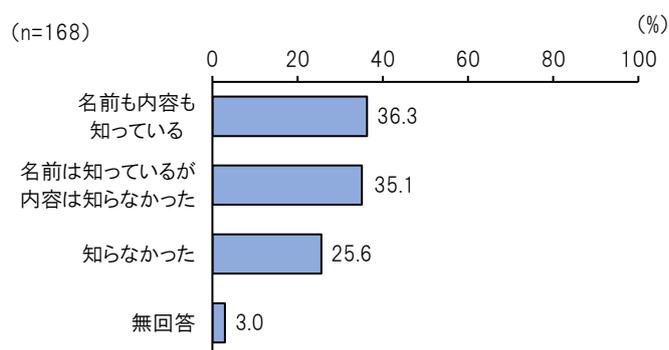
(n=168)



(9) 子どもの権利について

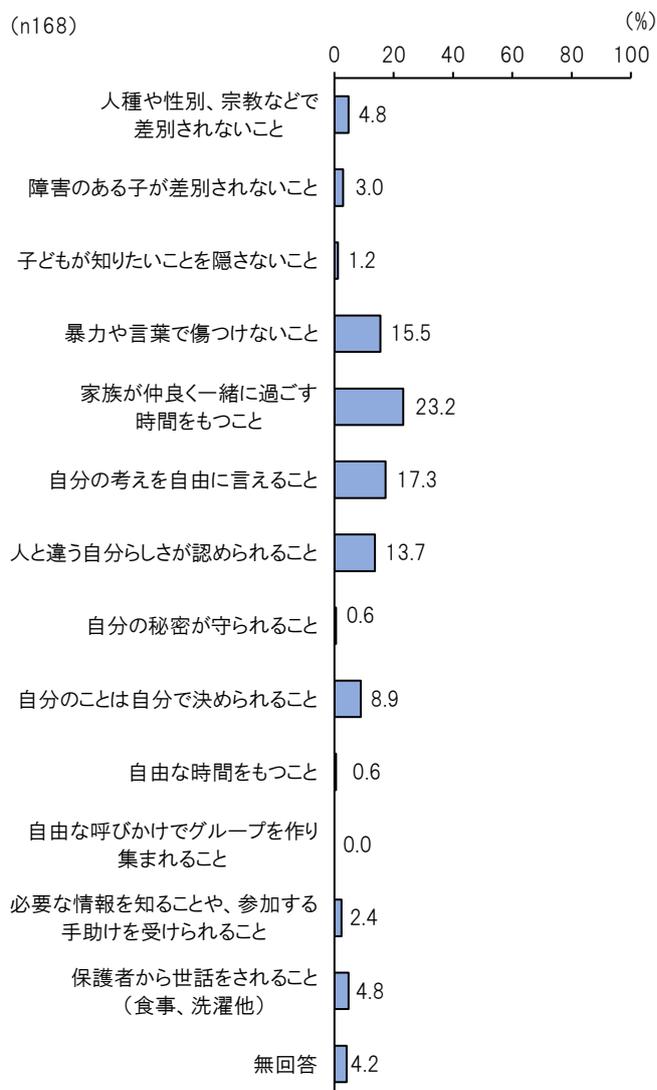
問 23 あなたは、『子どもの権利』を知っていますか。(ひとつに○)

「名前も内容も知っている」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らなかった」が 35.1%、「知らなかった」が 25.6%となっています。



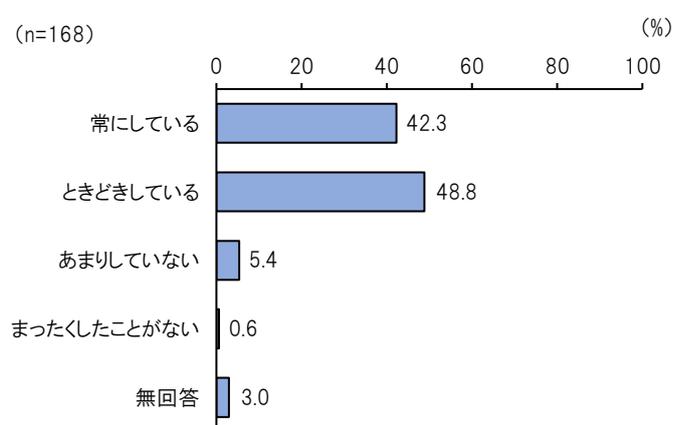
問 24 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(ひとつに○)

「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が 17.3%、「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 15.5%となっています。



問 25 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識したことはありますか。(ひとつに○)

「ときどきしている」の割合が 48.8.% と最も高く、次いで「常にしている」の割合が 42.3% となっています。(n=168)

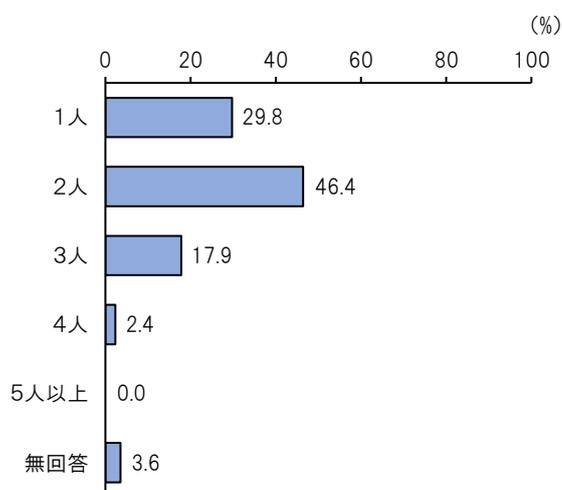


(10) 今後の出産に関する意向

問 26 現在のお子さんの人数、今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を教えてください。(それぞれの区分ごとに、人数を記入してください。)

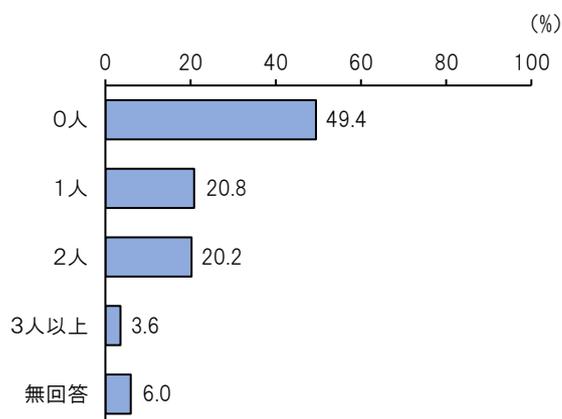
ア 現在のお子さんの人数

「2人」の割合が 46.4% と最も高く、次いで「1人」の割合が 29.8%、「3人」の割合が 17.9% となっています。(n=168)



イ 今後の出産予定の人数

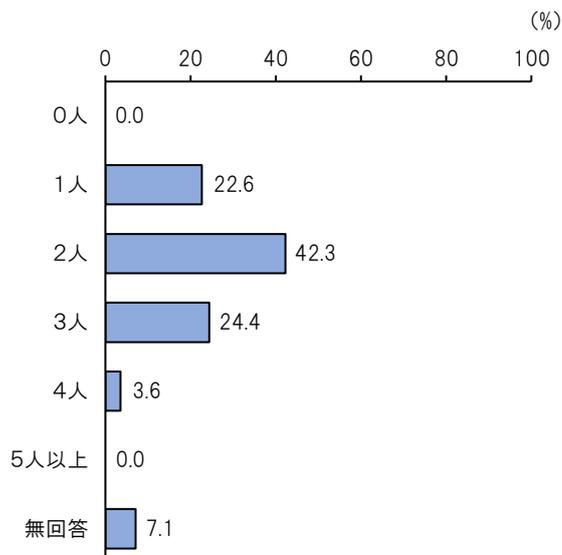
「0人」の割合が 49.4% と最も高くなっています。(n=168)



ウ 理想とするお子さんの人数

「2人」の割合が42.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が24.4%、「1人」の割合が22.6%となっています。

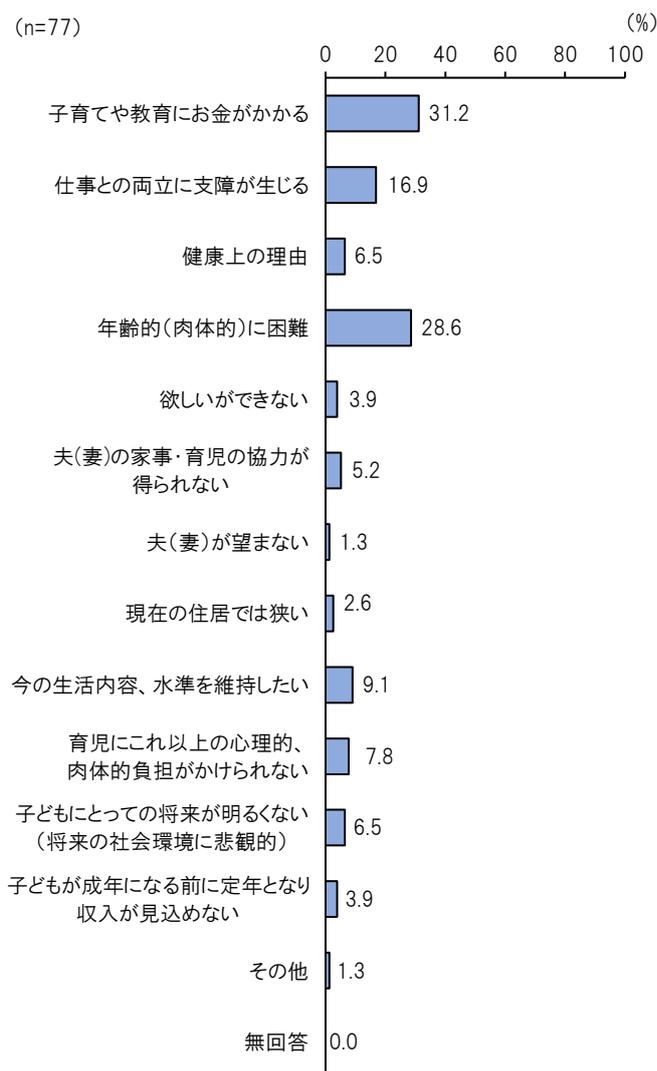
(n=168)



**問 27 理想とするお子さんの人数を実現できない理由はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)**

「子育てや教育にお金がかかる」の割合が31.2%と最も高く、次いで「年齢的(肉体的)に困難」の割合が28.6%、「仕事との両立に支障が生じる」の割合が16.9%となっています。

(n=77)

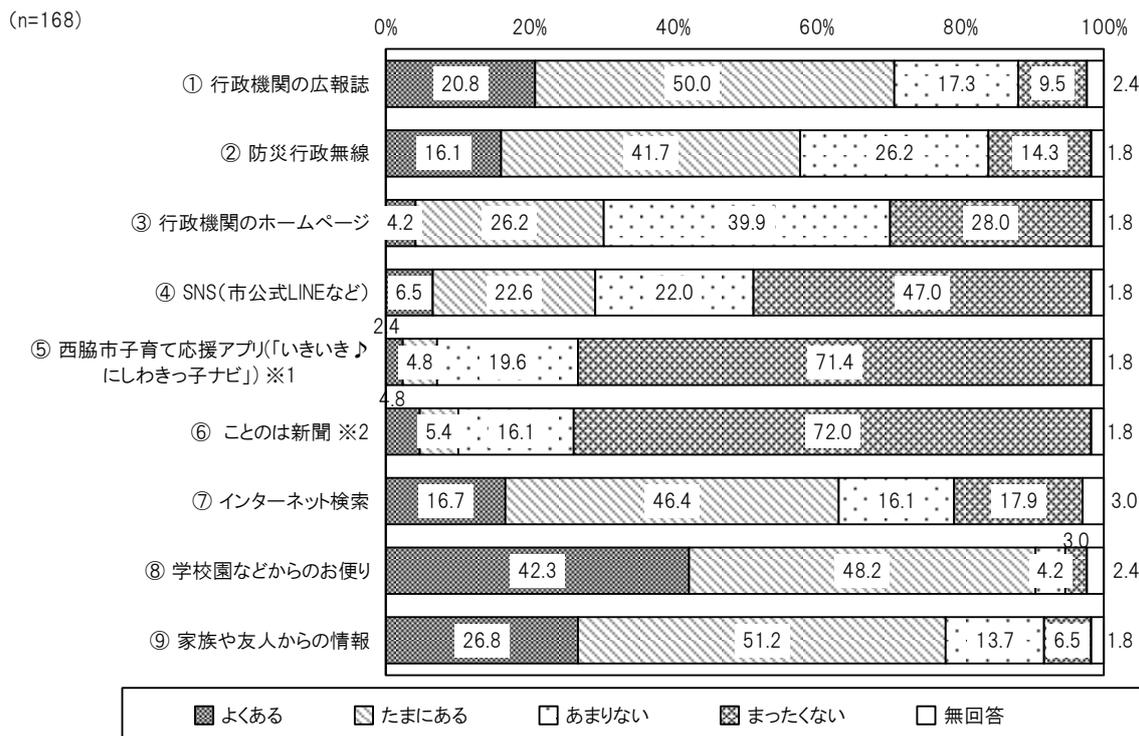


(11) 西脇市の今後の子育て施策について

問 28 子どもに関する施策等の情報を得るために以下のものをどの程度参考にしてますか。①～⑨それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』では「⑧学校園などからのお便り」、「⑨家族や友人からの情報」、「①行政機関の広報誌」の割合が高くなっています。

また、「あまりない」と「まったくない」を合わせた『ない』では、「⑤西脇市子育て応援アプリ(「いきいき♪にしわきっ子ナビ」)」、「⑥ことのは新聞」の割合が高くなっています。

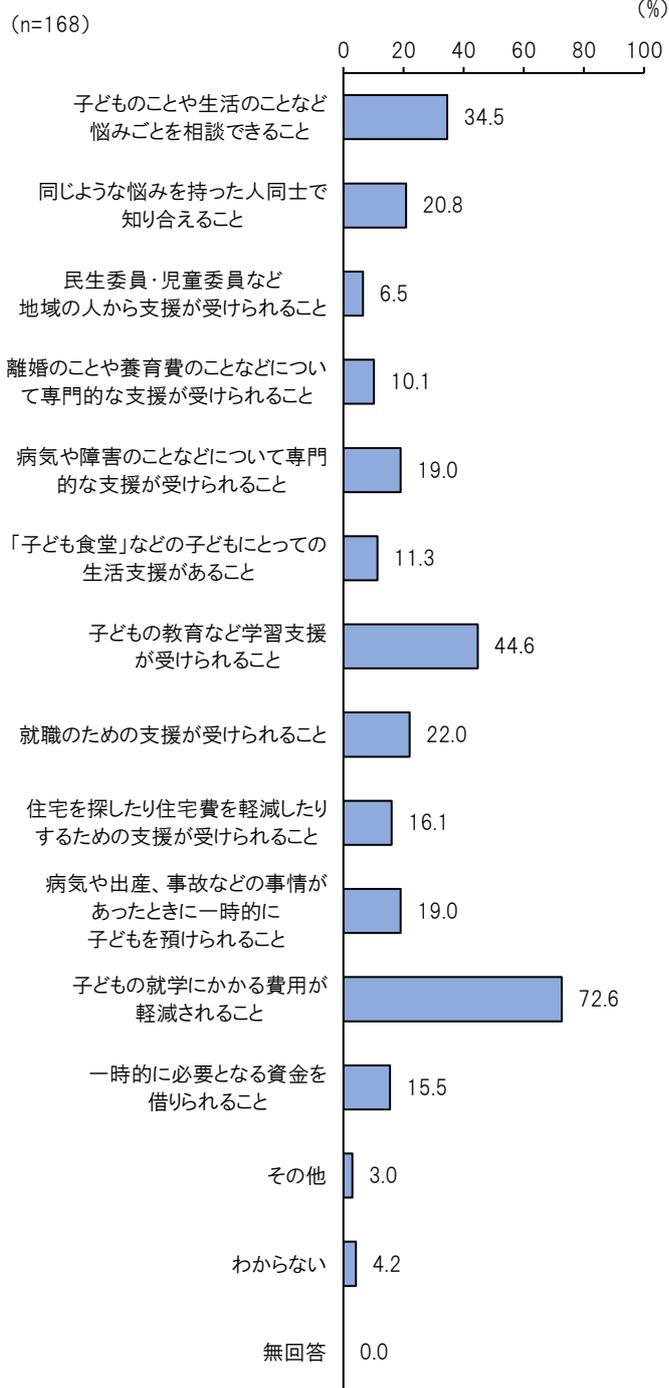


※1 子育て家庭を支援するため、モバイル端末やパソコンを利用した各種子育て支援情報(イベントや予防接種等)の配信を行う事業です

※2 子育て中の親子に向けた情報誌です。気軽に参加できる「つどい」や「広場事業」「児童館事業」の他、登録制の「西脇おやこ交流教室」のお知らせや子育てに役立つ情報を、毎月1回こどもプラザから発信しています。

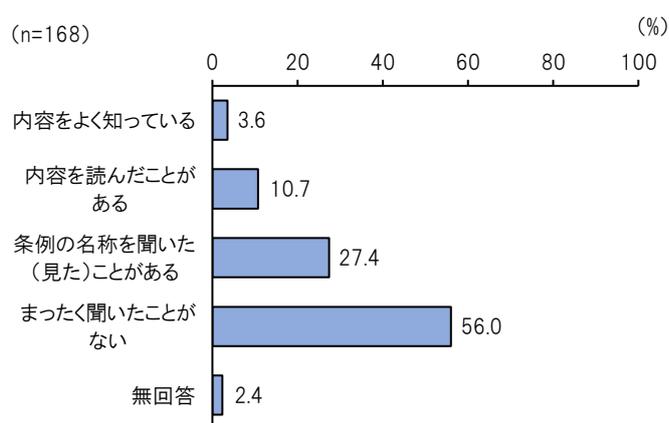
問 29 あなたが現在または将来的に必要としていること、重要だと思う支援などはどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が72.6%と最も高く、次いで「子どもの教育など学習支援が受けられること」の割合が44.6%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が34.5%となっています。



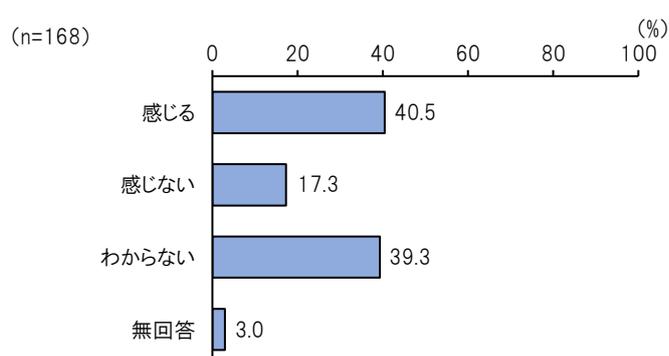
**問 30 「西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例」について、どの程度知っていますか。
(ひとつに○)**

「まったく聞いたことがない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「条例の名称を聞いた(見た)ことがある」の割合が27.4%、「内容を読んだことがある」の割合が10.7%となっています。



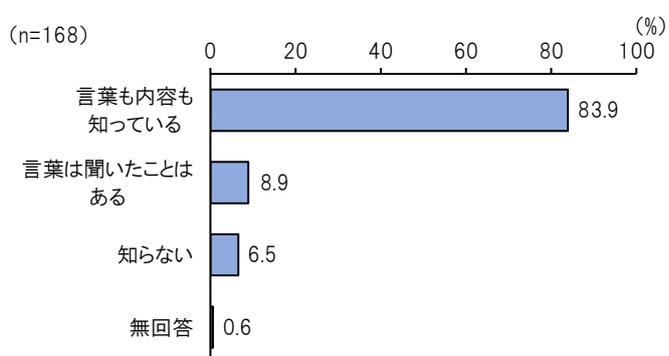
**問 31 あなたは、地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じますか。
(ひとつに○)**

「感じる」の割合が40.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が39.3%、「感じない」の割合が17.3%となっています。



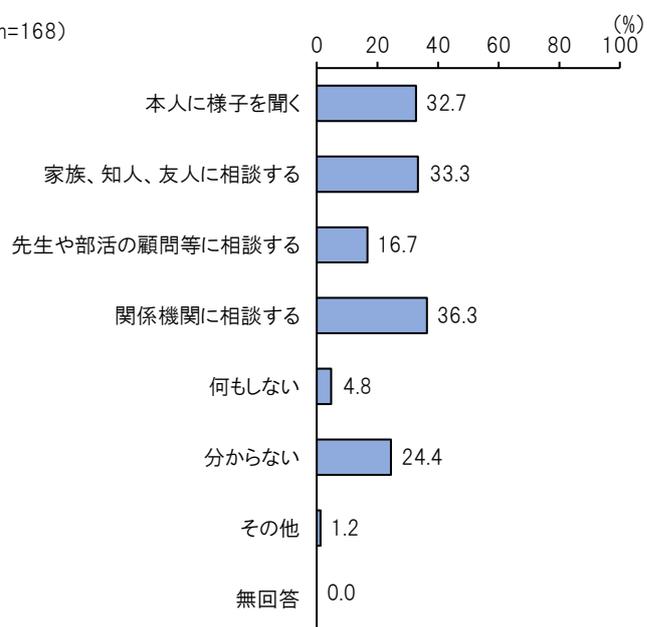
問 32 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(ひとつに○)

「言葉も内容も知っている」の割合が83.9%、「言葉は聞いたことはある」の割合が8.9%、「知らない」の割合が6.5%となっています。



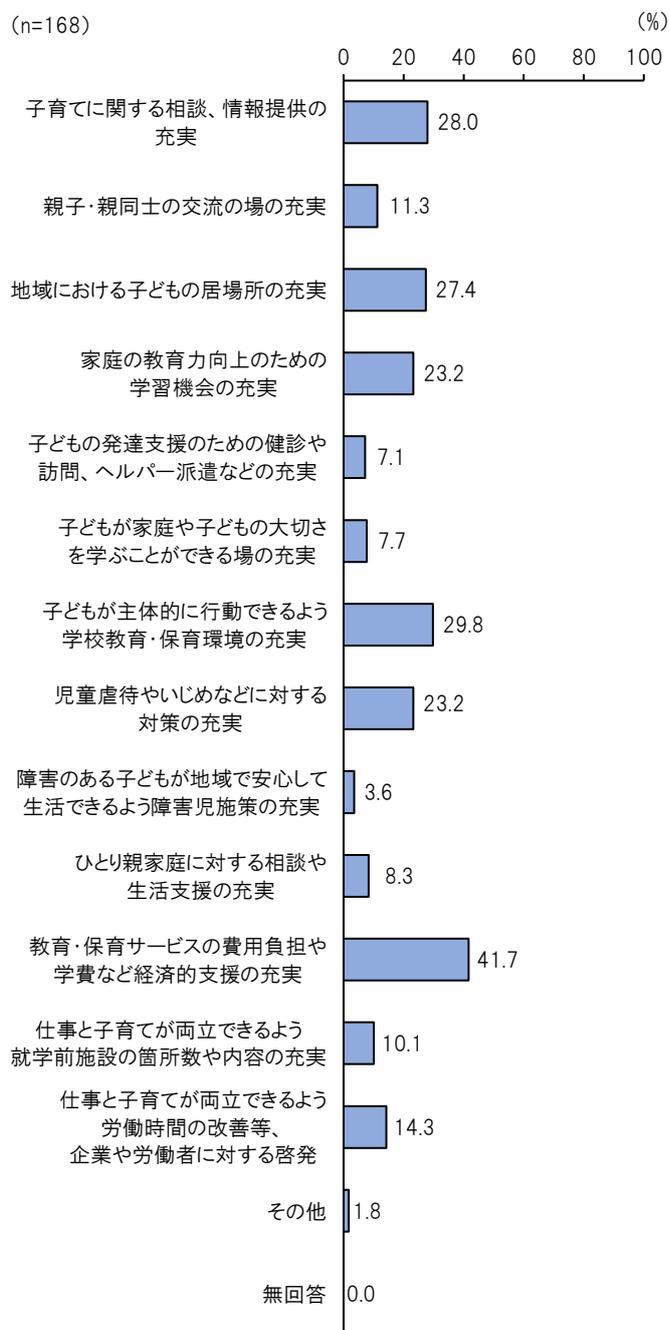
問33 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「関係機関に相談する」の割合が 36.3%で (n=168) 最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が 33.3%、「本人に様子を聞く」の割合が 32.7%となっています。



問 34 西脇市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「教育・保育サービスの費用負担や学費など
経済的支援の充実」の割合が 41.7%で最も高
く、次いで「子どもが主体的に行動できるよう
学校教育・保育環境の充実」の割合 29.8%、
「子育てに関する相談、情報提供の充実」の割
合が 28.0%となっています。



Ⅲ 記述意見まとめ

「子育てをする上で必要なサポートについて」意見のまとめ

1 問 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

(1) 就学前の保護者、小学生の保護者の意見 **231件**（アンケート回収数 869 件に対し **26.6%**）

(2) 項目別の主な内容

相談支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・曖昧な返答ではなく具体的にどうしてきたのかを聞きたい。 ・出産前に「子育て」を学ぶ時間や集まりがあれば良い。 ・発達に不安を感じる時に相談できるところがあるとうれしい。 ・簡単な相談や疑問があったときに、すぐ気軽に相談できる西脇市の相談公式 LINE 等あればうれしい。 ・専門的な方に気軽に相談できるといい。 ・健診等がもう少し増えたらその都度不安や相談などがしやすくなる。 ・小学校に就学する時の支援学級などの相談 ・名前を伏せたまま相談できるといい。 ・誰でも相談しやすい窓口と気に掛けて貰えている安心感のある対応 ・スクールカウンセラーのように学校生活をみてもらえる。 ・声かけがあれば言いやすい。 ・困った時にいつでも気軽に相談できる窓口
情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な行政サポートの情報発信 ・発育について体調不良など何かあったときに頼れる場所や電話番号などの周知 ・保育園の案内の充実（時間帯など） ・シンプルな説明が欲しい。 ・アプリなどから連絡メッセージがあれば返信や相談しやすい。 ・どんなサービスがあるか、わかるような情報提供があると、困ったときに利用しやすい。 ・市役所の相談窓口から電話などもらえたら話しやすいかもしれない。 ・定期的な電話での確認や案内 ・子育てに関するサービスやイベント等の情報発信をしてほしい。 ・気軽に相談できる方法をよく知らないなので、わかりやすく広報してもらえればと思う。 ・気持ちに寄り添ってもらい、色々な情報の中からの的確にアドバイスしていただけると助かる。 ・こういった機関が何のためにあるのかの一覧表などがあればいい。
育児支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・親族以外のサポートが欲しい。 ・子どもを気軽に預かってもらえるサービスがあればうれしい。 ・24 時間対応の医療サポート ・自分の通院の時等、気軽に赤ちゃんのお世話を手伝ってもらえたらいい。 ・夜間などを含めいつでも連れていき見てもらえる。 ・専門的な病気に対応したサポート ・看病してもらえたり、職場を休みやすい環境 ・保育園や習い事などの送迎サポート ・ごはんを届けてくれるサポートがあればうれしい。 ・週末などもサポートしてもらえるサービス

<p>経済的な支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援 ・金銭的なサポート ・オムツ配りサービス ・オムツ、ミルク等のクーポンなどを出してほしい。 ・0歳児からのこども園無償化 ・保育料の完全無償化 ・おもちゃや哺乳瓶含めて無料で引き取り、必要な人には無料でもらえるなどの体制が整っていると経済的に助かり子育てしやすい。 ・習い事のサポート（送迎や金銭的補助） ・学習面(遅れ)への支援、安心して任せられる送迎サポート ・義務教育完全無償化してほしいです。
<p>交流の場の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館などで同世代の子どもを持つ人との仲間作り ・同年代の子ども同士の集まりの場の提供とそこでの活動報告を SNS 等で共有 ・気軽に頼れる人が居ない(子どもをみてもらえない) 子どもと関わりを持てるような機会を作ってほしい。 ・堅苦しい形ではなく、子育てに関して気軽に質問を定期的に投げかけてもらえる場 ・気軽にお願い事ができる様な信頼関係が築けていけたらありがたい。 ・子ども達が様々な経験ができる様な場所や機会の提供 ・学校に行かないと決めた子どもが平日に気楽に遊べる、交流できる場所
<p>病児保育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育施設の充実、一時預かり施設の充実 ・緊急時に一時保育など迅速に子どもを預けられる環境 ・病児保育などすぐにみてもらえる場があると嬉しい。 ・病児保育の場を増やして欲しい。 ・病児保育が利用しやすい料金、受け入れ人数、他市で利用する際の補助があるとうれしい。 ・病児保育を気軽に使える環境にしてほしい。 ・病気やけがで仕事を休まないといけない時のサポートがあれば助かる。
<p>教育環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の就学就労支援の充実 ・進路についてしっかり相談でき、アドバイスしてもらえるような体制づくり ・タブレットを有効活用し、英会話などの学習をやりたい子が出来る環境を整えていただきたい。 ・帰宅後に宿題ができる場所。例えば公民館を開放して、教えてくださる方があればなお良い。 ・学童がもう少し融通が効くといい。 ・寺子屋のような場が近くにあれば嬉しい。
<p>安心・安全、見守り体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りや声かけ ・不審者から守ってもらえるような見守りのサポート ・通学路の見守り ・何かあったときに話ができる相手や場所が必要 ・時間外の小児科
<p>預かり保育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用事等の際に気軽に預かってもらえる施設があれば助かる。 ・少しの時間預かってもらえる制度があると助かります。 ・日・祝でも預けられる施設があれば良いと思う。 ・6か月未満も少しの間あずかってくれるサービスがほしい。 ・リフレッシュのために預かってほしい。 ・安心して子どもをあずけられるサービスが欲しい。
<p>職場環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夫が仕事を休みやすい環境が欲しい。 ・子育てに優しい職場を教えてください。 ・両親の勤め先における柔軟な対応（子どもが病気の時など） ・職場の託児所などあればいい。
<p>地域での交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に様子を伺える関係づくりを地域や行政でできたらいい。 ・小さな範囲（地域内）の中で、子どもと一緒に遊べる施設や、近隣の子が集まれる場所があれば嬉しい。 ・近隣の方とのコミュニケーション

緊急時の支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急時に安心して預かってもらえる人、場所があればうれしい。 • 子どもが体調を崩した時など、仕事を休まずに出来るサポートがあれば助かります。 • 親の体調不良やインフルエンザ等の時に、すぐに子どもたちを見てもらえるサポートがあれば良い。
買い物への支援	<ul style="list-style-type: none"> • 買い物が大変なので、スーパーに2人乗りのカートがあればいい。 • 買い物代行
環境整備の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 自由に遊べる公園 • 近くに遊べる場所
その他サービス向上の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 問題をその人で解決できない場合、解決につながる人、サービスを紹介したり繋げていけるようにする。 • 伴走型支援 • 気軽にベビーシッターが使えたら良いと思う。 • 習い事費用のサポートを充実してほしい（所得制限の緩和） • 妊娠期から継続してサポートしてくれる人 • 産後ケア受け入れ施設/受け入れ枠を充実させて欲しい。

2 問 放課後児童クラブ（学童保育）について、ご希望やご意見等あればご自由にご記入ください。

(1) 就学前の保護者、小学生の保護者の意見 78 件（アンケート回収数 397 件に対し 19.6%）

(2) 項目別の主な内容

教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り不足 ・先生の質が悪い。 ・指導が厳しい。 ・友達がたくさんいるのに一定の友達やその子がいないときは一人で遊んだりしていました。輪が広がれば退屈することが減ると思いました。 ・集中して勉強できる環境を整えてほしい。 ・支援員の先生の年齢が高く、子どもたちを見切れていないように感じます。 ・支援の仕方を統一してほしいと思います。 ・叱るときはきつく叱っても良いと思います。 ・暴力的な児童に対して適切な指導をお願いしたい。 ・トラブルが多く、言葉遣いが悪いと聞くので、ただ見るだけの子育て支援になっていないか見直しをしてほしい。 ・学習の習慣づけ、楽しめるイベント、縦割りでの遊び、ケンカやトラブル時の解決方法などが残念です。 ・長期休暇や週末には、短時間では難しい事をしてあげてほしい。 ・学校との連携があるとありがたいです。 ・宿題などの学習面、宿題が終わってからの遊びの時間に、どれだけ関わりを持ってくださるのかなと思います。 ・集団で見ているので、もう少し子どもの距離を考えて欲しい。 ・ボランティアの方の言葉遣いがきつい時があるので、気をつけてほしい。 ・風通しの良い環境が整うことでスタッフ、児童ともに過ごしやすくなること ・一部の上級生や支援員が怖いとの訴えが強い。 ・安全で、子どもが自ら行きたいと思える環境 ・指導員への研修をしてもらえたらと思う。 ・宿題は自由にやらせてほしい。 ・専門の教育者が 1 人欲しい。 ・学習時間を増やしてほしい。 ・地域によっては戸外で遊ぶことがほとんどなく、室内で遊ぶことが多いと感じています。もっと体を動かせる環境作りをしていただけると嬉しいです。
利用日や時間、サービス等の希望	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日や運動会などの「代休」の日も、一日利用できるようにしてほしい。 ・開始時間をもう少し早くからにして欲しい。 ・学童の受け入れ時間を延ばしてほしい。 ・年末年始の休みが仕事より長いので困る。 ・年末 28 日までしてほしい。 ・1 月 4 日から開けていただきたい。 ・お盆に仕事の休みがとれないため開けていただきたい。 ・祝日に利用したい。 ・土曜や長期休暇など午前中だけでも利用できたら嬉しい。 ・日曜日、祝日の利用 ・できる限り存続してほしい。 ・保育の実施を考えてほしい。 ・緊急に利用したい児童も受け入れられる施設であることが望ましい。
情報・連絡の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・先生間の情報共有をもう少ししっかりとしてほしい。 ・もっと情報が欲しい。 ・喧嘩をしても、意地悪されても学童の先生から報告がない時があります。 ・出欠状況などであまり連絡を取り合わないのかなと感じることがあります。連携を密にしてもらえたらより安心です。

設備環境	<ul style="list-style-type: none"> • 指導員の方の不足やトイレ手洗い場の不足、ソフト面もハード面も課題がたくさんあるように感じます。 • 学習、読書、グラウンドで遊ぶなど自由に使えるフリースペースが欲しい。屋内とグラウンドの開放。 • 人数に対して過ごす部屋が狭く感じる。 • 宿題する机のスペースがない。 • エアコンが古くて、暑そうだった。
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> • 利用料が高い。 • 利用料金を月ではなく日割りにしてほしい。 • 親や家庭の都合に合わせて一時的な利用ができるの良い。
給食弁当等	<ul style="list-style-type: none"> • 放課後児童クラブでも給食があると嬉しい。 • 長期休業の時の給食ができないか検討してほしい。 • 長期休暇中の学童でも、お弁当が支給されて欲しい。

IV 自由意見まとめ

1 問 西脇市でどのような子育てができるようになると良いと思いますか。あなたが子育てをされている中で、西脇市が行っている施策で役に立ったこと・良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 就学前の保護者、小学生の保護者、中学生の保護者の意見 410 件（アンケート回収数 1,037 件に対し 39.5%）

(2) 項目別の内容（内容が多かったものを抽出・多い順）

ア 役に立ったこと・良かったと感じていること

親子・親同士の交流の充実 Miraie こどもプラザ等	<ul style="list-style-type: none"> • Miraie ができて良かった。施設としてよくできていると思う。職員がいつも優しく声をかけてくれる。 • 子育て学習センター、おやこ交流教室、子育てサークルにお世話になった。 • Miraie があることで子ども同士親同士の交流ができています。
経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 医療費無償化では大変お世話になった。 • 児童手当や物価高騰時の臨時給付金は助かった。 • 学習塾の費用の補助はありがたい
相談・情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> • はぴいくサポートセンターに相談にのっていただき助かった。 • 健幸スマイルスタジオは相談場所によい。
健診等発達支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 療育教室に参加して良かった。 • はぴいくに発達相談に訪れたときに、細やかに対応してもらい感謝している。 • 保健師からの助言や支援で安心できた。

イ 改善または充実してほしいと感じていること

経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 保育料無償化 • 給食費無償化 • おむつの無料配布、おむつクーポンなど • インフルエンザ予防接種の無償化
遊べる場所が必要	<ul style="list-style-type: none"> • 外でのびのびと遊べる場所があれば良いと思う。 • 学校以外の場所で遊べる場所が増えると良いと思う。
認定こども園等への要望	<ul style="list-style-type: none"> • 平日の行事をなくしてほしい。 • ご飯（主食）持参なしの完全給食になり、あたたかいご飯が食べられると良いと思う。
小中学校の運用	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学校の施設（老朽化）の修繕は即刻で行なっていただくべき • P T A廃止又は活動の縮小。活動のために子どもを預けて仕事を休むのが大変
一時預かり制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 気軽に預けられるところができたらいい。園の一時預かり保育は申込方法が分からず勇気がいる。 • 児童館等で子どもが顔見知りのスタッフに預かってもらうと安心
学童保育の運用の改善	<ul style="list-style-type: none"> • 夫婦ともフルで毎日仕事をしているので19時まで延長していただくと大変助かります。 • 指導員の子どもへの対応
児童館の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> • Miraie（こどもプラザ）と違う場所に児童館を • 小中学校でも気軽に参加できるようなプレーパークのような居場所づくりが必要（異年齢交流ができて、自然遊びができるようになること）

通学路の見直し・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な通学路の確保 ・通学路が危険な箇所は早急に整備を
公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・へそ公園や小さい公園も小さい子どもが利用しやすいように、きれいにしたい。 ・おむつ替えや子どもが入れるトイレの整備を
病児保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が少ないので改善してほしい。 ・西脇こども園しかないため、医療機関に併設したところにつくってほしい。
学校統合に対する不安	<ul style="list-style-type: none"> ・通学への不安や人数が増えることで十分なケアが受けられないのではないかと不安 ・子どもの立場に立って考えてほしい。
子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが地域の中で安全に安心してのびのび過ごせる場所が欲しい。 ・地域の人と関わりながら子育てできる環境を
子育て関連の情報が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・西脇市でやっているイベントを事前に教えてくれる SNS に力を入れてほしい。 ・こどもプラザで行っている教室等の雰囲気や様子等の情報配信をしてほしい。
地域格差の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・黒田庄地区にも図書館や公園等の施設をつくってほしい。 ・市内どこに住んでも平等に子育てできる施策を期待
所得制限の撤廃	<ul style="list-style-type: none"> ・所得制限をしないでほしい。(子どもを平等に支援してほしい。) ・所得による子どもの支援に差をつけないでほしい。
相談できる環境が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでも相談所みたいなところが欲しい。 ・スクールカウンセラーや発達障害児に関する専門機関の充実
教育・保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害や不登校児への支援の充実 ・教科の勉強だけでなく、社会のルールなど躰の部分の教育もしていただきたい。
労働環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の間も時短などできるような制度づくりを ・労働者が子どもの看病のために仕事を休んで収入が減ることがないように休暇取得に対する補助を雇用主に対してでもいいので考えてほしい。
防犯対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯の設置(例：童子山の街灯が少ない。) ・登下校の安全対策(事故、誘拐など)
小児医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・連休などの休日に受診できる小児科を増やしてほしい。 ・小児科を増やしてほしい。